

右貴殿ノ所有地今般小作ノ爲左ノ條件ヲ以テ賃借仕候

- 一 賃借期間ハ大正 年 月ヨリ大正 年 月迄 年間ニ有之候事
- 一 地租改正、土地讓渡、土地所有者ノ自作ノ節ハ期間内タリトモ御請求次第直ニ返地可致候事
- 一 小作料ハ近江米同業組合規約ヲ遵守シ合格米ヲ以テ毎年十二月中御指圖ノ期日ト場所トニ於テ相納メ可申候但金納ノ節ハ其字小作米取立金相場ニテ勘定可申候事
- 一 風水旱蟲等ノ爲災害ヲ蒙リタル節ハ貴殿ヨリ減額ノ御沙汰ノマ、ニ服シ決シテ異議不申又小作人等ノ相談ニ相加ハリ申間敷候事
- 一 小作料滞納三十日以上ニ及フ時ハ御請求次第直ニ返地可致候事
- 一 土地ハ怠慢ナク耕作可致候若シ怠慢アリタル節ハ御請求次第直ニ返地可致候事
- 一 貴殿ノ承諾ヲ得スシテ如何ナル理由アルトモ土泥ヲ掘出ス間敷候事
- 一 貴殿ノ承諾ヲ得スシテ小作權ヲ他人ニ讓渡シ又ハ一時タリトモ土地ヲ轉貸致間敷候事

右契約仕候ニ付テハ萬一聊ニテモ違約致候ハハ連帶保證人ニ於テ一切ノ責ヲ引受可申候依テ小作證書如件

大正 年 月 日

住所

小作人 何

某 ④

連帶保證人 何

某 ④

連帶保證人 何

某 ④

何 某 殿

一 二 三

（小作料納期、米穀検査料、不作時ノ小作料減額、契約解除、小作地ニ係ル負擔）

耕地賃借契約證

高島郡西庄村大字下開田第二十一番字眼八

一 田 七畝一步

此賃借料一ケ年米一俵二斗五升

但シ賃借年間ハ自大正七年至大正十一年五ケ年間

右貴殿所有地所今般耕作爲拙者ニ於テ賃借候ニ付左記條件ノ通堅ク契約仕候

第一條 賃借料ハ毎年早稻植付ノトキハ十月二十日限り中稻植付ノトキハ十一月二十日限り晚稻植付ノトキ

ハ十二月二十日限り其賃借地ニ收穫セシ玄米ニテ近江米同業組合ニ於テ検査済ノ米ヲ以テ遲滞ナク支拂可致候事但シ當地方ノ慣習ニ依リ俵裝仕候賃等ハ凡テ賃借人ノ自辨トシテ検査料ハ貴殿ノ負擔トス

第二條 賃借地ノ收穫ハ天災地變及其ノ他不可抗力ノ爲賃料ヨリ少カリシ年ニ於テハ其收益額以下ノ減免請求ハ不致候事但此場合ニ於ケル收益額ノ計算方法ハ左ノ査定ニ依ルヘキコトヲ合意致置候事

一田ハ坪刈法ニ依リ粗ノ數量ノ二分ノ一ヲ米ノ量ト算出ス

第三條 右賃借地ハ周到ナル注意ヲ以テ耕作可致決シテ將來土地ノ生産力ヲ減殺スヘキ方法ヲ以テ耕作致不申候事若シ過失ノ爲通常ノ收益ヲ減シタルモ爲ニ賃借料減免ノ請求ハ決シテ致シ不申候

第四條 右賃借地ハ收穫時期一ケ年ヲ越ヘサル農産物耕作ノ爲ニノミ使用可致決シテ性質上永遠定着ノ植物栽培ノ爲ニハ使用致不申候

第五條 賃借地ノ使用及收益ニ關スル修繕ヲ要スヘキ事項ノ發生シタルトキ若クハ賃借地ニ對シ他人ヨリ權利ヲ主張スルモノアルトキハ直ニ之ヲ通知可致候

前項ノ修繕ハ決シテ貴殿ノ承諾ヲ得スシテ拙者自儘ニ營ミ不申候事

第六條 貴殿ノ承諾ヲ得スシテ私前條ノ修繕ヲ營ミタルトキハ其器物ハ本契約終了ノ後ト雖モ有姿ノ儘殘シ置キ其代價並ニ費用償還ノ請求ハ一切致不申候事

第七條 賃借地ハ決シテ他人ニ讓渡轉貸又ハ他賃權ノ抵當ト致不申候事

第八條 賃借地ノ耕作ニ要スル肥料並ニ器械類ハ凡テ拙者ニ於テ費用自辨可致聊モ貴殿ニ御迷惑ハ相掛ケ不

申候事

第九條 拙者ノ都合ニ依リ解約ヲ爲サント欲スルトキハ其年ノ十一月十五日以後十二月三十日迄ニ申込ヲ爲シ其日ヨリ起算シ滿一ケ年ノ後ハ本契約ノ終了シタルモノト爲シ賃借地ハ原狀ニ復シテ直ニ返還可致候事但貴殿ノ御都合ニ依リ何時解約申込相成候トモ毫モ異議無之候

第十條 拙者ニ於テ本契約第一條第二條第三條第四條第五條第六條第七條ニ違背シタルトキハ御申出次第直ニ本契約解除相成候トモ毫モ異議無之候

若シ前項ニ依リ貴殿ニ於テ解除ノ權利ヲ行使相成タルトキハ作物收穫ノ期節如何ニ不拘直ニ賃借地ヲ御返還可申上尤モ賃借料ヲ支拂タル上尙損害アリタルトキハ賠償可致候事

右之條條條確約致候事實正也依リテ其眞意ヲ證明スル爲茲ニ署名捺印シ耕地賃借證書差入候事如件

大正 年 月 日

高島郡西庄村大字下開田第

番屋敷

賃借人 何

某 ㊟

前記第一條乃至第十條ノ各條件ヲ委ク承諾ノ上賃借人ノ義務ヲ保證致候尤モ本證所定ノ賃借料支拂ノ義務並ニ違約ヨリ生スル損害賠償ノ義務ニ付賃借人何某方支拂ヲ怠リタルトキハ其資力ノ有無如何ニ不拘拙者連帶ノ責任ヲ以テ直ニ履行可致仍テ保證書如件

大正 年 月 日

高島郡西庄村大字下開田二百六十四番屋敷

保證人 何 某

同郡同村同大字下開田

賃貸人 何 某殿

一二四

（小作料ノ品質、小作地使用ニ關スル制限）

耕地賃借證文

蒲生郡何村大字何第何番地

一（小作地ノ表示）

此一ヶ年分賃借米

何程

右之地所

年ヨリ 年迄

年間一ヶ年前掲ノ賃借米ヲ以テ借用致シ候就テハ定約ノ件左ノ如シ

一賃借米ハ乾燥ヲ能クシ（赤字）等無之ハ勿論若シ其米一合中（赤字）十五粒以上アルトキハ必ス扇車又ハ金（赤字）ヲ以テ更ニ精撰可致候事

一賃借米ノ依造且ツ其繩俵ハ賃借人ノ負擔ニシテ依造方法ハ近江米同業組合定款ノ定ムル所ニ依ル又端米二斗以上アルトキハ其繩俵ヲ添納シ三斗以上アルトキハ其依造リヲ爲スヘキ事

一賃借米ハ豊凶ニ拘ハラヌ毎年十月二十日ヨリ十二月二十日限り無相違相納ムヘシ若シ右期限迄ニ納付セサルトキハ引請人ノ者本人ニ代テ其賃借米悉皆直チニ辨納可致候事

一賃借米斗量ハ本村大字上田ノ内其許指定ノ斗量場ニ於テ（赤字）入レ且ツ此定約第一項第二項ノ検査ヲ受ケ可相納候事

一借用ノ本地ハ勿論畦畔トモ充分保護致シ若シ破損スルトキハ舊形ノ通り修繕可致候事

一石灰其他地味ヲ害スル肥料ハ決シテ施用致シ間敷若シ右等施用爲シタルトキハ其年ノ賃借米高ノ三割増納可致候事

一地所借用中ハ地主ノ承諾ナクシテ地形ヲ變更不致候事

一畦畔其他ノ場所ニ生立樹木ハ借用ノ部外ニ付テ決シテ伐採不致候事

一地主ニ於テ地所入用ノ節ハ借用年限ニ拘ハラヌ何時ニテモ無異議返戻可致候事

右ノ件々定約致候處實正也依テ爲後日賃借證書如件

年 月 日

蒲生郡 村大字何

賃借人 何

某 印

同郡 村大字何

引請人 何

某 印

蒲生郡金田村大字上田

何 某 殿

一一三五

土地賃借契約證書

野洲郡玉津村大字赤野井第何番字何

一 田 何反何畝何歩

此一ケ年賃借料米 何程

右地所今般前記賃借料ヲ以テ大正 年 月ヨリ 年 月迄拙者賃借致候處實正也其要約

左ノ如シ

一 賃借米ハ毎年十月十五日ヨリ十二月二十五日迄ニ其歲産米(検査合格米俵裝四ツ立繩付)ヲ御指定ノ場所

ヘ持參納附可致候但違作ノ年柄(民法第六百九條及第六百一十一條ノ場合ヲ除ク)ト雖モ御勘辨ノ外ハ募リ

ケ間敷儀ハ決而申立間敷候

一 賃借米納附期日ニ滯納ノ場合ハ保證人本人ニ代テ速カニ辨濟可致候

一 賃借料納附ニ先チ冬期作物ヲ他ヘ賣却讓與又ハ轉貸致ス間敷候

一 賃借地ハ賃借期限中善意ヲ以テ所用シ敢テ濫用變用又ハ轉貸若クハ他ノ物權ヲ設定致ス間敷候

一 賃借地ハ地主御入用又ハ賃借人ノ不入籍ヨリ地質瘠蕪ノ御認定等ニ據テ御引揚ノ節ハ何時ニテモ無異議

返還可致候

但シ此場合既ニ作付タル物件ノ未成熟ナルトキハ相當賠償ヲ求ムル事アルモ是カ爲借地ノ返戻ヲ遲延致

ス間敷候

前各項ノ一ニ違背候節ハ其原因ノ如何ニ不拘本人ト保證人連帶其責ニ任シ貴殿ニ對シ毛頭御損難
相掛ケ申間敷候爲後日土地賃借契約證書仍テ如件

年 月 日

郡 村 大字 番地

賃借人 何

某 印

地主 何 某殿

同

保證人 何

某 ㊦

京 都 府

一二六

〔小作契約期間、契約更新、不作時ノ小作料減額、契約解除〕

賃借地小作證書

京都府南桑田郡千歲村大字千歲小字何第何番地

一、土地 何段何畝何歩

此一ヶ年借地料米 何石何斗何升何合也

京都府南桑田郡千歲村大字千歲小字何第何番地

一、土地 何段何畝何歩

此一ヶ年借地料米 何石何斗何升何合也

右貴殿御所有ノ土地ヲ今般拙者農作ヲナス目的ヲ以テ賃借地仕候ニ付左ノ條項ヲ契約嚴守可申候也

一、借地期限ハ大正十五年四月ヨリ大正二十五年三月迄滿十ヶ年トス

借地期限滿了ノ際ハ原狀ニ復シ返地可致候事

二、前記期日滿了後引續キ借地希望ヲ申出テ貴殿ノ承諾ヲ得タル場合ハ滿了期日ニヶ月以前ニ於テ更ニ契約致シ本契約ヲ確守可致候

三、頭書ノ借地料米ハ其年十二月二十五日限り京都府穀物検査合格米ヲ貴殿宅ニ無遲滯完納可致候事

若シ天災凶作ニシテ貴殿ニ於テ止ムヲ得スト認メラレタル場合ハ收穫ノ折半ヲ納米可致候事
四、借地ハ貴殿ノ承諾ヲ得シテ他人ニ轉貸及ヒ農作以外ノ目的ニ使用又ハ借地ノ價値ヲ減スル如キ事等ハ絶對ニ致間敷候事

五、貴殿ヨリ一月中ニ借地返還ヲ申出テラレタル場合ハ必ス其年六月十日迄ニ原狀ニ復シ異議無ク返還可致候事

若シ拙者ノ都合ニヨリ返還スル場合ハ其年借地料米完納ノ上十二月三十一日限り原状ニ復シ返還可致候事

右條々無相違守可申候若シ賃借人ニ於テ契約ニ違背候節ハ土地ノ御引揚ケ又ハ立毛等ニ付如何ナル御處分有之候共決シテ異議申出間敷候尙萬一紛議ヲ生シタル場合ハ本契約ニ基キ保證人ニ於テ屹度埒明ケ可申爲後日賃借人保證人連署ヲ以テ賃借地小作證書差入候事如件

大正十五年四月十三日

南桑田郡千歳村大字千歳小字 番地

賃借地小作人 何

某 ㊦

南桑田郡千歳村字千歳十三番戸ノ一號

保證人 何

某 ㊦

地主 何 某殿

一二七

（契約更新、小作地ニ係ル負擔）

小作證書

紀伊郡横大路村大字何

一田 何反何畝何歩

右小作米 何石何斗何升何合也

右貴殿ノ御所有ニ係ル田地今般拙者小作致候ニ付テハ契約スル事左ノ如シ

一、此小作期間ハ大正十年 月 日ヨリ大正十年 月 日迄ノ 年間ト定ム

但シ右期間満了ノ節ハ本書替繼續スルモノトス

一、右期間内ハ本契約ヲ履行スルモノトス

一、萬一貴殿ニ於テ本田地ノ返還ヲ要セラルル場合ハ何時ニテモ返還請求ニ應スルモノトス

右但書手當ノ件ハ返還ニ一ケ年以下ノ猶豫ヲ得タル時ニハ無効トス

一、小作米ハ年ノ豊凶ニ拘ス毎年 月 日迄ニ相納メ可申コト

但シ天災地變不可抗力ノ場合ハ立會ノ上減額スルモノトス

一、耕作上必要ナル一切ノ費用ハ小作人ニ於テ之ヲ負擔スル事
右契約ノ條々ハ小作人ニ於テ無相違履行可致若シ不履行ノ場合ハ保證人ニ於テ引請申候
右小作證書依如件

大正 年 月 日

住所

小作人 何

某 ㊦

住所

保證人 何

某 ㊦

何 某殿

大阪府

二二八

（小作契約期間、不作時ノ小作料減額）

小作證書差入證

一、田畑宅地合計三町四反六步

田 三町二反二十步

内 譯

畑 一反十六步

宅地 二百七十坪

但シ作米田一反ニ付一石二斗三升

畑同 四斗一升

宅地一坪ニ付一升

右合計四十一石四斗五升二合

一、小作米納期毎年十二月二十日限リトス

一、小作米請期間大正十三年度ヨリ向フ十ヶ年トス

但シ期間中ハ一畝歩ニテモ返戻セサル事

一、該物件宅地ニ變換セント欲スル場合ハ貴殿ノ承諾ヲ乞フ事若シ宅地ト爲シタル時ハ宅地ノ小作米ニ變更スル事

一、凶作ノ場合ハ西大路領地主協議ニ依リ用捨受ク事
 一、小作米ハ充分乾燥ヲナシ精選ノ上貴殿へ相納メ可申候事但シ合格米ハ申迄モナキ事
 一、前記ノ地所貴殿所有ニ有之候處今般雙方示談ノ上前記小作米ヲ以テ我等小作請仕候事確實也
 然ル上ハ前記契約ノ項目堅ク履行可致ハ勿論萬一前記契約ニ對シ聊カニテモ不履行有之候節
 ハ貴殿ニ於テ如何ナル處置被成下候共我等小作人ニ於テ決シテ異議申間敷候因而本契約期間
 中ニ貴殿へ對シ毫モ御迷惑相掛ケ申間敷候依而小作請證書差入如件

大正十三年 月 日

泉南郡八木村大字西大路

小作人 何

某 印

字前代參番地六畝二十九步此ノ田ノ内宅地ニ使用シタル分ハ一坪ニ付玄米一升
 残り分ハ一坪ニ付玄米四合一勺ノ割ナリ
 字石原ノ分ハ一反ニ付一石一斗三升ノ割合ナリ

大正十三年五月二十二日

泉南郡山直下村大字東大路

仲人 何

某 印

同 郡大字三田

仲人 何

某 印

兵 庫 縣

一二九

小作地賃借證書

何郡何村何大字何字何番地

一、田 何段何畝何歩 此宛米 何石何斗何升

一、田 何段何畝何歩 (一ヶ年一段歩ニ付何石何斗何升ノ割)

右貴殿御所有地今般拙者小作ノ爲メ前記宛米ヲ以テ賃借致候ニ付テハ左記契約之條項確守可致候

- 第一、賃借期限ハ大正 年ヨリ大正 年迄滿 年間ト定メ申候
- 第二、賃借料ハ其年作柄ノ豊凶ニ拘ラス必ス生産合格米ヲ以テ毎年 月 日限り貴方へ持參相納メ可申
其義務ヲ果ササル間ハ本地上ノ收穫米ハ一切賣却使用等致ス間敷候
- 第三、小作地ハ拙者自作シ決シテ他人へ宛換等致間敷候其他總テ貴殿ノ許可ヲ得ルニアラサレハ勝手ナル行
爲ハ決シテ致ス間敷候
- 第四、小作地ハ肥料其他耕作上ニ充分注意シ荒瘠セサル様保護可仕萬々一怠慢ニ依リ生シタル損害ハ拙者賠
償ノ責ニ任スヘク候
- 第五、拙者他事件ノ爲メ財産差押へ假差押へ等ヲ受ケタル時ハ第二項ノ期日ニ拘ラス御請求次第即時賃借料
相納メ可申候
- 第六、賃借人ニ於テ賃借料ヲ延滞スルカ又ハ本契約ニ違反セシ時ハ保證人ハ連帶責任ヲ負ヒ本人ニ代リ速ニ
義務履行可致候
- 第七、合格米ヲ以テ賃借料ヲ納ムルコト不能ノ場合ハ攝津上米相場ノ時價ニ換算シ御指定ノ代金ヲ以テ相納
メ可申候
- 第八、期限ノ定メアルモ本契約ニ違背行爲アリシ時及ヒ貴殿ニ於テ返地ヲ要求セラルル時ハ何時ニテモ異議

右保證人連署ヲ以テ契約證差入申候也

ナク速ニ返地可致候

大正 年 月 日

郡 村大字

賃借人 何

某 印

同郡同村

保證人 何

某 印

何 某殿

奈良縣

130

（小作料滞納ノ處置）

耕地小作證

(小作田畑面積
小作料等ノ表示)

右ハ貴殿所有ノ耕地今般私方エ正ニ預リ小作仕候依之契約左ノ通

第一條 小作宛米ハ植物不可抗力ニ不拘毎年十二月 日限リ上米ヲ以テ一時ニ完納可仕候若シ事故アツテ
遅延スル時ハ前以テ申出承諾ヲ得ルニ非サレハ延怠不致候且又該地ノ收穫米不良ナル時ハ上米ト取換エ完
納可致候

但シ本文期限遅延スル時ハ一ヶ月二分ノ利米ヲ添エ完納可致候

第二條 小作ハ本年 月 日ヨリ來ル明治 年 月 日マテ滿 箇年間小作中地所ハ充分叮嚀

ニ耕作仕リ毫モ不行届致間敷候

第三條 地主ノ承諾ヲ經スシテ猥リニ土砂ヲ出入シ或ハ地面ノ全形ヲ變更スルコト決シテ不致候

第四條 前第一條ニ違背スル時ハ該地ノ收穫物御差押エ適宜ニ御收入可被成候

第五條 地所必要ノ節ハ勿論耕作不行届又ハ思召ニ不相叶候トキハ何時ニテモ他方エ御預ケニ相成候共該地
ノ作物培養有無ニ不拘其他總テ地上ニ有之物品等其儘相渡シ申候間御取除被成候トモ貴殿御勝手ニ御支配
可被下候尤モ該地ニ對シ一切故障不申御通知次第速ニ返地可致候

第六條 貴殿ノ御承諾ヲ得スシテ轉貸等ハ決シテ致ス間敷候事

前書之通契約ヲ以テ右耕地小作致シ候處確實也然ル上ハ契約ノ趣意可相守ハ勿論萬一本人ニ於テ
契約ヲ怠ルカ或ハ他行等致シ不在ノ節ハ引受證人ニ於テ更ニ本人ト等シク連帶ノ義務ヲ負擔シ辨
償可致候貴殿エ毫モ御損難相掛ケ申間敷候爲後日耕地小作證依テ如件

明治 年 月 日

大字字

耕地小作人 何

某 印

大字字

引受證人 何

某 印

地主 何 某 殿

和歌山縣

一三一

〔不作時ノ小作料減額、小作地ニ係ル負擔〕

小作契約書

和歌山縣那賀郡前町村大字何某何番

一 田 何反何畝何步

此借賃一箇年米 何石何斗何升也

右ノ地所當明治何年ヨリ向フ何ケ年間前記ノ借賃ヲ以テ使用收益ノ爲メ借受ケ候依テ左ノ條々契約致候也

一 年々本行ノ借賃ヲ左ノ期限遲滞ナク其許宅へ運搬シ相納可申候但シ取り入レ濟ミ次第無遲滞辨濟可致候事

借賃納メ期限毎年十二月末日限

二 豐作ニテモ借賃ヲ増ササル代リニ收益ノ減少シタル場合ト雖トモ減額ヲ請ハサル事

三 借賃ニ納ムヘキ果實ハ能ク撰定シ俵拵等念入レ可申候若シ粗惡ナルトキハ望ニ應シ現物ヲ交換シ若シクハ即時ニ精撰致ス可ク候事

四 借地ノ原狀ヲ變シ度候節ハ其許ノ承諾ヲ受ケ可申候事但シ返地ノ節地狀變更ノ儘明渡スト又ハ原狀ニ復スルトハ貴意ニ任セ何等ノ費用ヲモ請求致シ間敷候事

五 借地ニ對スル必要費又ハ有益費ハ我等ニ於テ出資致間敷候事

但シ我等ノ任意ニ支出シタル勞働又ハ費用ハ我等ノ損失負擔タルヘク後日償還ヲ請ハサル事

六 借地内ニ存在スル青毛等總テノ果實ハ讓與賣買實入書入等致シ間敷候事

但シ其許ノ承諾ヲ受ケタルトキ又ハ本契約ノ當事者間ハ其限リニアラス

七 本契約ノ存續期限ハ年期中ト雖トモ土地ノ肥瘠ヲ問ハス互ニ解約スル事ヲ得ル事特ニ左ノ場合ニハ何時

三 本地所御引上相成候共一言ノ申分無之候事

一本契約ヲ違背セシトキ 一業務怠惰ノ行爲アルトキ 一本地所ヲ其許ニ於テ要用アルトキ

八 本契約連署ノ保證人ハ本契約ノ義務ヲ借地人ト連帶負擔スル事

右承諾致候依テ小作契約證如件

明治 年 月 日

郡 町大字 番地

借地人 何 某 印

郡 村大字

保證人 何 某 印

地主 何 某 殿

土地賃貸借契約證書

一三三二

(小作料ノ運賃、小作地賣却ノ際ノ處置)

土地所有者何某ヲ甲トシ耕作者何某ヲ乙トシ雙方當事者間ニ別紙土地ノ賃貸借契約ヲナスニ付左記條項ヲ締結ス

- 一、甲ハ別紙記載ノ土地ヲ大正十五年六月十五日ヨリ大正二十二年六月十四日迄滿七ケ年間乙ニ賃貸シ乙ハ之ヲ賃借スルモノトス但シ相互ノ合意ニ依リ右ノ期間ヲ更新スルコトヲ得
- 二、乙ハ別紙土地ノ賃借料トシテ其年産米ヲ精選シ本縣穀物検査合格玄米 石 斗 升 合ヲ毎年十二月二十日限リ甲ノ居宅ニ運搬シ支拂フモノトス但シ甲ノ便宜ノ爲メ支拂場所ヲ變更シ從前ノ場所ヨリ遠隔トナリ又ハ運搬困難トナリタル場合ハ甲ハ乙ニ對シ之ニ相當スル運搬費ヲ支拂フモノトス
- 三、天災凶作等ノ爲收穫著シク減收シ又其ノ虞アルトキハ作物收穫着手前ニ雙方立會ノ上實地檢見ヲ行ヒ支拂額並ニ其支拂方法ニ付協定ヲナスモノトス但シ賃借人ニ於テ前項ノ要求ヲ爲ササルトキハ賃借料ノ減額又ハ支拂期限ノ延期ヲ要求スルコトヲ得ス
- 四、甲乙雙方合意ノ上ニアラサレハ小作地ノ轉貸交換讓渡ヲ爲シ又ハ猥リニ地目ヲ換ヘ地形ヲ變スル等ノ行爲ヲ爲スコトヲ得ス

- 五、甲カ其ノ小作地ヲ賣却セントスル場合ニ於テ乙ニ購買ノ希望アルトキハ先取權ヲ與フルコト
 - 六、賃貸借期間滿了シタルトキハ更新セサル限リ甲ニ於テ直ニ土地ヲ引上クルモ乙ハ異議ハ固ヨリ其他ノ要求ヲナスコトヲ得ス
 - 七、甲乙雙方ノ一方ヨリ期間中契約ノ全部又ハ一部解除ヲ要スヘキ場合ニハ六ヶ月前ニ豫告スルコトトシ相手方ハ異議ヲ述ヘサルモノトス
- 右契約ヲ證スル爲本證書ニ通ヲ作り記名調印ノ上雙方當事者各一通ヲ領有スルモノ也
- 大正 年 月 日

和歌山縣那賀郡小倉村大字上三毛 番地

土地所有者 何 某 ㊟

同 縣同 郡同 村大字 番地

土地耕作者 何 某 ㊟

土地及賃貸料ノ表示

村名及大字名	字	地	番	地目	段	別	反當賃貸借料	契約賃貸借料額
小倉村大字								

合									
計									

鳥取縣

一三三

(小作契約期間、契約更新、小作料滞納ノ處置)

耕地借用ニ付貸貸料納米契約證書

何郡何村大字何々番地

一、田 何段何畝何歩

此ノ一年間賃借料

但シ一俵ニ付正米四斗入

量目十六貫五百匁以上トス

玄米何石何斗何升何合

今回貴下ノ同意ヲ得表示ノ通り耕地拜借私事開作致候事確實也然ル上ハ左ノ契約ヲ遵守シ米質ヲ吟味シ優等米ヲ以テ納入可致萬一此ノ義務ヲ怠リタル節ハ保證人ハ本人ニ代リ辨償仕リ毫モ御損失相掛ケ不申堅ク誓ヒ候

一、借用期間ハ此證書日附年ヨリ十年目三月末トス但シ追約ニヨリ尙繼續シ可得事

二、賃借米ハ必ス乾燥充分ナル優等米タル様調製ス

三、賃借料米ノ納入期ハ毎年十一月二十日限リトス若シ延滞一ヶ月以上ニ及フ時ハ開作ノ權利消滅ス不足額竝ニ延滞利息ニ對シ督促ヲ受ケタル時ハ其ノ實費ヲ支拂フモノトス

四、肥料ハ毎年注意シテ施シテ無肥料ニテ耕作セス又許可ヲ得スシテ石灰ヲ濫用セス

五、天災地變等ノ災害ヲ受ケ賃借料金額ヲ納入シ難キ時ハ鎌刈前其ノ由ヲ申上立稻ニ依リテ一時限リノ納リノ納米額ヲ定メラレ確定ノ上ハ御指命ニ背カス納入ス萬一不注意ヨリ收穫ヲ減シタル時又ハ鎌掛ノ後納米不足ヲ告ケル共更ニ異議申サス本契約ノ金額ヲ納入ス

六、拜借耕地ニ被害ヲ加ヘ地味ヲ荒蕪トナシタル時又ハ賃借料米納入ヲ延滞シ又ハ下等米ヲ納入シタル時ハ

借用ノ權利ヲ消滅ス其ノ損害ヲ賠償スル義務ヲ荷フハ固ヨリ何時ニテモ借地御入用ニテ返戻ノ通知ヲ受ケタル節ハ速ニ返戻致ス可ク候事

右契約條項無相違實行可致候 以上

年 月 日

八頭郡八上村大字

契約 人 何

某 ㊦

八頭郡八上村大字

連帶保證人 何

某 ㊦

地主 何 某 殿

島 根 縣

一三四

（小作期間、小作料納入ノ場所）

小 作 證 書

八東郡本庄村字仁ノ谷尻千六十八番地

一、田反別 八畝二十八步

此掛米 八斗也

但自大正十一年至同號二十年十ヶ年間

一、前記ノ米毎年十一月二十日限り必ス正米ヲ以テ上納皆済可仕候尤モ運送ノ儀ハ村内限り何方

ナリトモ御指揮ニ隨ヒ運搬可申候

一、米拵方ハ米質精良ナルモノヲ尤モ念入可申候上納ノ節ハ乾燥不充分又ハ粃米、屑米等粗惡ナ

ルトキハ御指揮ニ隨ヒ精製ノ上更ニ上納可仕候

一、俵拵方ハ入念可申候

一、前記ノ掛リ地氣候不順蟲害損毛等出來候節ハ檢閲ノ上掛米ノ内幾分御減少被下度其節一言ノ

異論申出間敷候萬一之ニ對シ異議ヲ唱フルトキハ如何様處分セラルルモ決シテ異存無之候

一、早魃等ノ節ハ用水其ノ他注意ヲ加ヘ掛米ニ損毛無之様精々勉強可致候

一、耕鋤方ハ極精密ニ取扱ヒ草取り等充分念入勉強可仕候

一、前項ノ如ク契約スル上ハ第一項ニ記載スルカ如ク十一月二十日限り速ニ上納可仕候萬一期日

延滯スルトキハ保證人之ヲ負擔シ速ニ上納可仕候此上兩名トモ違背スルトキハ御成規ノ通御

取扱被成下候トモ苦情申上間敷候右小作條約證書依而如件
年 月 日

八束郡本庄村大字本庄村千五番地

小作人 何 某 印

同郡同村大字同十八番地

保證人 何 某 印

地主 何 某 殿

一三五

一(小作料滞納ノ處置、小作契約期間、契約更新)一

小作證書

何區何村大字何々

一、田反別 一町五畝二十一步

此掛米二石五斗四升九合

但詳細區別左記ノ通

右貴殿御所有地ニ候處今般定約ノ上借地耕作可仕候就テハ右ノ條款相約シ申候

第一條 境界ヲ保護シ修繕ヲ怠ラス風水旱害等豫防ニ注意シ培養ニ念入可申候事但耕作上改良ノ爲御氣付アルトキハ御指揮ニ應シ速ニ實行可致候事

第二條 掛定米ハ一般ノ凶作又ハ風水旱害等非常ノ災害ニ依リ掛定米ヨリ多分ノ損耗有之候節田地ニ限り相當ノ輕減承諾被下候外ハ決シテ減額用捨等申出間敷候事

但培養不注意ヨリ生スル損耗ハ輕減或ハ用捨等ハ一切申出サルヘシ

第三條 掛定米ハ年々十二月十日限り嚴重相納可申候尤モ地主ノ都合ニヨリ期日内ト雖期日ヲ定メ前納ノ義申付ケラルル時ハ速ニ應スヘシ若シ萬一其ノ期日ヲ怠リ或ハ不足候節ハ保證人ニ於テ本人ニ拘ラス期限後十日以内悉皆辨濟可仕事

但期日ヲ怠リ或ハ不足仕リ候節ハ其ノ年別二割ノ利息ヲ附シ辨納可仕候

第四條 米拵ノ精選ハ勿論繩俵等念入決シテ粗略致間敷候事但四斗ヲ以テ一俵ノ定量トシ俵裝ハ二重俵堅繩ヲ施スモノトス

第五條 借地年限ハ大正二年一月ヨリ大正十一年十二月迄十箇年間トス尤モ其ノ年限中タリトモ地主必要ノ爲メニハ何時ニテモ故障ナク返地スヘシ

但借地年限滿期ニ至ルモ尙引續キ耕作スルトキハ此證書ノ權利義務ハ其ノ儘繼續スルモノトス

第六條 此契約書中地主ヨリ更新加除スヘキ件又ハ保證人ノ更正ノ義申付ケラルル時ハ何時ニテモ其ノ求メ

但シ貴殿ニ於テ御入用ノ節ハ何時ニテモ御返地申ヘク尤モ其ノ節作付ケ居ル作物ハ拙者ニ於テ收穫スル
コト

- 二、小作米ハ毎年十二月二十日限り運賃ハ拙者ノ負擔ニテ貴殿宅迄無遅滞納付可仕候
- 三、天災又ハ病蟲害ノ爲メ收穫減少セル時ハ貴殿ノ檢見ヲ待チ減米ヲ定メテ後ニ刈リ取り申候事
- 四、小作米滞納ノ御懸念有之節ハ納米期ニ不關刈稻ノママ御請求相成ルモ不苦候事
- 五、拙者ニ於テ出來得ル小修繕ハ拙者ニ於テ負擔可致候
- 六、契約期間中本契約カ解除セラルルカ又滿期ニテ小作地ヲ返附致候場合ハ小作地ハ總テ現狀ニ復シテ御引渡申スヘク候事

右ノ條項相守リ可申小作人ニ於テ契約ニ違背致候節ハ保證人ニ於テ屹度辨濟ノ義務ニ可任爲後日
小作證書依テ如件 三六

大正 年 月 日

地主 何 某殿	郡 村大字 番地	小作人 何 某
	郡 村大字 番地	保證人 何 某
		某

一三七

(小作料改定、小作料滞納ノ處置、契約解除)

小作證書

備前國兒島郡福田村大字中畝

字又割三升

一田 四反六畝十二步

此小作定米一ケ年三石七斗一升二合

内二斗三升三合 特別小作ニ付御用捨引米

何程

差引米 三石四斗八升〇合

契約期間 自大正 年 三ケ年間 至大正 年 三ケ年間

右貴殿御所有地前記小作料米ヲ以テ拙者小作致候ニ就テハ約定スルコト左ノ如シ

一、熱心ニ耕作致シ小作料米ハ豊凶ニ拘ラス規定ノ合格米ヲ以テ毎年十二月三十日迄ニ無相違御取立場へ持

參皆納可仕候

一、小作料ハ貴殿ノ御見込ニヨリ三ケ年毎ニ御更定被下毫モ異議無之候事

- 一、前記小作料米若シ米ヲ以テ皆納難致事情有之候時ハ納期前貴殿ニ申出ツヘク其ノ節ハ貴殿ニ於テ御決定相成候價格ニヨリ代金ニ換算シ前記期日迄ニ無相違御取立場ヘ持參皆納可仕候
- 一、假令如何ナル事故有之候共小作料米皆納前該地ヘ生立ノ米他ヘ賣却又ハ讓渡若クハ債權ノ擔保ニ充用スル等ノ事不仕候
- 一、萬一納期ニ至リ聊カニテモ延滞ニ及ヒ候ハハ何時ニテモ小作御取揚可被成候速ニ小作相止メ其ノ土地返上可仕候付致居候場合ハ其ノ作付ノ儘土地返上小作相止メ可申候耕作ニ要シタル經費ハ總テ請求不致候延滞小作料米ノ義ハ一ヶ月二分ノ利息ヲ加ヘ速ニ皆済可仕候
- 一、前記土地貴殿ノ御承諾ヲ得シテ地形ヲ變更シ又ハ建物ヲ建築シ若シクハ他人ニ復小作セシムル等ノ事致間敷候
- 一、前記土地御入用ノ節ハ御沙汰ノ日ヨリ二十日以内ニ異議ナク小作相止メ土地返上可仕候拙者ノ都合ニ依リ小作相止メ候節ハ其ノ年ノ一月ヲ期シ御願可申上候
- 一、前項ノ場合ニ於テ貴殿ノ御沙汰ニヨリ小作地返上候節ハ耕作ニ要シタル實費ヲ請求スルコトアルヘキモ拙者ノ都合ニ依リ小作相止メ候節ハ一切請求不仕候
- 一、拙者ヨリ小作相止メ度御願申上候場合ニ於テ借地中相當ノ肥料ヲ施サス其ノ土地ヲ疲瘠セシメタル時ハ其ノ損害ヲ賠償シ又ハ小作ヲ繼續スル等貴殿ノ御命令ニ從ヒ可申候
- 一、前記約定ノ履行及之ニ違背シタル時ノ責任ニ就テハ證人ニ於テモ本人ト連帶シテ其ノ義務ヲ負擔可仕候

右爲後日小作證書如件

大正 年 月 日

備前國兒島郡福田村

小作人 何

某 ㊟

國 郡 村

證人 何

某 ㊟

地主 何 某 殿

一三八

一(連帶報償米)一

小作米連帶納付土地賃借證書

- 一 拙者等末尾記載地主ノ所有地ヲ大正 年度ヨリ同 年度ニ至ル向 ケ年間土地賃借契約ヲ締結シ左記ノ各項ヲ遵守スヘキコトヲ確約ス
- 一 末尾記載ノ土地ハ拙者等引受小作スルモノナレハ其何レノ土地ヲ何レノ小作人カ耕作スルモ

自由ニシテ其小作米總高ニ對シテハ各小作人ノ耕作反別ノ多寡ヲ問ハス連帶ノ責任ヲ以テ納付スルモノトス

一 小作地ハ施肥ト耕耘ヲ怠ラス瘠衰ニ陥ラサル様注意スヘキコト

一 天變地異ニ依リ土地ノ荒廢セサル限リ小作米ノ低減ヲ要求セス

一 地主カ其所有地ヲ賣却讓渡其他ノ處分行爲ヲナスハ其自由ニシテ拙者等ハ更ニ異議ヲ述ヘサルコト

一 天災ニ依リ著シキ減收ノタメ既定ノ小作米ノ減額ヲ要求スル必要アル場合ハ其立毛ノ検査ヲ受ケ其年ノ納米額ノ決定ヲ待ツモノトス若シ無斷ニ刈取りヲ爲シタル時ハ其年ノ收穫自己ノ豫想ニ達セスト雖決シテ減額ヲ要求歎談等爲ササルコト

一 小作米納付期日ハ毎年十一月二十五日以内ニ於テ地主ノ定メタル時日ニ指定ノ場所へ運搬遲滞ナク支拂スルモノトス

一 本契約期間中ト雖地主カ必要アル場合ハ其土地ノ全部又ハ一部ノ明渡シノ要求ニ應スヘシ

一 小作米ノ納付ヲ爲ササル場合ニ於テ地主カ其土地ノ返還ヲ要求セララルル時如何ヲ問ハス異議ナク其土地ヲ返戻スルコト

但シ此場合ニ於テハ拙者等ハ爾後其土地ニ立入ラサルハ勿論地上ノ作物ニ對シ何等權利ヲ有

セサルモノトス

一 賃借地ノ小修繕(例へハ畦畔ノ修理ノ如キ)ハ小作人ノ負擔トス

一 拙者等ハ連帶納付ノ責任ヲ負ヒ一括シテ小作米ヲ納付スル報償トシテ納付米實收額ニ對シ一

俵ニ付二升ヲ地主ニ於テ年々金ニ換算シテ積立テ無事契約期間滿了ノ上之ヲ受クルコト

但シ立毛ノ検査ヲ受ケスシテ減額ヲ要求シ其他不當ノコト申出テ爲メニ其翌年一月十五日ヲ越ユルモ小作米ヲ納付セサルコトアル時ハ其年ノ報償積立ヲ受クル權利ヲ失フモノトス

一 地主ノ認諾ヲ受ケ不合格米ヲ納ムルコトアル時ハ獎勵米ニ相當スル額ヲ納米高ヨリ控除シ其殘額ニ對シ積立ヲセラルルモノトス

一 本契約ニ違背シタル爲地主ニ失費ヲ要シタル時ハ拙者等ハ之ヲ賠償スルモノトス

一 左記 名ノ總代ハ本件一切處理ノ任ニ當ルモノトス

右各項ヲ承認シ後日異議ナキコトヲ證スル爲メ各自署名捺印スルモノ也

小作人 氏 名連署

地主 何 某 殿

廣 島 縣

一三九

—(小作契約期間)—

土地借受小作證書

御調郡中庄村字向掛迫二千六百二番ノ一ノ内

一、畑反別約六畝歩

此小作料

稗麥四斗
甘藷六振(但シ一振ハ土付十二貫ヲ正味十貫トシテ取引スルノ慣習ナリ)

此ノ借受年限 自大正二十二年十一月十ヶ年 至大正三十二年十一月十ヶ年

此ノ小作料ハ現品收穫ノ際納付ノコト金額ヲ以テ納付ノ場合ハ其ノ都度時價ニ依リ算出シタル額 十五日ノ前記地上ニ存在セル澁柿樹三本ノ果實ハ小作人ノ所得トス

貸借期間ハ雙方協議濟ノ上伸縮スルコトヲ得

右ノ地所前記ノ各條件ニテ借受ケ候處確實ナリ然ル處小作料不納ノ場合ハ保證人ニ於テ屹度引受ケ聊カ御迷惑相掛申間敷引受人連印定約書如件

大正二十二年十一月一日

中庄村三千五番地

借受人 何

某 印

同村二千六百八十三番地合併
二千六百九十四番地

引受人 何

某 印

同村三百四十五番地

引受人 何

某 印

地主 何

某 殿

山 口 縣

一四〇

—(契約解除、小作米ノ品質)—

小作契約證書

第何番 何國何郡何村

一 何地反別 何程 種粃

何國何郡何村

第何番 何地反別 何程 種粃

何國何郡何村

一 何地反別 何程 種粃

何國何郡何村

第何番 何地反別 何程 種粃

何國何郡何村

一 何地反別 何程 種粃

此借地料一ヶ年

米 何程 種粃

但ノ米撰俵製ハ防長米同業組合ノ規定ニ據ルヘキ事

一 本小作契約ハ 年 月 日ヨリ十年迄 年繼續スル事

一 借地料ハ毎年 月 日限り御示定ノ場所ニ相違無ク皆納致スヘク事

一 不可抗力ニ因リ借地料ニ不足ヲ生スル見込アルトキハ蒞探前検査ヲ受ケ御見下額協定ノ上蒞探致スヘク
若シ検査ヲ受ケサル前ニ蒞探タルトキハ假令如何ナル場合ト雖トモ減額ノ請求致ササル事

但シ御見下額協定シ難クシテ 月 日迄ニ毛上蒞探致ササルトキハ作付直チニ御取上ケ相成共聊
故障申立間敷此場合ニ於テハ肥料及ヒ作付其他入費トシテ一反歩ニ付米 斗 升ト トヲ御渡
下サルヘク小作契約ハ其日限り當然解除シ借地ハ直チニ返還致スヘク事

土地四隣ノ境界ヲ錯亂シ地盤ノ變更ヲナシ又ハ他人ニ轉貸シ或ハ種子改良肥料耕耘及害蟲驅除等ニ注意
ヲ缺キ粗作ノ所爲アルトキハ契約年限中ト雖トモ小作契約ハ當然解除シ借地御取上ケ相成ハ勿論此場合
ニ於テハ全部作付ノ收穫ハ直チニ貴殿ノ所得トスヘク決シテ一言ノ苦情申立サル事

一 契約年限中土地ノ所有權ヲ他人ニ移轉セララルルカ其他地主ニ於テ必要アルトキハ小作契約ハ直チニ解除
致スヘク事

一 借地料ハ何タル事故アルモ延期ノ申立又ハ未納致ササル事若シ違約シタルトキハ小作契約ハ當然解除シ
借地取上ケラルルモ異議無之候事

一 前條ノ外地方ノ慣習ニ因リ小作人ノ負擔スヘキ義務ハ勿論其他其筋ノ指揮監督等ハ堅ク遵守致スヘク事
右各條相違ナク履行致スヘク萬一違背候節ハ直チニ保證人ヨリ借地料ノ辨償ハ勿論其他義務共總

而本人ト連帶責任ヲ以テ貴殿ニ御損害相掛ケ間敷候仍テ契約證如件

一、前年 月 日

郡 村町

小作人 何

某 ㊦

郡 村町

保證人 何

某 ㊦

地主 何 某 殿

德 島 縣

一四一

一(簡單ナルモノ)

小作契約證書

麻植郡木屋平村大字木屋平字谷口百二十番

一、畑 二反歩

右ハ貴殿所有ノ畑地ニ候處今回小作地トシテ拙者ニ御貸與相成候ニ付テハ左記契約事項無相違確守可仕候依而爲後日小作契約證書如件

記

一、小作期間ヲ大正十年十一月一日ヨリ大正二十年十一月三十日迄十ヶ年トス

二、小作料ハ一ヶ年ニ付稗麥二石五斗ト相定メ毎年七月三十日限リ地主ニ納入ス

右契約候也

大正十年十一月一日

麻植郡木屋平村大字木屋平字

番地

一田

小作者 何

某 ㊦

同 郡同

村大字同村字

番屋敷

證人 何

某 ㊦

地主 何 某 殿

一四二

一(小作料ノ前年ノ小作料額ノ算出ニ依リて算出)

一所預リ小作ノ證

一四二

一(小作料ノ種類、小作料滞納ノ處置、契約更新)

德島縣板野郡

一田 何反何畝何步

米	何程	每年	月	日	
麥	何程	每年	月	日	納メ
但シ大正	年	月	日	ヨリ同年	月
					日迄

拙者儀前記地所相預リ右米麥支拂ノ約束ヲ以テ小作致候事確實也依テ左ノ事項契約ス

- 一 前記小作料米麥ハ一定ノモノニシテ豊凶ニヨリ増減ヲ申出テ間敷候若シ期日迄ニ御定ノ米麥持參相忘候節ハ貴殿御定メノ右代相場ヲ以テ現金ニテ無相違貴殿へ持參皆濟仕ル可キ事
- 一 本文ノ小作料米麥納期ヲ怠ルノ日ヲ以テ我等小作權ヲ失フ者トシ毛付ノ儘該土地ヲ引上ラルモ決テ異議無之此ノ場合ニ於テ當日迄ノ小作賃種子代及ヒ施肥代ヲ請求任ラス且ツ地上ノ作物御引取ノ上時價ヲ以テ御隨意ニ被取極メ候トモ異議無之事ヲ認諾セリ
- 一 小作ノ土地ハ地質形體變換境界變更等及他ニ轉小作ニ指入或ハ小作權ノ質入書入等決テ致間敷最モ接續

地ヨリ境界侵害等無之様常ニ注意可致若シ其義ヲ怠リ候ニヨリ生スル損害ハ拙者其ノ責ニ任スヘキ事

- 一 小作地貴殿入用ノ節ハ何時タリ共何等ノ催告ヲ要セス植付米麥收穫次第速カニ返還仕ル可ク候
- 一 證人ニ於テ此ノ契約ヲ嚴ニ履行スル事ヲ保證シ若シ違約スルカ或ハ小作料米麥受拂ヲ怠ル時ハ小作人財產檢索スルニ不及直ニ保證人ニ於テ引受ケ辨償スルモノトス
- 一 此ノ契約滿期ニ至リ小作人ニ於テ尙引續キ借受クル時此ノ證書ハ有效トシ保證人ノ義務モ亦繼續スルモノトス

右條々嚴守履行仕ル可ク候爲メ連署ヲ以テ地所預リ小作證一札如件

大正 年 月 日

郡 村

小作人 何

某 ㊦

郡 村

右保證人 何

某 ㊦

地主 何 某 殿

- 一 凶作不可抗力等ニヨル借地料減額ノ申出
 - 六、保證人ハ互ニ義務ヲ分タス本人ト連帶シテ義務履行可致候
 - 七、本契約ニ關スル訴訟ノ管轄ハ高松區裁判所タルコトニ合意致候
- 右契約ヲ證スル爲メ保證人連署ノ上證書差入候也

大正 年 月 日

香川縣 郡 村大字

借地人 何 某

香川縣 郡 村大字

保證人 何 某

地主 何 某殿

愛媛縣

一四四

—(小作料納入ノ場所、小作地ニ係ル負擔)—

小作證書

溫泉郡何村大字何々番地

一、田(畑) 何段何畝歩

一ヶ年小作料玄米 何石何斗也

右之通小作仕候上ハ左ノ條件ヲ確守履行可致候

- 一、小作定約年間ハ本年稻作仕付ヨリ何年麥作刈取迄何ヶ年タルヘシ
- 二、小作米竝ニ俵拵等ハ最モ精選可仕候
- 三、小作米ハ毎年十二月三十一日迄ニ御差圖ノ場所ニ持參相納可申候
- 四、凶作ノ節ハ刈取以前ニ申出立毛御検査ヲ受ケ實際ノ收穫米御渡可申候但シ毛替勝手作ヲ仕付候トキハ年ノ豊凶ニ不拘定メノ小作料米相納可申候
- 五、小作地ハ自儘ニ他人ニ轉作セシメサルコト
- 六、小作田ニ屬スル道路、溝渠、水口、水落等ハ小作人ニ於テ年々修繕ヲ致スヘク候

右定約ヲ以テ小作仕候處實正也然ル上ハ定約ノ件々聊カ違背致聞敷萬一本人ニ於テ故障出來候節ハ本人ニ代リ證人ニテ萬事引受毫モ御迷惑相掛申間敷爲後日小作證書仍而如件

年月日

地主何 某殿

小作人何 某
證人何 某

福岡縣

一四五

（小作地使用ニ關スル制限、小作地ニ係ル負擔）

小作證書

何郡何村大字何番地

一、田 何反何畝歩

此定米何俵何斗何升何合

右ノ御所有地大正何年ヨリ大正何年迄何ケ年間致小作候ニ付左ノ通及約定候事

一、右期間ヲ怠リ候節ハ直ニ連帶受人ヨリ辨償可致ハ勿論他行、死亡若ハ失跡等ノ節モ連帶保證人ヨリ屹度取捌辨償可致候事

一、期限ヲ違約候節ハ仕付作物並肥料等有來ノ儘無御懸合御引受被下右地御引上相成聊申分無之事

一、作物ハ御勝手ニ御收納被下辨償ノ内へ御差引有之候事

一、右該地へ砂糖、煙草、染藍等ノ自由作或ハ間作仕間敷候若シ自儘ニ仕付候節ハ自由作及跡作假令凶作候モ決シテ申分無之事

一、小作地ニ破損所有之節ハ速ニ修繕可致候大破損ノ節ハ御見分ノ御指揮次第尤モ地下地上等自儘ニ仕間敷候事

一、格別收穫ノ少ナキ節ハ毛上御検査ノ上幾分力御減少被下度事

一、御入用ノ節ハ何時タリトモ相止地所御引上被下候共異議無之事

右之通聊相違無之依テ爲後日一札如件

年月日

郡 村大字 番地 某
何 某

地主 何 某 殿

郡 村大字 番地

保證人 何

某 ㊦

一四六

（契約解除、小作地ニ係ル負擔）

小作 證 書

何郡何村大字何番地

一、田 何反何畝歩

但シ此小作料何石何斗

右ハ貴殿ノ御所有ニ係ル頭書ノ田地今般拙者小作候ニ付左ニ列舉ノ通契約候也

一、此ノ小作期間ハ何年何月迄何ケ年トス

二、右期間内ハ如何ナル事情アルモ本契約ヲ解除セサルコト

三、萬一貴殿ニ於テ本田ノ返還ヲ要セララル、トキハ其ノ當時ノ作付ハ相當代金ヲ以テ御引取可相成且ツ貴殿

ヨリ損害トシテ金何圓ノ支拂ヲ受クルコト

四、小作料ハ毎年十二月末日迄ニ相納可申コト

五、地租其ノ他一切ノ公費ヲ貴殿ニ於テ支辨可相成コト

六、耕作上必要ナル一切ノ費用ハ自分ニ於テ之ヲ負擔シ貴殿ニ請求セサルコト

七、小作人本契約ニ違約セル場合ハ何時ニテモ返地ノ御請求ニ應スルコト

右契約ノ條項ハ小作人ニ於テ無相違履行可致爲後日證書依テ如件

年 月 日

小作人 何

某 ㊦

地主 何 某 殿

佐 賀 縣

一四七

（小作料納入ノ場所）

小作米合計 何俵何斗何升何合

内譯	俵米	何程	大正	年十一月十五日限納
	實米	同		年十二月十五日限納

右貴殿御所有ノ地所前記ノ借地料ヲ以テ借受小作仕候ニ付左ノ各項堅ク御約定致候

第一條 本契約借地ノ年限ハ苗地ハ大正 年四月十五日ヨリ大正 年四月十四日迄トシ苗地ニ非ル地ハ 同 年五月十五日ヨリ同 年五月十四日迄トス

第二條 借地人ハ本契約ノ一ヶ年借地料トシテ小作米 俵 斗 升 合ヲ拂フモノトシ前記内譯ノ 通其期限内ニ貴殿ノ代人方又ハ御指定ノ場所ニ持届ケ之ヲ辨濟スルモノトス

第三條 俵米ニテ納付出來サル時ハ製俵料トシテ一俵ニ付米一升ヲ以テ代納スルモノトス

第四條 借地人カ第二條ノ義務ヲ怠リタル節ハ直ニ本契約ノ借地ヲ取上ケ相成該地ノ仕付作物ヲ貴殿ノ所有 トナシ貴殿ノ見込ヲ以テ前條ノ借地料ト御差引相成ルモ異議ナキハ勿論若シ差引ノ結果不足ヲ生シ候節ハ 保證人連帶ニテ直ニ辨濟ヲ爲ス

第五條 本契約ノ借地料タル小作米ハ善良ノ米種ヲ撰ミ本郡改良米ヲ以テシ一樹四斗ヲ一俵トシ總テ輸出米 ニ適スル様調製シ必ス合格米ヲ納入ス

第六條 不得已場合ニ於テ貴殿ノ承諾ヲ經本契約ノ借地料タル小作米ヲ粗ニテ代濟スル節ハ千粒ハ正十九貫 八百目生粗ハ正二十二貫六百目ヲ以テ米四斗ニ代フルモノトス

第七條 水旱・風、蟲等非常ノ災害ニ罹リ大損毛ヲ來シタル場合ニハ借地人ハ其收納前貴殿ノ實地検査ヲ受

ケ小作米ニ對シ貴殿カ相當トスル減額ヲ請フコトアルヘシト雖右ノ手續ヲ經スシテ聯カタリトモ作物ノ收 納ニ着手シタル後ハ借地料ニ關シ決シテ苦情等申出ササルモノトス

第八條 前條實地検査ノ結果双方ノ見込相違シテ減額ノ程度決セサル時ハ双方各自ノ費用ヲ以テ互ニ人夫ヲ 出シ出來毛ヲ刈取り其總把數ノ内十分ノ七ヲ貴殿ノ所得トシテ借地料ニ充當シ殘餘十分ノ三ヲ借地人ニ分 與相成ルヘキモノトス

但前項ノ場合ニ於テハ借地ハ出來米ノ刈取ヲ終リタル當日必ス貴殿ニ返還ス

第九條 前二條ニ拘ハラズ借地人ニ於テ隨意ニ刈稻ニ着手シタルトキハ何等ノ事由アルトモ借地料ノ減額ヲ 請求シ能ハサルモノトス

第十條 本契約借地ニ破損所ヲ生シタル節ハ借地人ニ於テ直チニ修繕ヲ爲スヘキモノトス最モ大破損ノ節ハ 貴殿ノ御見計ヒヲ以テ貴殿カ相當ト信スル人夫其他竹木等ヲ支給セラルヘシ

第十一條 本契約ノ借地ニ係ル村入費井堰水掛及人夫並ニ肥料驅蟲費ニシテ村會ノ決議ヲ經テ徴收セラル、 モノ又ハ村長ノ名義ヲ以テ徴收セラル、モノヲ除キ該借地ニ關スル諸經費等一切ノ負擔ハ總テ借地人ニ於

ノ支辨ス

第十二條 本契約ノ借地期間中ト雖豫メ貴殿ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ決シテ他人ニ轉貸ヲ爲サ、ルモノトス

第十三條 借地ノ畦畔廢除地目變換等ノ如キハ貴殿ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ借地人ニ於テ着手スヘカラサル

モノトス

第十四條 借地人カ第十二條又ハ第十三條ニ違背シタルトキハ何時ニテモ借地引上ケ相成仕附作物アル場合ニハ之ヲ悉ク貴殿ノ所得ト爲サル、モ借地人ハ決シテ異議ヲ言ハサルモノトス

第十五條 本契約ノ借地年限中ト雖貴殿ニ於テ必要ヲ生シタル節ハ本契約解除ノ御通知次第何時ニテモ異議ナク該借地ヲ返還ス

第十六條 保證人ハ借地人ヲシテ前各條ノ義務ヲ完全ニ履行セシムルノ責ニ任スルハ勿論借地料ノ支拂其他本契約ニ基ツク借地人ノ義務ニ付テハ借地人ト連帶シテ其ノ責ヲ盡スヘキモノトス

右ノ通り契約ヲ爲シタル證トシテ借地人及保證人左ニ連署シ契約證ヲ差入候也

大正 年 月 日

三養基郡 大字 番地

小作借地人 何 某 ㊦

三養基郡 大字 番地

連帶保證人 何 某 ㊦

地主 何 某 殿

一四九

（小作料ノ俵裝、小作料納入ノ場所、小作料滞納ノ處）
置、契約解除、小作地ニ係ル負擔、訴訟管轄裁判所）

土地賃貸借契約證書

今般土地賃貸人賃借人並ニ保證人間ニ左ノ契約ヲ締結ス

第一條 賃貸人所有ノ別紙表示ノ土地ヲ大正 年 月 日ヨリ大正 年 月 日迄之ヲ賃借人ニ賃貸ス

但賃貸借一期ノ期間ハ毎年三月一日ヨリ翌年二月末日迄トス

第二條 前條第一期間賃貸借料米ヲ 俵 斗 升ト定ム

但一俵ノ容量ハ四斗(指米二合)ニシテ吸入リタルコトヲ要ス

第三條 賃借料米ハ四等以上ノ玄米トス

第四條 賃借料米ハ乾燥充分仕揚入念ニシテ一期間毎ニ其翌年一月二十日迄ニ賃貸人ノ指定スル場所ニ納入スルモノトス

但風水旱蟲害等ノ爲メ收穫少キトキト雖モ賃借料ハ減額セサルモノトス

第五條 賃借人カ賃借料ヲ期限内ニ支拂ヒタル時ハ収代ハ賃貸人ニ於テ之ヲ仕拂ヒ其期限後ニ係ルモノハ賃借人ノ負擔トシ尙延滞一ヶ月後ハ十日ヲ經ル毎ニ一俵ニ付五合宛ノ指米ヲ爲スヘキモノトス

但天候不良若クハ不慮ノ災害ニ遭遇シ已ムナク延滞シタル場合ハ本條ノ指米ヲ免除ス

第六條 賃貸人ハ左ノ場合ノ外契約期限内ニ賃貸地所ヲ回收スルコトヲ得ス

一、土地ヲ賣買シ若ハ地目ヲ變換シ他ノ目的ニ使用ノ必要ヲ生シタルトキ
 二、自作ノ必要ヲ生シタルトキ
 三、賃借人ニ於テ賃貸料ノ納入ヲ怠リ四月二十日ヲ經過シタル場合其ノ他本契約事項ニ違犯シタルトキ
 第七條 賃借人ニ於テ契約期限内ニ返地ノ已ムナキ事情生シタルトキハ其年ノ十二月末日迄ニ其旨通告シ來
 リタル場合ニ限り賃貸人ハ之ヲ認容スヘシ
 第八條 第六條第一號第二號ニ依リ契約ヲ解除スル場合解除ニ因リ生スル損害ハ賃貸人ノ負擔トシ第六條第
 三號ニ依ル解除ノ場合ハ賃借人ノ負擔トス
 第九條 期限内契約解除ノ場合ニ於テ第六條第一號第二號及第七條ニ基ク土地ニシテ前年中ニ植付若クハ蒔
 付タルモノハ其收穫マテ土地ノ使用ヲ爲シ收穫ヲ爲スヲ得
 第六條第三號ニ基クモノハ解除ト同時ニ地所引渡ノ義務ヲ生シ前項ノ利益ヲ享ケサルモノトス
 第十條 賃借地ノ地租縣稅村稅ハ賃貸人ノ負擔トシ其他ノ賦課金公役等ハ一切賃借人ノ負擔トス
 但特別ノ慣例アルモノハ此限ニアラス
 第十一條 賃借人ハ賃貸人ノ承諾ヲ得スシテ賃借權ノ讓渡及轉貸ヲ爲スコトヲ得ス
 第十二條 賃借人ト賃借保證人連帶ニテ辨濟ノ責ニ任スヘシ
 第十三條 本契約ニ關スル一切ノ訴訟ハ佐賀區裁判所ヲ以テ第一審ノ管轄裁判所ト爲スヘキ事ヲ合意ス
 此契約書ハ一通ヲ作り賃貸人賃借人各自一通ヲ所持ス

佐賀縣 郡 村大字

賃 貸 人 何 某 ⑩

佐賀縣三養基郡中原村大字

賃 借 人 何 某 ⑩

佐賀縣三養基郡中原村大字

賃 借 保 證 人 何 某 ⑩

(別紙省略)

一五〇

一(小作料運賃、小作料納入ノ場所、小作料ノ品質、契約更新、訴訟管轄裁判所)

土地賃貸借契約證書

佐賀縣杵島郡小田村大字上小田 番地 某

賃 貸 人 何 某

佐賀縣 郡 村大字 番地

賃借人 何 某
佐賀縣 郡 村大字 番地

右賃貸人何某所有之土地ヲ賃借人ト左記各項ニ依リ土地ノ賃貸借之契約ヲ締結セリ
便宜ノ爲メ以下賃貸人ヲ甲者ト稱シ賃借人ヲ乙者ト稱ス

第一條 賃貸借之目的物ハ左ニ銘ス

佐賀縣何郡何村大字何

一田反別 何程 一畑反別 何步 此地目反別番號別紙仕譯書之通り

第二條 甲者ハ前條地所ヲ耕作ニ使用スル目的ヲ以テ大正十年 月ヨリ同 年 月迄 ケ年間乙

者ニ賃貸ス但甲者ノ承諾ヲ得ス耕地以外ニ使用セサルコト

第三條 乙者ハ賃借料支米 宛毎年十一月三十日限り自己ノ費用ヲ以テ甲者ノ住所又ハ甲者カ指定ス

ル場所ニ於テ引渡シ辨償スヘシ

第四條 賃借料米ハ一俵ヲ四斗三合入ニシテ佐賀縣產米生産検査ニ據ル三等米ニシテ此衡十七貫五百目以上

ヲ標準トシ米質最良ニシテ乾燥、調製ノ上堅固ノ結束俵裝ヲナシ乙者ノ生産名義規定之表札ヲ付スヘキ事

第五條 賃借米受渡之際甲カ衡量検査ニ依リ萬一缺陷ヲ生スルトキハ直チニ乙者ハ契約ノ衡量ニ充タス可キ

モノトス

但過量之場合ハ其儘引渡スモノトス

第六條 賃借米ハ天災其他不可抗力ノ事變豊凶等ニ依ル收益之増減ニ關セサルハ勿論定約ノ賃借料米ハ乙者

毫モ無違議甲者ニ完納辨償スヘシ萬一乙者カ甲者ノ承諾ヲ得テ賃借料米ヲ代金ニテ辨濟スル場合ハ甲者カ

認ムル相當ノ代金ヲ以テ計算辨償スル事アルヘシ

第七條 賃貸借ニ係ル町村役場ヨリ徵收スル諸税ノ納金ハ甲者ノ負擔トス

第八條 甲乙合意ノ上期間中乙者ハ賃借シ耕作スルト雖モ左記各項ノ一ニ該當スルトキハ契約年限有無ニ不

拘甲者ハ口頭又ハ書面ヲ以テ簡單ニ通知スルト同時直チニ本契約ヲ解除シ現土地ヲ引揚クヘシ此ノ場合乙

者ハ毫モ何等ノ異議無之ハ勿論左ノ二項ノ場合ハ乙者ハ相當損害賠償ノ責ニ任スル事

一 當該年度ノ賃借料米ヲ期限經過スルト雖モ完納辨償セサルトキ

二 甲者ノ承諾ヲ不得土地畦畔地形ヲ變換シ又ハ坪數ヲ減スル場合若シクハ其筋ノ農事獎勵ヲ遵守セス不

良ノ肥料ヲ用ヒ地味瘠惡トナリ爲メニ土地價格低落セシムルトキ又ハ甲者ノ承諾ヲ得シテ他ニ轉貸

ヲナシタルトキ

三 甲者カ自己必要上不得止當該土地ヲ使用セサル可カラサル場合若クハ當該土地ヲ賣却セル時

第九條 賃貸借期間滿了シタルトキハ乙者ハ直チニ甲者カ指定スル新規賃貸借契約書ヲ差入レ契約ヲ更新ス

ルコトヲ要ス

第十條 賃貸借期間滿了後引續キ賃借人ニ於テ前項賃借地所ヲ耕作使用スルコトアリ假ニ甲者其實事ヲ知ル

ト雖モ絶對ニ賃貸借契約ハ期間ノ滿了ニ依リ終了シ引續キ賃貸借契約存續スルモノト看做サハル事ヲ約諾ス

第十一條 乙者カ賃借料ノ辨濟ヲ遲延シ遂ニ時期ヲ失セシ甲者ニ缺損ヲ與ルモノト認知スル時ハ甲者ハ期限内ニ不拘直チニ乙者ノ耕作ノ毛上ヲ適宜刈取り料米ニ充當スルモ乙者ハ一言ノ苦情ヲ申出ツヘキ權利ナキ事此ノ場合甲者ハ若シ不足ヲ生スル場合ハ追徴シ過剩アルトキハ乙者ニ返戻ノ事

右各條項後日無違背履行スル爲メ甲者ニ交付セルモノナリ

追テ本契約ヲ不履行ニ因リ訴訟スル場合管轄裁判所ハ甲者ノ任意トシ特約ス

大正 年 月 日

郡	村	番地	賃借人	何	某
郡	村	番地	連帶保證人	何	某
郡	村	番地	連帶保證人	何	某

一五一

一(小作料代金納ノ場合ノ取扱、

耕地小作證

佐賀縣杵島郡小田村大字

- 一、耕地反別 三反四畝八步 別紙耕地小作任譯書付屬
- 二、小作期限 自大正十一年一月 至同十六年十二月
- 三、一ケ年小作米十一俵也 末項之事由ヲ除ク外本證期限内ハ小作人ハ自己ノ小作スルト否トニ拘ハラズ定約ノ小作米ハ支拂可申候
- 四、小作米代替へ現金支拂之場合ハ時價相當代金ノ外手数料トシテ一俵ニ付金三十錢可相渡事
- 五、期限小作米ハ毎年十一月限り地主ノ指定日時及其ノ箇所ニ持届可相渡事
- 六、地租縣村税金其他村役場ヨリ徴收スル諸納金ハ地主ニ於テ負擔スル事
- 七、小作米ハ一俵容量四斗三合入此總重量 貫 目トシテ生産者ノ住所氏名ヲ記シタル一定ノ紙札ヲ付シ米質精良乾燥調製ヲ主トシニ重俵ニシテ内俵ハ古藁表俵ハ新勝ヲ以テ兩口共サシ俵入ニシテ充分堅固ニ結束シ總テ本縣令取締規則ニ基キ調製シ其筋ノ検査ヲ受ケ引渡可申候萬一不合格之場合ハ直チニ地主ノ御見込賠償ヲ致スカ若シクハ合格ノ佳良米引替可申候

八、枴容量検査ハ其日一人分出米總數之内二割以上ノ試験俵ヲ取り枴廻ヲ定量トシ若不足米ヲ生
スルトキハ全分ノ俵數ニ補充ヲナサシムヘキ事

九、小作米ハ天災其他ノ事變其年ノ豊凶ニ關セス一定ノ小作米ハ無故障悉皆可支拂候且又小作契
約中土地ノ地形ヲ變換シ畝衝ヲ減崩シ或ハ不良ノ肥料ヲ用ヒ地味ヲ瘠惡ナラシムルトキハ地
主ノ見込ヲ以テ其損害賠償ノ責ニ任シ可申候勿論尙地主ハ前各項ニ違背シ不履行ノ場合ハ適
宜ニ小作地所ヲ引揚ケ他ニ御仕附可相成候モ聊苦情無之候依テ爲後日小作證如件

大正 年 月 日

郡 村大字

郡 村大字

郡 村大字

郡 村大字

郡 村大字

郡 村大字

何 某 ㊦

何 某 ㊦

何 某 ㊦

何 某 ㊦

何 某 ㊦

何 某 ㊦

地主 何 某 殿

(別紙省略)

長 崎 縣

一五二

小 作 證 書

一、本證書添附別紙記載スル所ノ賃貸借契約ヲ締結スルコト左ノ如シ

一、小作料一ヶ年 何程

一、小作年限ハ 年 月ヨリ 年 月迄滿何ヶ年トス

但シ仕付米ノ容量ハ一俵ニツキ何斗入

一、小作人ニ於テ違仕付米ヲ不納スル時ハ保證人ヨリ引受辨償スヘシ

一、小作人ニ於テ違約候節ハ年限内ト雖モ小作地ヲ引揚ケ他ニ仕付換ヲナスモ地主ノ勝手タルヘ

一、地主ノ都合ニ依リ小作地ヲ他ニ賣買讓與スルハ地主ノ勝手タルヘシ
右各項ノ通り確守シ決シテ違反致ス間敷候ニ就テハ自然違約候節ハ御約定ノ通り御處分相成聊力
異議無之候依而保證人連署ヲ以テ小作證書差出候事如件

年 月 日

住 所

小作人 何

某 ㊦

住 所

保證人 何

某 ㊦

地主 何 某 殿

(但シ別紙トシテ小作地ノ場所地番反別ヲ表示ス)

一五三

〔小作地ニ係ル負擔〕

借地小作證

何々國何郡何村何處

一等

何 程

地價金何圓也

- 一、前記ノ地所 年 月 日ヨリ 年 月 日マテ何年間借受耕作仕候儀實證也
- 一、此地所ノ借地小作料ハ一ヶ年ニ何々小麥ヲ定率トシ何々ハ十二月十五日前小麥ハ七月三十一
日前ニ何郡何處ニ於テ貴殿又ハ貴殿ノ名代人ニ仕拂フヘシ
- 一、地租其他地方ノ公共ニ要スル公費ノ此地所ニ賦課セララルモノハ拙者負擔可仕候
- 一、地租條令ノ各本條及ヒ地所ニ關スル法律規則ハ拙者ニ於テ屹度相守可申候若シ犯則ノ處爲ア
ルトキハ拙者ニ於テ負擔可致候事
- 一、此地所ヲ他人ニ貸渡讓渡等一切不仕候事
- 一、年ノ豊凶ニ由リテ小作料ノ増減ヲ請求不仕候尤モ非常天災地變ニ依リ一般ノ所得半額ニ滿タ
サルトキハ相當ノ減額ヲ請求可仕候事
- 一、此地所ニ屬スル諸般ノ修繕ハ其費額一ヶ年ノ小作料ニ及フ迄ハ拙者負擔可仕候右モ此約定年
期明ノ節又ハ此地所ヲ貴殿ニ返還致候節モ此費金ノ償還ハ一切請求不仕候事
- 一、此地所ノ現況及所屬ノ物件ハ別紙圖面ノ通り相違無之候

一、此地所ニ耕種スヘキモノハ五穀、野菜、芋、豆、黍、藍草類ニシテ其他ハ貴殿ノ許可ヲ得サレハ一切耕種不仕候事

一、此地所貴殿ニ於テ御入用ノ節ハ現状ノ儘直チニ返還仕候事

一、此所一ケ年ノ所得ハ

右之通約定仕候儀相違無之候後日右約定ニ背キ候節ハ借受年期中タリトモ右之地所拙者ニ御照會ナク如何様ニモ御取計相成候共故障申間敷候爲後證借地小作證一札如件

年 月 日

國 郡

借地小作人 何 某 印

國 郡 居住

某 殿

地主 何

熊 本 縣

一(簡單ナルモノ)

小作契約書

一田一反四畝二十二步 大字小濱字中牟田四百五十七番

此ノ小作米二石三斗五升六合

小作契約期間滿五ケ年

右之地所大正十四年三月ヨリ大正十九年六月迄小作致候處確實也就テハ小作米ノ儀前記ノ通毎年豊凶ノ別ナク十二月二十日限り相納可申候若シ本人差支候節ハ引受人ヨリ償却仕リ決シテ御損毛相懸ケ申間敷爲其小作契約書仍テ如件

大正十四年三月二日

玉名郡滑石村

小作人 何

某 印

玉名郡滑石村

引受人 何

某 印

玉名郡滑石村大字小濱

地主 何 某殿

一五五

—(小作料ノ俵裝)—

耕地小作證文

郡	村	大字	字	地番	種目	反別	小作米
小作米合計							

右御所有ノ地所當大正何年何月ヨリ向何年間小作ニ借受仕候ニ付テハ種子物精選肥料諸手入等充分注意耕作可仕候小作米ハ上米ニシテ俵裝ハ米穀改良規則ニ基キ一俵四斗入二重ケ輪摺繩結内俵ハ古藁ヲ用牛精々入念仕年々十二月二十八日限り相納メ可申候小作受區中地所ノ境界及畦塘岸脚等嚴重ニ取締リ小破ハ無怠修繕可仕候若氣候ノ不順風雨蟲害等ニテ損害有之節ハ御見分ノ上毛上

相當ノ御損引可被下候鎌入候後ハ聊カ苦情申上間敷候若品質粗惡ノ米拂入候類不手入及小作米不納分ハ拙者所有財産ヲ以テ辨償仕リ御損失相懸間敷候尤モ不得止事項ニ依リ前記ノ地所御入用ノ時ハ何時モ無異議御返地可仕候爲後日引受證人連帶小作證文依テ如件

大正何年何月何日

大正

何年

何月

何日

玉名郡

滑石村

大字小濱

番地

小作人

何

某

殿

引受證人

何

某

殿

坂梨村

地主 何 某殿

一五六

—(小作料帶納ノ處置)—

小作證

大正 年 月 日

(田畑反別ノ表示)

此小作料一ケ年 何程

但毎年何月何日支拂

- 一 小作人ハ地主ノ許諾無クシテ土地ノ原形ヲ變更シ又ハ土地ニ害スヘキ肥料ヲ施スコトヲ得ス
 - 一 小作人ハ小作權ヲ他ニ賣買讓渡スルコトヲ得ス
 - 一 小作人ハ期間内ニ小作料ヲ支拂ハサルトキ又地主ニ於テ小作地所賣買讓與シタルトキ若クハ小作地所要用アルトキハ小作期間内ト雖モ該地所ヲ引揚ケラル、モノトス
 - 一 小作人支拂期間内ニ小作料ヲ支拂ハサルトキハ引受人ニ於テ之ヲ辨償ス
 - 一 小作料ヲ支拂ハサルトキハ請求セラルヘキ當時ノ時價ニ換算シテ請求アルモ異議ナキモノトス
 - 但シ換算シタル價額ニ對シ未納當月ヨリ月一步五朱ノ利息ヲ附シ支拂フヘシ
 - 一 小作人ハ小作地所ニ賦課セラレタル夫役現品(金錢ニ換算シタルトキハ金錢)ノ義務ヲ負擔ス
 - 一 小作米ノ増減ハ貴殿ノ指定ニ應スヘシ但シ増減ハ其 年 月迄ニ御通知アルヘクコト
- 右ハ大正 年度ヨリ大正 年度迄(貴殿所有ノ地所)拙者ニ於テ小作致候ニ付前記ノ通契約シ堅ク履行可致候也

大正 年 月 日

玉名郡 村大字 番地

小作主 何 某 ㊦

玉名郡 村大字 番地

引受人 何 某 ㊦

玉名郡 村大字

何 某 殿

一五七

一(小作料ノ品質、小作地ニ係ル負擔、契約解除)一

契約證

熊本縣玉名郡何村大字何字何番

一畑 何程

此借地料米 何程

熊本縣玉名郡何村大字何字何番

一畑 何程

此借地料米 何程

熊本縣玉名郡何村大字何字何番

一畑 何程

此借地料米 何程

右ノ地所賃貸借ノ契約締結スル左ノ如シ

第一條 賃貸借ノ期間ハ明治 年 月ヨリ同 年 月迄五ヶ年トス

第二條 借地料米ハ一俵ノ枴量四斗入トシ改良米品質等ハ肥後米輸出同業組合定款及明治三十二年本縣令第

十八號販賣米取締規則ニ據リ毎年十二月 日迄御指定ノ倉庫ニ完納スヘシ若シ期日迄ニ不納スル時ハ借

地組人連帶責任ヲ以テ納期後五日以内辨納スヘシ尤モ御查收ノ方法ハ御家ノ指定ニ據ラレ異議無之候

但端米ハ賃借人中申合俵裝ヲ爲シ相納ムヘシ

第三條 不得止事實御認定ノ上借地料米代金納願御許可有之候節ハ其年十一月二十日

上米相場平均ヲ以テ價格御指定通現米納期迄ニ代金相納ムヘシ

第四條 借地料米ハ年々豊凶ノ別ナク完納スヘシ非常凶作ハ特別ノ事

第五條 諸稅納及土地ニ賦課セラル、修繕費ハ地主ノ御負擔ニ付協議費其他一時ノ修繕ニ係ル夫役繩藁空俵

ノ如キハ借地人ニ於テ負擔スヘシ

第六條 左ノ各項ノ一ニ該當スル所爲アルトキハ期間内結約解除セラレ聊カ異議無之候又借地組人ニ於テ

借地人ノ怠納米納期後五日以内辨償ノ義務ヲ果ササル時ハ御任意作物植付ノ儘ニ借地組人ノ賃貸借契約

モ期間内解約セラレ異議無之候

一借地料米怠納又ハ故意ヲ以テ不良米相納メタル時

一第七條ノ各項ノ一ヲ侵シタル時

第七條 左ノ各項ハ賃借人ニ於テ行使スルコトヲ得サルヘシ之ヲ侵シタルトキハ本人ハ無論借地組人ニ於

テ之ニ係ル損害賠償ノ責ニ任スヘシ

一賃借地ノ權利ヲ讓渡シ又轉貸スルコト

一地目變換又ハ地形變更ニ關スルコト

一境界等廢設ニ關スルコト

第八條 借地御入用ノ節又ハ借地料米變動ノ場合ハ何時ニテモ御指定ニ從ヒ異議無之候

第九條 滿期又ハ期間内解約セラレタルトキハ賃借人ハ解約申入ノ後三ヶ月以内ニ建物等解除シ地所ハ原形

ニ復シ立退クヘシ但本行立退ク迄ノ借地料米ハ年額ヲ曆年度日割ヲ以テ相納ムヘシ

右ノ條項堅ク履行スヘシ爲其借地組人連署ヲ以テ證書差出置候處如件

明治四十二年 月 日

熊本縣玉名郡 村大字 番地

借地組人 何 某

同縣同郡 村大字 某
 同縣同郡 何 某
 同縣同郡 村大字 某
 同縣同郡 何 某
 以下連名

熊本縣玉名郡 大字 某殿
 貸主 何

大分縣

一五八

—(簡單ナルモノ)—

小作證書

一、玄米 何石何斗
 此ノ小作地

何郡何村何大字何字何番地

田 何段何畝何步

右ノ地所 年 月 日ヨリ 年 月 日迄小作致候處實正也然ル上ハ前顯ノ小作米品質等相撰ヒ粗米無之様毎年十二月三十日限り屹度差入可申候萬一違約ニ及ヒ候節ハ直ニ地所御引上ケ植付品小作米ノ内ニ差入レ不足相立候節ハ請人ニテ引受ケ始末方可致爲後日小作證書依テ如件

但御自作及賣買等ノ節ハ何時御引揚被成候テモ其ノ節一言ノ苦情申間敷候

年 月 日

住 所

小作主 何 某

住 所

保證人 何 某

地主 何 某宛

宮崎縣

一五九

(契約更新)

小作證書

何郡何町大字何字何番地

一田(畑)

何反何畝何歩

此小作料玄米

何石何斗何升

右貴殿所有ノ土地前記小作料ヲ以テ小作契約致候儀實正也然ル上ハ左記各項嚴守可申候事

記

一、小作期間 大正十年稻作ヨリ同十四年ノ稻作及同年作付ニ係ルニ毛作收穫迄五ケ年トシ返却ノ場合ハ瘠

地又荒地ト爲サ、ルコト

但期限後ト雖拙者ヨリ解約ヲ申入レスシテ借地小作ノ場合ニハ該證ヲ繼續シ本契約ヲ確守スルコト

二、借地料ハ一箇年ニ付前記ノ通相定メ毎年十二月二十日限納入スルコト

但豊凶ニ依リ増減ナキハ勿論優良品種ヲ作り検査合格ノモノヲ標準トスルコト

三、借地ハ貴殿ノ御承諾ヲ得ルニアラサレハ耕作用以外ノ目的ニ使用セス其他原形境界畦畔等ヲ變更セサル

ハ勿論轉貸又ハ借地料未納ニテ立毛ヲ他へ賣渡質入等爲サ、ルコト

四、借地ハ期限内ト雖相當ノ事情アル場合ハ速ニ返地スルコト

五、保證人ハ借地人ト連帶義務履行スルコト

右契約候ニ付爲後日保證人連署ヲ以テ小作證書仍テ如件

年 月 日

住 所

小作人 何 某

住 所

保證人 何 某

地主 何 某殿

三 町村、地主會社其ノ他ノ法人ニ於テ使用ス
ル小作證書

北海道

一六〇

—(小作地ニ係ル負擔、契約解除)—

土地貸借契約書

貸主赤心株式會社ハ借主

ト左ノ契約ヲ締結ス

第一條 耕作ニ供スル目的ヲ以テ左ニ掲クル土地ヲ貸借ス

日高國浦河郡荻伏村大字

一田 何程

此借地料一ヶ年金

何程

但シ日割計算ヲナササル者トス

日高國浦河郡荻伏村大字

一畑 何程

此借地料一ヶ年金 何程 但シ日割計算ヲナササル者トス

第二條 貸借期間ハ大正 年 月 日ヨリ大正 年 月 日迄 ケ月間トス

第三條 借地料ハ作物ノ豊凶天災地變ニ掲ラス毎年十二月十日迄ニ貸主ニ納ムル者トス

第四條 借地人ハ貸主ノ承諾ヲ經スシテ借地ヲ目的以外ニ使用シ又ハ他ニ轉貸スル事ヲ得サル者トス

第五條 借地人ハ借地ニ屬スル排水溝ハ時々浚渫掃除ヲ爲シ停滯ノ憂ナキ様注意スヘキ者トス

第六條 借地人ハ自己ノ借地區域以外ノ樹木ヲ伐採スル事ヲ得ス

第七條 貸主カ借地料ノ増減又ハ借地區域ノ變更等ヲ爲スト雖モ借地人ハ異議ノ申立ヲ爲ス事ヲ得サル者トス

ス

第八條 貸主又ハ公共用ノ爲メ必要ヲ生シタル場合ハ貸借契約期間内ト雖モ返地セシムル事アル可シ

第九條 前條ノ場合ニ於テ家屋其他建造物等取除ノ費用ハ其貸主又ハ起業者ヨリ相當拂渡スヘキ金額外借地

人ノ負擔トス

第十條 公課又ハ部落ノ義務行爲ハ借地人ニ於テ履行スルモノトス

但シ特殊ノ場合ニ限リ貸主ハ應分ノ費用ヲ負擔スル事アルヘシ

第十一條 借地人國法ヲ犯スノ所業ヲ爲シ又ハ他ノ借地人ヲ煽動シ貸主ニ反抗スルノ舉動ヲ爲シタル時ハ貸

主ハ何時ニテモ本契約ヲ解除シ退去ヲ命スル事ヲ得ルモノトス

第十二條 前條ノ場合ニ於テ貸主ニ損害ヲ被ラシメタル時ハ保證人ハ直チニ賠償ノ責任アルハ勿論本契約ニ

對シテハ借地人同一ノ義務アルモノトス

第十三條 借地人並ニ保證人本契約ヲ履行セサル時ハ貸借契約ヲ解除スル者トス此ノ場合ニ於テ既設物件ア

ル時ハ貸主ニ於テ處分スルモ借地人ハ一切苦情ヲ申出ツル事ヲ得サル者トス

第十四條 本契約ハ満期ノ後双方合意ノ上ハ更ニ繼續スル事アル可シ

右契約ノ證トシテ保證人連署本書差入候事仍テ如件

大正 年 月 日

郡 村大字

借地人 何 某 ①

郡 村大字

保證人 何 某 ②

浦河郡荻伏村

赤心株式會社支店御中

—(契約更新、契約解除、小作料改定、小作) —
 地使用ニ關スル制限、訴訟管理裁判所

(甲) 北越殖民株式會社小作規程

第一條 本社ノ小作契約人ハ法律上ノ能力者ニシテ農場所在地村内ニ本籍或ハ寄留籍ヲ有シ本社
 所有地ニ於テ農蠶牧畜業ヲ營ミ又ハ工業ニ従事スルモノトス

第二條 小作人自ラ耕作シ能ハサル時又小作人ヲ入ルルモ本社ニ對シ義務ハ本小作人ノ負擔スル
 モノトス

第三條 小作人ハ此小作規定ニ依リ小作證書ヲ作成シ保證人ト俱ニ捺印スルヲ以テ小作者タルヲ
 得ルモノトス

第四條 本社小作期限ハ小作證書作成ノ年ヨリ三ケ年トス特別ノ事情ナキ間ハ合意上繼續スルモ
 ノトス

第五條 小作人ハ小作證書ニ定ムル小作料金ヲ毎年八月十五日ヨリ十一月三十日迄ノ間ニ於テ本
 社納入通知書ニ依リ本社ノ定メタル期日本社事務所又ハ本社ノ指定シタル場所ニ納入スルモノ
 ト爲ス

第六條 小作料ハ三ケ年毎ニ改正ス但耕地ノ比較物價ノ高低ニヨリ増減スルモノトス

第七條 水害其他避ク可ラサル天災ニ依リ收穫ノ半數以上ノ損失ニ歸シタルトキハ本社ハ其ノ分
 合ニ依リ小作料ヲ減シ又ハ幾分ヲ貸付平年ニ返濟セシムルコトアル可シ

但本條ノ分合ニ付協議調ハサル時ハ本社ノ意見ニ從フ

第八條 小作人ハ地目ノ變換及土地形狀ヲ變スル事ヲ得ス若シ不得止地目及地形ヲ變換セントス
 ルトキハ其年ノ四月以前ニ於テ本社ノ承諾ヲ得然ル後着手スヘシ

本條ノ場合ニ於テ地目變換ニ依リ小作料異動ヲ生スル場合ハ隣地ノ比較ニヨリ小作料ヲ定メ
 下年期ハ事業ノ難易ニ依テ之ヲ定メ、下中ハ元地目ノ小作料ヲ徵收ス

第九條 小作人ハ春秋兩度各小作地ニ在ル排水及ヒ用水路ノ掃除ヲ行フモノトス若シ本社ニ於テ
 不完全ナリト認ムル時ハ何時ニテモ其指揮ニ從ヒ手入ヲナスヘシ

第十條 小作人ノ耕作種類ハ各自ノ任意ナリト雖左ノ場合ハ本社ノ承諾ヲ得ルヲ要ス
 牧草ノ耕作、果樹桑其他樹木、宿根草ノ栽培

但自家用ノ果樹ノ栽培ハ此限ニ非ラス

第十一條 小作人ハ地力ノ増進ニ努メ肥料ハ總テ自家農場地ニ施シ如何ナル場合ト雖他ニ賣却ス
 ル事ヲ得ス其他肥料撰擇ハ各自ノ任意ナリト雖左ノ場合ハ本社ノ承諾ヲ得ルヲ要ス

間接肥料(石灰食鹽等)ヲ施ス時

單純肥料(過磷酸石灰ノ如キ)ヲ施ストキ

燒土法ヲ行フ時但泥炭ヲ堆積シテ燃燒スル場合ハ此限リニアラス

第十二條 小作人ハ道路排水用水路等協同事業ヲ要スル場合ニ於テ現品夫役等ノ割賦ヲ受ケタル

トキハ遲滯ナク其ノ義務ヲ果スモノトス

第十三條 本社ノ指導ニ從ハス、法律ヲ犯シ、農場ノ秩序ヲ害シ耕地ノ保護ヲ怠リ地力減耗セシ

ムル行爲アリト認ムルトキハ小作期限ニ不拘小作契約ヲ解除ス

小作契約ヲ解除シタル時ハ小作人所有ノ建物其他物件ハ三十日以内ニ除去スヘシ否サル時ハ本

社隨意ニ處分スルモノトス

小作料納入期日ニ後レタルトキハ收穫物家財等本社ノ差押フル物件ニ向ツテ異議ヲ云フ事ヲ不

得此ノ場合ニ於テハ保證人ハ本人ト連帶ノ責任ヲ以テ債務ノ辨償ニ應スヘシ訴訟ヲ提起スル場

合ハ札幌區裁判所ヲ合意ノ裁判所トナス

第十四條 耕作物及家畜等ノ病蟲害ニ罹リ共同驅除ヲ要スル場合ハ本社及行政廳ノ指揮監督ニ從

ヒ遲滯ナク撲滅ニ努ムヘキ事

第十五條 小作期限内ニ公共其他ノ事由ニ依リ小作地ノ一部或ハ全部ヲ解除セントスル場合ハ播

種前或ハ收納期後ニナスヲ通例トナス若シ不得止青作中ニ解除ヲナス場合ハ本社ハ種子代及耕

作勞賃ヲ辨償スルモノトス小作人ヨリ小作契約ノ解除ヲナストキハ小作料完納後本社ニ申出テ

承諾ヲ得テ解除ヲナスモノトス

第十六條 以上各條ノ規定以外ニ契約ヲ要スル事項ハ總テ小作證ニ記入スルモノトス

第十七條 小作證書書式

(乙) 小作證書

何國何郡何村何番地

一 畑何町何反何畝何步

此小作料金 何程

右明治何年ヨリ明治何年マテ三ケ年間御社小作規定ヲ遵守シ小作致候處相違無之依テ保證人連印
證書差入候也

明治何年 月 日

郡 村 字 番地

何 某 印

北越殖民株式會社御中

保證人 何

某 ㊦

一六二

（小作料改定、小作地使用ニ關スル制限、契約解除、訟訴管轄裁判所）

小作契約證書

石狩國上川郡東川村何號何番地

一田 何程

此小作料一ヶ年精良ナル水粳玄米

何石何斗何升何合

但シ一反歩ニ付

何程

同國同郡同村何號何番地

一畑 何程

此小作料一ヶ年

何程

但シ一反歩ニ付金

何程

前記田畑地ヲ廣部拓殖合名會社代表社員何某ト

間ニ合意ノ上貸借シタルニ付左記小作契約ヲ締結ス

第一條 小作期間大正 年 月ヨリ同 年 月迄 ヶ年ト相定メ候コト

第二條 小作料ハ地主ノ都合ニヨリ相當代價ニ換算御指示相成候得者現金ヲ以テ納入可致候

第三條 小作料ハ毎年 月 日ヲ限リ收穫次第第一着ニ最モ精良ナル品ヲ撰ミ完全ニ俵裝シテ地主指定

ノ場所ヘ搬出シ納付可仕又畑地ニ對シテハ現金ヲ以テ納付可致ク凡テ小作料完納前ニハ一切收穫物ヲ賣却又ハ移動等致間敷候コト

第四條 小作料ハ三年毎ニ改定ノ事ニ相定メ候コト但シ地主ニ於テ改定ノ必要ナキト認メタル時ハ其儘ニ据置クコト

第五條 小作料ハ數年ノ平均ヲ見込ミ歲ノ豊凶又ハ作付ノ有無ニ不拘無異議完納ス可キコト

第六條 小作地ハ地力ノ減耗セサル様地主ノ指圖ニ從ヒ適度ノ施肥ヲナシ可嚀ニ耕作可致コト

第七條 前條ノ施肥ヲ怠リ耕作除草ニ注意セス荒蕪セシメタリト認定セラレタル場合ニハ小作料ノ外一反歩ニ付金一圓宛ノ過怠金ヲ納入可致コト

第八條 小作地作付品種ハ其地方ニ適合セル種類ヲ選ミ作付可致又水路其他諸般ノ事ニ注意シ地主ニ不利益ヲ生セサル様可致候コト

第九條 小作中ハ相定メラレタル内規及慣例ヲ確ク遵奉可仕ハ勿論品行ヲ謹ミ賭博又ハ類似ノ行爲ハ一切致間敷コト

第十條 地主ニ於テ小作地ノ一部分必要ノ場合ニハ何時ニテモ其請求ニ應シ其部分返地可致候コト

第十一條 左記ノ場合ニ於テハ本證ニ基ク小作人トシテノ權利ヲ失ヒ且ツ地主ニ於テ損害アル場合ハ其ノ損害賠償ヲ速カニ負擔シ萬一之カ履行ヲ遲滯スル時ハ其ノ損害賠償ノ一部トシテ地上ノ營造物及ヒ作物其他一切ノ附帶物件ヲ現狀ノ儘地主ノ所有ニ歸セシメ直ニ本地ヲ立退萬一立退方遲滯候節ハ如何様ノ處置ニ出ラレ候共決シテ無異議候事

一、小作料ヲ滯納シ又小作料完納前收穫物ヲ賣却移動シタルトキ
二、借受地ニ損害ヲ加ヘントシタルトキ

三、借受地ヲ耕作地以外ニ使用シ又現狀ヲ變更セントシテ豫メ認諾ヲ經サリシトキ

四、地主ノ命ニ背反シ内規慣行ニ違ハサル時

五、賭博又ハ類似行動及不品行ノ行爲アリタル時

六、地主ノ承諾ヲ得スシテ借受地ヲ轉貸シタル時

第十二條 本證ノ保證人ハ總テ連帶責任ヲ帶ヒ小作料其他ノ義務ニ付本人ニ故障アル時ハ直ニ代テ履行可致候コト

第十三條 本證違背ニ因ル損害ハ當然賠償ノ責ニ任シ可申又本證ニ就テノ裁判籍ヲ所在地區裁判所ト豫メ合意致置候

右契約締結シタルニ依リ本書ニ通ヲ作製シ各自署名捺印之上各一通ヲ所持スルモノ也

大正 年 月 日

廣部拓殖合名會社代表社員

賃貸人 何 某 ㊦

石狩國上川郡東川村 號 番地

賃借人 何 某 ㊦

同國同郡同村 號 番地

保證人 何 某 ㊦

一六三

（小作地使用ニ關スル制限）

借地小作契約證書

一、何郡何村

一、土地 何町何反何畝何步

内 譯

水田 何町何反何畝何步

畑 何町何反何畝何歩
未墾地 何町何反何畝何歩

右土地今般自分借地小作致候ニツキ左ノ通り契約仕候

第一條 借地小作期間ハ大正 年 月 日ヨリ大正 年 月 日迄トス

第二條 小作料ハ左記割合ニテ水田小作料ハ毎年十二月十日迄ニ畑小作料ハ第一期半額ヲ八月二十五日迄ニ
第二期残額ヲ十月二十五日迄ニ貴社指定ノ場所へ持参納入可仕候

一、水田 小作料 一反歩ニ付 何等 玄米 何斗何升

此總額 何石何斗何升何合

一、畑 小作料 一反歩ニ付 何圓何錢

此總額 何圓何十何錢

一、畑 小作料 一反歩ニ付 何等何斗何升

此總額 何石何斗何升何合

第三條 未墾地ノ畝下年限ハ借地ノ日ヨリ 年間トシ畝下年限中ニ全部開墾可仕成墾ノ上ハ開墾ノ成績ニ

コリテ小作料取定メノコト承知致候

第四條 小作料ハ作物ノ豊凶其他如何ナル事情有之候トモ期日迄ニ相違ナク納入可仕納入遲滞シタルトキハ
何等ノ手續キニ及ハス即時本契約ヲ解除セラレ之レニヨリ生シタル損害ヲ請求セラルトモ異議無之候

第五條 小作地ハ他ニ轉貸讓與不仕候

第六條 小作契約解除後一ヶ月以内ニ借地内ニアル自分所有物ヲ除去セサルトキハ貴殿ニ無償ニテ贈與可仕
候ニツキ隨意ニ御處分相成候トモ異議無之候

第七條 自分及保證人ハ貴社農場小作人規定承知ノ上遵守スヘク誓言シテ借地致シ候ニツキ萬一違反シタル
場合ハ解約ノ上退場ヲ命セラル、トモ異議ナク服從可仕候

第八條 保證人ハ本契約ニ對シ借地小作人ト連帶ノ責務ニ任スルカ故ニ借地小作人カ本契約不履行ニヨリ起
ル損害ハ直チニ辨償可仕候

右各條ヲ遵守可仕後日異議ナキ爲メ保證人連署ヲ以テ本證書差入候也

大正 年 月 日

郡 村

借地小作人 何 某 ④

郡 村

連帶保證人 何 某 ④

板谷商船株式會社御中

福井縣

一六四

〔不作時ノ小作料減額、獎勵米、契約解除、契約期間〕

土地賃貸借契約證

南條郡武生町蓬萊二十七番地

今立郡北日野村矢船第何號何番地

賃借人 何

右當事者間ニ於テ土地賃貸借ノ爲メ左ノ契約ヲ締結ス

第一條 賃借人會社ハ今立郡北日野村矢船地籍ニ於テ賃借權ヲ取得シタル左ニ掲クル土地ヲ賃借人ニ賃貸シ

其使用及收益ヲ爲サシムルコトヲ約シ賃借人ハ之ヲ賃借シ賃借料ヲ支拂フコトヲ約セリ

土地ノ表示

今立郡北日野村矢船地籍

第何々番地

一、田 何反何畝何歩

(以下列記ス)

第二條 前條土地ノ賃貸借料ハ一ケ年ニ付玄米 石 斗 升 合トシ毎年十二月二十日迄ニ賃借人

ノ指定スル倉庫ニ於テ之ヲ支拂フヘシ

第三條 賃借人凶作ニシテ賃借料ノ免除又ハ減額ヲ請求スル場合ニハ賃借人會社ノ實地調査ヲ受ケ双方協議

ノ上一筆毎ニ減免額ヲ定ム

賃借人會社ノ實地調査ヲ受ケサル土地ニ對シテハ事情ノ如何ヲ問ハス賃借料ノ免除又ハ減額ヲ爲サ、ルモ

ノトス

第四條 賃借人カ検査合格米ヲ以テ賃借料ノ支拂ヲ爲シタルトキハ賃借料中玄米四斗六升(舊俵一俵)ニ付

玄米四升(俵裝料及産米改良費トシテ給與スヘキ分ヲ含ム)ヲ減額ス若シ不合格米ヲ以テ支拂フトキハ右減

額米ヲ二升五合トス

第五條 賃借人カ賃借料ノ支拂ヲ怠リタルトキハ第二條ノ約定支拂期日ノ時價ニ換算シタル換價金ヲ以テ賃

借人ヨリ賃借人ニ對シ支拂ヲ請求スルモノトス

第六條 賃借人カ一ケ年タリトモ賃借料ノ支拂ヲ怠リタルトキハ賃借人ハ何時ニテモ土地ノ明渡ヲ請求スル

コトヲ得但シ賃借人ハ延滞賃借料ヲ支拂フ義務ヲ免カル、コトヲ得ス

第七條 賃借人ハ土地ノ返還ノ場合ニ於テハ之ヲ原形ニ復スルカ又ハ其儘明渡スカ賃借人ノ撰擇ニ從フヘシ

原形ニ復スル場合ニ於テハ賃借人ノ負擔ヲ以テ復舊スヘシ

其他事情ノ如何ヲ問ハス明渡土地ニ對シテ要シタル總テノ費用ヲ賃借人ニ請求スルコトヲ得ス

第八條 本契約存續期間ハ本契約ノ日ヨリ十ヶ年トス

第九條 本契約ニ定メナキ事項ハ民法ノ規定ニ從フ

右契約ヲ證スル爲メ此證書ヲ作り各署名捺印シ各其一通ヲ保存スルモノナリ

大正十五年 月 日

右

賃借人 日野耕地株式會社

右取締役 何

某 印

賃借人 何

某 印

長野縣

一六五

一(契約解除)

證

中澤西沖 一七二〇 七畝二四歩

一、反別表示 同 一七二一 六畝六歩

此小作料五斗三升入

同 一七二二 九畝一歩

七俵定

内畦畔三十六歩

右表示ノ土地ヲ賃借シ利用致シ候ニ付キ左ノ條項ヲ契約仕リ堅ク履行ヲ誓ヒ候

一、利用期間ハ大正十四年ヨリ大正十五年迄一ヶ年トス

本項ノ一ヶ年トハ前年春作任付ヨリ翌年冬作ノ收穫終了迄トス

一、利用地貴組合ノ承諾ヲ經スシテ他人ニ利用セシメサルコト

一、利用料ハ右表示ノ額トシ毎年十一月二十五日迄ニ貴組合指定ノ場所ニ持參支拂フコト

但シ利用料ハ貴組合ノ指定ニ依リ地方ノ慣習ニ從フモノトス

一、利用地ノ地下ケ又ハ地質ニ格段ナル惡變ヲ來スカ如キ作付ケヲナス場合豫メ組合長並ニ地主ノ承諾ヲ經

ルモノトス

- 一、利用地ハ契約期間内ト雖モ貴組合ノ地主ニ返還ヲ必要トスルニ至レルカ又ハ拙者ノ利用カ不適當ト認メラル、トキハ其年 月 日迄ニ通知アルトキハ無償ヲ以テ異議ナク返還スルコト
- 一、契約期間内ニ於テ不得止事由ニヨリ土地ヲ利用スル能ハスシテ之ヲ返還セシメルトキハ其年三月一日迄ニ貴組合ヘ申出ツルコト
- 一、契約期間中萬一天災地變等ニ依リ著シク地力ニ變動シタル時ハ利用料ノ低減ヲ請フコトヲ得ルモ其額ハ貴組合當該者ノ所定ニ據ルコト
- 一、前各條ノ外貴組合定款其他ノ諸規定ヲ遵奉履行スルコト
- 一、保證人ハ連帶シテ本契約履行ノ責ニ任スルコト

右契約候也

大正十四年六月五日

上水内郡朝陽村大字北長池一二九一番地

借主 何 某 ㊦

上水内郡朝陽村大字北長池

保證人 何 某 ㊦

有限朝陽信用購買利用組合

組合長 何 某 殿

一六六

一(土地先買權、小作料滞納ノ處置)ト入

土地借用證書

私儀別紙目錄ノ土地貴村責任地ニ付左記條項承諾ノ上借用仕候ニ就テハ確ク相守リ可申候也

第一條 大正 年 月 日ヨリ大正 年 月 日迄 年間小作ニ従事可致候事

第二條 前條借用土地ニ對シ貴村ニ於テ賣拂處分ヲセラルル場合借用ノ初年ヨリ其賣拂處分ノ年迄滞滯ナク

小作料ヲ納入シタル時ハ借地人ニ買得優先權アルモノトス

第三條 小作料ハ一反歩ニ付金六圓五十錢ノ割合ヲ以テ相納メ可申候事

第四條 前條小作料ハ左ノ期限ニ納入可致候事

毎年 八月二十五日限り 二分ノ一
十一月二十五日限り 二分ノ一

第五條 小作料滞滯ノ場合ハ保證人ハ連帶責任ヲ以テ負擔シ前條期日後ハ納付金額百圓ニ付一日金四錢宛ノ

過怠金ヲ附加シテ納入シ毫モ御損耗御迷惑懸ケ申間敷ハ勿論借用土地如何様ニ御處分相成候共決シテ異議等申出テ間敷候事

右相違無之依テ保證人連署借用證書差入申候也

大正 年 月 日

郡 村 番地

借地人 何

某 印

郡 村 番地

保證人 何

某 印

郡 村 番地

保證人 何

某 印

郡 村 番地

保證人 何

某 印

南安曇郡 村長 殿

一六七

〔不作時ノ小作料減額、契約解除、契約更新〕

小作證書

(田畑反別小作料ノ表示)

右御所有ノ地所今般我等小作受高前書之通り取極メ借受申候ニ付左ノ通り契約致候

一 小作期間 大正 年 月 ヨリ 大正 年 月 迄 年間トス

一 小作 () 納期ハ毎年 月 日 限り 貴役場 迄 運送致相納メ可申候

一 小作地ニ就テ肥料手入等充分ニ致耕耘方念入可仕ハ勿論水路畦畔道敷等ヲ紊サス大切ニ保護可致候

一 納租穀物ノ儀ハ性合吟味致シ可申ハ勿論俵繩等ニ至ル迄入念仕候

一 不可抗力ニ因リ收穫ノ減スルコトアルモ貴殿御指圖ニヨル御勘辨ノ外大勢ノ力ヲ借り強談等ノ儀ハ決シテ

致間敷候

一 地主ノ承諾ヲ得スシテ樹木等ヲ植付ケ又ハ地成變更等致間敷候且ツ他人へ再貸地セサル事

一 右地所ハ貴殿方御都合ニテ返地御斷リ有之候節ハ何時タリモ肥料手入等ノ苦情ヲ不申樹木作物等有形ノ儘

速ニ返地可仕候且又拙者ヨリ返地ニ及ヒ候節ハ其年十一月十五日限り御斷リ可申候尙引續キ小作受致候ト

キハ繼續可致候旨其年三月二日限り貴殿方へ可申出候間此證書ニテ御指置可被下候

一 小作人病氣其他不時ノ件出來半途ニシテ耕作致兼候場合有之候トキハ保證人ニ於テ本人ニ成代リ何レトモ處分致シ御迷惑相掛申間敷候尤モ本件ノ場合ニ於テハ次ノ耕作季節ト相成候トキハ貴殿方へ申出御指圖通リ履行可致候

一 小作穀納期ニ至リ相滞リ候ハハ小作本人ヲ差置キ保證人一名ニテモ辨償ノ義務相果シ聊カ御損毛相掛ケ申間敷候且小作本人轉籍寄留逃亡不在等有之候共保證人ニ於テ屹度辨償可仕候

右各項ノ契約ハ保證人小作本人ト連帶シテ履行可致候爲後日小作契約證仍テ如件

大正 年 月 日

南佐久郡大澤村

小作人 何

某 ㊦

同 郡同 村

保證人 何

某 ㊦

南佐久郡大澤村

管理者

村長 何

某 殿

愛 知 縣

一六八

〔契約更新、契約解除、小作料ノ品質、小作料納入ノ場所、不作時ノ小作料減額、賃貸借契約ノ明示〕

土地賃貸借契約證

第一條 本契約ノ目的タル土地ノ所在、地目、反別並ニ賃貸借料ハ別紙土地賃貸借内譯明細書之通トス

第二條 本契約ヲ爲スニ當リ以下賃貸人ヲ甲賃借人ヲ乙契約ノ目的タル土地ヲ單ニ土地ト略稱ス

第三條 本契約ノ存續期間ハ田ニアリテハ一月ヨリ畑ニアリテハ九月ヨリ起算シ向フ一ケ年限リトス

第四條 期間滿了後次耕作物植付又ハ播種前甲カ返地ノ要求ヲナサス乙カ使用收益ヲ繼續セル場合ハ本契約ハ同一條件ニテ更新シタルモノト見做ス

第五條 契約期間内ト雖モ各當事者ハ任意ニ六ヶ月前ノ豫告ヲ以テ解除ノ申入ヲナス事ヲ得此ノ場合ニ於テ賃貸借ハ豫告期間ノ滿了ト同時ニ終了シ乙ハ即時ニ土地ヲ甲ニ引渡ス事ヲ要ス

第六條 前條ニ因ル賃貸借終了ノ際當該土地ニ付既ニ次耕作ニ對スル勞力費用ヲ投シ若クハ未收
 穫物等現存スル場合ニ於テ解約申入人カ甲ナル時ハ甲ニ於テ之カ補償ヲナシ乙ナル時ハ無償ニ
 テ作付ノ儘返地スヘキモノトス解約申入ノ日ヨリ返地完了迄ノ間ノ賃貸借料ハ乙ニ於テ負擔ス
 ルモノトス

補償價格ニ付協定不調ノ節ハ甲乙各一名宛ノ仲裁人ヲ撰定シ其仲裁ニ服スルモノトス

第七條 賃貸土地カ數筆ニ亘ル時ハ乙ハ甲ノ承諾ナクシテ其ノ一部分ニ付解約ノ申入ヲナス事ヲ
 得ス

第八條 賃貸借期間滿了ニ基ク返地ノ場合ニハ乙ハ土地ヲ原狀ニ回復シテ引渡ス事ヲ要ス

第九條 賃貸借料ハ本縣米穀検査規則ノ生産検査ニ合格シタル中米又ハ輸出検査ニ合格シタル五
 等米以上ニシテ制規ノ俵裝ヲ施シタルモノヲ以テ納付スルコトヲ要ス二斗以上ノ端米及地主共
 同取立ノ場合ニ於ケル端米ノ合計カ四斗以上ナル時ハ前項俵裝米ヲ以テ納付スルコトヲ要ス一
 俵未滿ノ端米ト雖モ其品質ハ前項ト同一ナルコトヲ要ス

第十條 乙ハ毎年一月二十日限り前年度分賃借料ヲ甲ノ指定場所ヘ乙ノ費用ヲ以テ運搬シ皆済ス
 ルモノトス

第十一條 乙ハ甲ノ承認ヲ經テ賃借料ヲ時價ニ換算シテ辨済スル事ヲ得

第十二條 乙ハ自己ノ都合ニ依リ賃借地ニ作付セサルノ故ヲ以テ甲ニ對シ賃借料支拂ノ義務ヲ免
 カレ又ハ輕減ヲ要求スル事ヲ得ス

第十三條 賃借料ハ年ノ豐凶ニ不拘乙ハ契約數量ヲ甲ニ支拂フ義務アルモノトス但天災又ハ不可
 抗力ニ因リ收穫カ賃借料ノ數量ニ充タサルコトヲ乙ニ於テ豫想シタル時ハ收穫前甲ニ檢見ヲ請
 求スヘシ若シ乙カ之ヲ怠リタル時ハ輕減ヲ要求スル事ヲ得ス

第十四條 前條ノ檢見ハ甲乙立會ノ上田ニアリテハ數ヶ所ニテ坪刈ヲ行ヒ其平均ヲ以テ反當リ收
 穫量ヲ檢算シ其ノ五割ヲ其年ノ賃借料トス畑ニアリテハ賃貸借料ヲ夏作六割冬作四割トシ田
 ニ準シ定ムヘキモノトス

第十五條 乙ハ甲ノ許諾ナクシテ土地ヲ他人ニ轉貸使用收益ヲ占據セシメ又ハ賃借權ヲ讓渡スル
 事ヲ得ス

第十六條 甲ハ契約期間内ト雖モ必要ニ應シ土地内ニ立チ入ルコトヲ得

第十七條 乙ハ土地ヲ常ニ善良ナル管理者ノ注意ヲ以テ使用收益保存シ乙ノ行爲又ハ放任ニ因リ
 地力ノ減退形質ノ變動竝ニ隣地ニ被害ヲ及ホス危險ノ一切ノ行爲ヲナササル義務ヲ負フモノト
 ス

第十八條 乙ハ甲ノ賃借人ニ對シ賃借料ノ減免不納ヲ勸誘シ或ハ其ノ減免不納又ハ返地不耕作其

他地主威嚇ノ爲ニスル同盟ニ加入シ若シクハ如此同盟ノ發起又ハ加入ノ勸誘ヲナス事ヲ得ス
第十九條 本契約ノ履行竝ニ變更消滅ニ關シテハ當事者双方直接談合スヘキモノニシテ團體的又
ハ主義者等ノ仲介者ヲ介在セシムル事ヲ得ス

第二十條 甲ハ乙カ本契約ニ違背セリト認ムル時ハ豫告其他何等ノ手續ヲ要セスシテ即時ニ本契
約ヲ解除スル事ヲ得此場合ニ於テ乙ハ直ニ返地スヘキモノトス前項ノ場合ニ於テハ甲ハ乙ニ對
シ何等ノ補償ヲナササルモノトス

第二十一條 賃貸借終了ノ總テノ場合ニ於テ乙ハ何等ノ理由ヲ以テスルモ土地ノ引渡ヲ拒ム事ヲ
得ス假令引渡ヲ拒ミタル時ト雖モ甲ハ直ニ該土地ニ立チ入り自ラ之ヲ利用シ又ハ之ヲ他人ニ貸
與スルコトヲ得之ニ對シ乙ハ妨害ヲナスコトヲ得ス賃貸借終了ニ際シ乙ハ第六條ノ場合ヲ除ク
ノ外地離金其他何等ノ名義ヲ以テスルモ甲ニ對シ金錢物品其他ノ利益ノ供與ヲ請求スル事ヲ得
ス

賃貸借終了後乙ノ責任ニ歸スヘキ事由ニ因リ甲カ該土地ノ完全ナル利用ヲ妨ケラルル間ハ乙ハ
契約賃借料ヲ甲ニ支拂フ事ヲ要シ之カ爲メ甲ニ損害ヲ生センメタル時ハ之ヲ賠償スル事ヲ要ス
第二十二條 本契約ハ永小作權ノ設定ニアラス單純ナル賃借契約ニシテ甲乙任意ニ自由ノ合意ニ
基キ締結セシモノナルコトヲ約諾ス

右契約ス

本契約成立ノ正確ト其履行ヲ確保スル爲メ正本二通ヲ作製シ甲乙各自其一通ヲ保管スルモノ也

大正十三年 月 日

海部郡津島町大字向島居森千九百三十一番地

賃貸人 向島殖産株式會社專務取締役 何 某 ㊦

海部郡

賃借人 何 某 ㊦

(別紙省略)

一六九

〔小作料滯納ノ處置、訴訟管轄裁判所、小作料納入ノ場
所、小作地ニ係ル負擔、小作料俵裝、保證人保證ノ限界〕

借地小作請證

三河國渥美郡牟吉田村大字牟吉字神野新田内借地小作致候ニ付左ノ條項契約仕候事

第一條 借地及其反別ハ貴社備付ノ土地臺帳ニ拙者ノ氏名ヲ記載セラレ現ニ小作中ノモノトス

第二條 借地貸借期間ハ大正十三年ヨリ大正十七年迄五ヶ年間トス

但貴社ノ御都合上作物收穫後次ノ耕作着手季節前解約ノ御通知アルトキハ異議ナク返地可仕候

第三條 小作掬米支拂期日ハ田畑宅地共其年十二月十日限リトシテ畑宅地ニ限リ其四分額ヲ八月二十日限リ支拂可申候

支拂期日ヲ遅滞セシトキハ翌年一月ヨリ不足額ニ對シ一ヶ年一割二分ノ割ヲ以テ延滞利息ヲ支拂可申候

第四條 小作掬米ハ御指定ノ場所ヘ無償ニテ運搬支拂可申候

第五條 掬米額ノ定マリタル耕地ト雖トモ天災其他不可抗力ニヨリ小作掬米額ヨリ少ナキ收穫ナリト思料スルトキハ豫メ御査定相願可申候此御査定額ニ付テハ決シテ異議申問敷候

但耕作怠慢其他小作人ノ過怠ニヨリ收穫ヲ減シタルトキハ本條御査定ノ限リニアラス

第六條 掬米未定ノ耕地ノ掬額ハ收穫前貴殿ニ於テ實地御見分ノ上相等ノ掬米御取極メ相成度其額ニ對シテハ決シテ異議申問敷候

但支拂期日十日以前ニ本條御取極メノ掬米額御通知相成度候

第七條 耕地整理若クハ土地改良工事ハ貴社ノ任意ニ御施行相成度尙該工施行ノ結果第二條ノ期間内ト雖トモ掬米變更相成候時ハ承諾可仕候

第八條 借地ニ屬スル畦畔其他ノ修繕ハ小作人ノ費用ヲ以テ修理可致候

第九條 神野新田内一定ノ耕作方法或ハ小作人全般ニ關スル御指示ニ付テハ堅ク相守申候

第十條 小作掬米ハ其耕作地收得米ヲ精撰シタル米ヲ以テ四斗入壹俵トシ愛知縣產米検査規則ニヨリ生産検査ニ合格シタルモノヲ以テ納付スヘシ一俵ニ滿タサル端米ハ二斗以上俵一個三斗以上俵二個參斗五升以上繩俵共添付可致候

第十一條 不可抗力ニ因テ貴殿ノ責務ニ屬スル堤塘水路其他崩壞シタ場所ノ復舊工事未成中若クハ其場所ノ御抛棄ヨリ小作人所有ノ營造物又ハ耕作物ニ損害ヲ被ルコトアリト雖モ其損害ハ小作人ノ負擔トシテ貴殿ニ對シ之カ賠償ヲ請求致問敷候

第十二條 借地内ノ宅地ニ建設シタル住宅其他ノ建物及樹木ハ耕地小作ノ利用ニ設ケタルモノニ付第二條ノ

期間内ト雖トモ借地解約ノ節ハ同時ニ地上權ヲ抛棄シテ解約ノ日ヨリ拾五日間内ニ宅地ノ御引渡可致候

第十三條 借地反別ニ増減ヲ生シ又ハ同新田内ニ於テ借地替ヲ爲ストモ總テ本契約ヲ相用ヒ可申候

第十四條 保證人ハ連帶責任ヲ以テ本契約履行ノ責ニ任スヘク候

但小作掬米ハ第一條記載ノ借地反別一町一反歩ニ對スル掬米二十二石迄ヲ限度トシテ其責ニ任スルモノトス

第十五條 借地ハ貴社ノ承諾ヲ得スシテ他ヘ轉貸セサルコトヲ特約仕候

第十六條 契約ニ關スル訴訟ハ豊橋區裁判所ヲ以テ裁判管轄トナスコトヲ合意致シ置候

右契約ノ各條項ニ付テハ決シテ違背不仕候依而保證人連署ヲ以テ此證差入候也

大正十三年四月一日

愛知縣三河國渥美郡牟呂吉田村大字牟呂字神田イノ割一番地

同縣同國同郡同村字牟呂八百五番戶

借地本人 何

某 ㊦

保證人 何

某 ㊦

愛知縣三河國渥美郡牟呂吉田村大字牟呂字神野新田口ノ割一番地

保證人 何

某 ㊦

神富殖産株式會社

社長 何

某 殿

一七〇

一(小作料納入ノ場所、不作時ノ小作料減額、契約解除、契約更新、小作地ニ係ル負擔)

土地賃貸借契約書

本契約書ニ於テ賃貸人ヲ甲トシ賃借人ヲ乙トシ保證人ヲ丙トシテ左ノ契約ヲ締結ス

第一條 甲ハ其所有ニ係ル左記土地ヲ乙ニ賃貸シ其使用收益ヲナサシムルコトヲ約シ乙ハ之ヲ賃借シ賃借ヲ支拂フコトヲ約セリ

三重縣何那何村大字何

(土地面積表示)

第二條 借賃ハ一ケ年玄米何石何斗何升何合也トシ毎年十二月十日甲ノ指定スル場所ニ持參支拂ヲナスモノトス 但シ十二月十日ニ至ルモ支拂ヲ爲ササル時ハ甲ノ隨意ノ代金ヲ以テ支拂フモノトス

第三條 賃貸借存續期間ハ本年一月一日ニ初リ同年十二月三十一日ヲ以テ終了スルモノトス

第四條 賃貸料ハ豊凶ヲ平均シテ之ヲ協定シタルモノナルヲ以テ凶作ノ場合ト雖乙ハ其減免ヲ要求セサルモノトス

但シ不可抗力ニ基ク天災地變ニ依リ甚敷收穫ヲ減スルノ虞アル時乙ヨリ立毛ノ儘實地檢分ヲ求ムル時ハ甲ハ實地檢見ノ上相當ト認メラルル限度ニ於テ賃貸料ノ減額ヲナスコトアルモノトス

第五條 乙ハ甲ノ右認定ニ對シテハ何等ノ異議ヲ述ヘサルコトヲ約認ス 但シ收穫力賃貸料ヨリ少ナキ時ハ民法ノ規定ニ從フ

第六條 賃貸料ハ三重縣穀物檢査規則ニ據ル檢査濟ノ合格上等米ヲ以テ支拂フモノトシ万一後日甲ニ於テ不良米等發見ノ節ハ乙ハ何時ニテモ引換ニ應スヘキコト

第七條 賃貸借繼續中ハ乙ハ耕耘培養ニ付善良ナル管理者ノ注意ヲ怠ラサルハ勿論該地ニ關スル畦畔堰樋等

ノ修繕及村内夫役等ノ義務ハ總テ之ヲ負擔スルモノトス

第八條 耕地整理若シクハ土地改良工事ハ甲ノ任意ニ施行スヘク尙該工事施行ノ結果貸貸料増額セララルコトアルモ乙ニ於テ異議ナキモノトス

第九條 不可抗力ニ因リテ甲ノ義務ニ屬スル堤塘、水路、其他崩壊シタル場所ノ復舊工事未成中若シクハ其場所ノ抛棄ヨリ乙所有ノ營造物又ハ耕作物ニ損害ヲ被ムルコトアリト雖其損害ハ乙ノ負擔トシテ甲ニ對シ

之カ賠償ヲ請求セサルコト

第十條 乙ニ於テ賃借中ハ甲ノ承諾ヲ得スシテ第三者ニ對シ轉貸又ハ收穫物賣買等一切不仕ハ勿論承諾ノ上ト雖本契約ノ義務ハ總テ丙ニ於テ負擔スルコト

第十一條 甲ニ於テ賃貨物件入用或ハ事故ニ依リ土地返還ヲ請求スル場合ハ每年十一月中(宅地ニ限リ六十日以前)通知次第乙ハ無償ヲ以テ速ニ返地スヘク立毛果實代ノ儀ハ次項但書ニ據ル

第十二條 甲ハ左ノ場合ニ於テハ何等ノ通知又ハ催告ヲ要セス賃貨地ヲ任意處理スルモ乙ニ於テ異議ナキコト

(一) 乙カ肩書地外ニ轉住シタル時

(二) 乙カ耕耘培養ニ付善良ナル管理者ノ注意ヲ怠リタル時

(三) 乙ニ於テ債務不履行ノ爲メ契約解除サレタル時

但シ收穫前ニ於テ前項ノ事由生シタルニ依リ土地返還ヲナス場合ハ立毛果實代金ハ甲ノ見込ヲ以テ計算ノ

上賃貸料ニ充當スルモノトス此場合ハ乙ハ何等ノ異議ヲ述フルコトヲ得ス

第十三條 丙ハ本契約ヨリ生スル乙ノ債務ニ對シ乙ト連帶シテ其責ニ任スルモノトス

第十四條 本契約ヨリ生スル一切ノ訴訟ハ賃借地ヲ管轄スル裁判所ト合意ス

第十五條 本契約期限滿了後三十日以内ニ當事者及保證人ニ於テ何等異議申出無之時ハ本契約ハ更新サレタルモノトス

第十六條 前條ノ場合ニ於テハ丙ハ更新サレタル契約ニ付イテモ本契約ニ於ケルト同一ノ責ニ任ス

大正 年 月 日

三重縣 郡 村大字

賃借人 何 某

三重縣 郡 村大字

保證人 何 某

愛知縣名古屋市中區新榮町八丁目三十一番地

神富殖産株式會社

取締役社長 何 某殿

賃借地及賃借料目録

字		地名		番地目		別	
		千				賃借料	

鳥取縣

一七一

(契約更新、小作米ノ品質、小作料ノ納入ノ場所、小作料滞納ノ處置)

土地賃借契約證

一、日野郡八郷村大字丸山字何何番

田反別 二反七步

此宛ロ米二石四升

右貴殿御所有ノ土地ヲ賃借シ契約スルコト左ノ如シ

一、賃借期間ハ一ケ年(一耕作年度)ヲ以テ一期トス

一、賃借契約ヲ繼續セントスル時ハ更ニ貴殿ノ承諾ヲ得ルハ勿論此場合ニ於テハ總テ本證記載ノ契約事項ヲ遵守仕候事

一、賃借土地ノ原狀及使用ノ方法ハ貴殿ノ承諾ヲ得ルニアラサレハ變更致間敷候事

一、賃借米ノ品質等級數量俵裝支拂ノ方法場所等ハ貴殿ノ御指定ニ從ヒ異議申間敷候事

一、賃借米ハ賃借契約ノ繼續中毎年十一月二十日限り持參皆濟可仕候事

一、賃借米支拂ノ期日ヲ怠リタルトキハ翌日ヨリ皆濟ノ日マテ一日ニ付元高千分ノ七宛ノ利子ヲ

加ヘ一週間以内ニ必ス皆濟可仕候事

一、賃借米皆濟セサルトキハ該土地ニ對シ決シテ次期ノ耕作ニ着手不仕候

- 一、前各項ニ違背シ耕作シタルトキハ時期ノ如何ニ拘ラス該土地作物ノ儘御引揚相成候共異議無之ハ勿論決シテ損害要償致間敷候事
 - 一、賃借契約期限内ト雖モ其當時仕付アル作物ノ收益季節ヲ除クノ外貴殿ノ都合ニ依リ何時ニテモ返還可仕候事
 - 一、賃借土地ノ小作權ハ貴殿ノ承諾ヲ得ルニアラサレハ猥リニ他人ニ讓渡致間敷候事
 - 一、保證人ハ本人ト同様連帶義務負擔可仕事
- 右土地賃借契約證如件

大正八年五月十日

住所	賃借人	何	某
住所	保證人	何	某

鳥取縣西伯郡米子町尾高町
坂口合名會社御中

岡山縣

一七二

（獎勵米、小作料ノ額、小作料改定、小作料滯納ノ處置、小作地使用ニ關スル制限、契約解除）

耕地賃借契約書

合名會社藤田組（以下甲ト稱ス）ハ其ノ開發セル岡山縣兒島農場ノ土地ヲ何某（以下乙ト稱ス）ニ賃貸シ乙ハ之ヲ賃借シ己ニ其ノ引渡ヲ受ケタルニ依リ互ニ左記各條ノ規定ヲ遵守スヘキモノトス

第一章 總則

- 第一條 乙ノ賃借セル耕地ハ本書末尾ニ記載セル田計何町何段何畝何歩トス
 - 第二條 本契約ノ存續期間ハ大正 年十二月一日ヨリ大正 年十一月三十日迄トス
 - 第三條 本契約ニ關シ甲乙間ニ意見ヲ異ニスルトキハ別ニ定ムル協調委員會ノ調停ニ從ヒ可成圓滿ナル解決ヲ期スヘシ但之カ爲訴訟ノ權利ヲ妨ケサルモノトス
- 第二章 賃借權
- 第四條 乙ハ甲ノ定ムル經營上ノ規則及指示ニ從ヒ耕作ノ範圍内ニ於テ賃借地ヲ使用シ且收益スルコトヲ得

第五條 賃借地ノ畦畔ノ補修工事及雜草ノ除去ハ乙之ヲ爲ス但シ地形變更ノ必要アル場合ハ甲ノ承諾ヲ要ス
 第六條 乙ハ賃借權ヲ讓渡シ又ハ賃借地ヲ轉貸シ若クハ耕作ヲ他人ニ委託スルヲ得ス
 第七條 不可抗力ニ依リ稻ノ收穫高反當リ玄米 斗 升以下ナルトキハ其ノ收穫物全部ヲ乙ノ所得トス
 第八條 乙カ本契約ニ定メタル義務ヲ完全ニ履行シタルトキハ甲カ定ムル耕作獎勵及安定基金ノ規定ニ基ク給與ヲ受クルコトヲ得但シ前條ノ場合ハ安定基金ヲ支給セス

第三章 賃借料

第九條 乙ハ毎年稻ノ立毛ニ就キ甲ノ檢見ヲ受ケ左ノ割合ニヨル賃借料ヲ支拂フモノトス

一、壹反歩ノ收穫檢見高玄米 石 斗迄分ニ對シテハ何等地ハ其ノ十分ノ 個何等地ハ十分ノ 個トス

二、一反歩ノ收穫檢見高玄米 石 斗ヨリ 石 斗迄ノ分ニ對シテハ前號ノ歩合ニ 石 斗ヨリノ超過額ノ十分ノ三個ヲ加ヘタルモノ

三、壹反歩ノ收穫檢見高玄米 石 斗ヲ超過スルモ其ノ賃借料ハ 石 斗ニ該當スル額ニ止ム
 稻以外ノ作物ヲ仕付ケタル土地ニ付テハ甲ハ附近ノ賃借料ニ準シ之ヲ定ム

第十條 懈怠其ノ他乙ノ責ニ歸スヘキ事由ニ依リ附近作物ノ土地ヨリ特ニ劣リタルトキハ甲ハ其ノ隣地平均檢見高ニ準シ前條ノ賃借料ヲ請求スルコトヲ得

第十一條 施設及耕作上甲カ施シタル改良ノ爲ニ乙ノ耕地ニ增收ヲ來スニ至リタルトキハ契約期限中ト雖モ

甲ハ其ノ賃借料ノ變更ヲナスコトヲ得

第十二條 甲ハ立毛檢見ノ必要上坪刈ヲナスコトヲ得

第十三條 乙ハ毎年十二月二十五日限り甲ノ指定スル場所ニ賃借料ヲ持參スヘシ若シ延滞セル時ハ其ノ日數ニ對シ一箇月ニ付未納額ノ百分ノ一ノ利息ヲ支拂フモノトス

第十四條 賃借料トシテ納ムヘキ玄米ハ岡山縣穀物検査規則ニヨル合格米トス但賃借料額ノ端數二斗以上ナルトキハ包裝一組宛ヲ添納スルモノトス

第十五條 乙ハ賃借料ヲ完納スル迄ハ作物ヲ他ニ賣却又ハ擔保ニ入ルルコトヲ得ス

第十六條 乙ハ甲ヨリ賃借料額ノ通知ヲ受クル前ニ於テハ稻ノ立毛ノ刈取其ノ他任意ノ處分ヲナスコトヲ得ス

第十七條 乙カ賃借料額ニ付キ異議ヲ申出タル場合又ハ異議ナキモ適當ノ時季ニ刈取ヲナササル場合ニハ甲ハ賃借料トシテ左ノ割合ニ依リ隨意ノ場所ヲ刈取り收納スルコトヲ得

一、賃借地反別(營造物敷地ヲ含ム)ニ對スル第九條第一項ニ依ル歩合

二、前號ノ刈取調整俵裝其ノ他ノ費用トシテ賃借地總反別ノ十分ノ二個ノ立毛

第十八條 乙カ所定ノ植付ヲナササルカ又ハ收穫高ノ決定ヲ困難ナラシメタル場合ニ於テハ甲ハ賃借地(營造物敷地ヲ含ム)一反歩ニ付玄米一石五斗ノ割合ヲ以テ賃借料トナス

第四章 契約ノ終了

第十九條 乙ノ都合ニ依リ本契約ヲ解除セントスルトキハ二箇月前ニ書面ヲ以テ其ノ旨ヲ甲ニ申出ツルコトヲ要ス

第二十條 乙並ニ乙ノ家族又ハ使用人ニシテ左記各號ノ一ニ該當スル場合ハ甲ハ直チニ本契約ノ解除ヲナスコトヲ得

一、契約ニ違背セル場合

二、農事ニ不熱心ニシテ改善ノ見込ナシト甲カ認メタル場合、甲ノ經營上已ムヲ得サル事由ニヨル場合亦同シ

第二十一條 契約終了後甲ノ地上ニ乙ノ作物カ存スル場合ハ其ノ儘返地セルモノト看做ス此ノ場合ニ於テ甲ハ現在ノ作況ヲ標準トセル見込額ヲ以テ之カ補償ヲナスコトヲ要ス但シ賃借料其ノ他乙ノ負擔額ヲ控除スルヲ妨ケス

第二十二條 契約ヲ解除スルカ又ハ契約ノ更新ヲ認メサルトキハ乙ハ契約終了ノ日ヨリ壹箇月以内ニ乙ノ居ヲ明渡スコトヲ要ス

前項ノ期間經過スルモノ乙カ甲ノ經營地内ニ構設シ又ハ持込ミタル物件ヲ撤去セサル爲メ事業上支障アル場合ハ甲ハ撤去其ノ他適當ノ處置ヲ爲ナスコトヲ得

右契約ヲ證スル爲メ證書ニ一通ヲ作り當事者雙方各自一通ヲ保有スルモノ也

大正 年 月 日

大阪市北區堂島北町二十番地

合名會社 藤田組

指定代理人 兒島農場長 何 某 ㊦

岡山縣兒島郡 村字 番地

耕作人 何 某 ㊦

岡山縣兒島郡 村字 番地

右 保證人 何 某 ㊦

廣 島 縣

一七三

（契約更新、小作地使用ニ關スル制限）

小 作 證 書

一、畑田 何郡何村大字何番地字何
何程 定米 何程

一、畑田 何郡何村大字何番地字何
何程 定米 何程

一、畑田 何郡何村大字何番地字何
何程 定米 何程

右ノ地所耕作ノ目的ヲ以テ賃借候ニ付左ノ通約定致候也

第一條 借用期限ハ大正 年六月十日限リトシ期間終了十五日前迄ニ兩當事者ニ於テ相手方ニ對シ特ニ賃借終了ノ通告ヲ爲ササルトキハ更ニ一ケ年繼續シ爾後期間滿了ノ際之ニ準シ大正 年六月十日ニ至リ止メ候事

第二條 定米ハ入念調製ノ上堅繩付俵裝(四斗俵)ヲ施シ毎年十二月二十五日限リ御指定ノ場所ヘ納付可仕若シ其ノ米質乾燥調製又ハ俵裝等ノ孰レニテモ不充分ト御認メノトキハ直ニ他ノ完全ナル品ト引換ヘ相納メ可申候

端米又ハ無止事由有之候場合ニ金納ニ致候節ハ貴殿御定メノ石代ニテ換算シ相場ノ高低ニ對シ一言ノ異存申間敷候事

第三條 田地ハ特ニ御許諾ナキ限リハ毎年必ス稻作可仕候事

第四條 天災ノ爲凶作ニテ御檢見相願候節ハ十一月十日限リ願出可申候尤モ藪跡又ハ稻作以外ノ作物ハ如何程ノ凶作ニテモ御檢見引相願申間敷候事

第五條 御許諾ナクシテ小作地ヲ他人ヘ轉貸、地目地形ノ變更又ハ毛上賣等致ス間敷候事

第六條 萬一定米ノ滯納、耕作不行届、故意ノ納米毀損、小作地ノ耕作以外ノ目的ニ使用、前各條約定ノ一以上ノ違反其ノ他重大ナル義務ノ不履行等聊カニテモ不都合ノ行爲アリタルトキ若クハ失踪逃亡又ハ二週間以上居所不明ノ場合ハ第一條ノ期限ニ係ラス何時タリトモ御隨意ニ地所毛上共ニ無償ニテ御引上ケ相成トモ毫モ異存無之候事

第七條 證人ハ小作人カ義務不履行仕候節ハ直チニ代ツテ辨償ノ責任ヲ負ヒ決シテ御損失ハ相掛ケ申間敷候事

右小作證書仍而如件

大正 年 月 日

郡 番

小作人 何

某 ①

郡 番

證人 何

某 ②

財團法人義倉
專務理事 何 某 殿

山 口 縣

一七四

〔契約更新、小作料納入ノ場所、不作時ノ小作料減額、契約解除〕

土地賃貸借契約書

株式會社久原用地部(以下甲ト稱ス)ハ其ノ所有土地ヲ田、畑、宅地トシテ存續期間中何 某
(以下乙ト稱ス)ニ賃貸シ乙ハ之ヲ賃借シ己ニ其ノ引渡ヲ受ケタルニ依リ左記各條ヲ確實ニ遵守ス
ヘキモノトス

第一條 乙ノ賃借セル土地ノ面積及賃借料ハ本書末尾ニ記載ノ通りトス
第二條 本契約ノ存續期間ハ大正十五年四月一日ヨリ大正十六年三月末日迄トス

但シ乙ハ甲ノ承諾ヲ得テ前項ノ期間ヲ更新スルコトヲ得

第三條 乙ハ甲ノ指定日限迄ニ指定ノ場所ニ賃借料ヲ持參支拂フモノトス

第四條 賃借料ハ金納ノ特約アル場合ノ外ハ精選シタル現物ヲ納入スルモノトス

但シ納入米ハ防長米同業組合ノ規定ニ基ク生産検査ニ合格シタルモノトス

第五條 天災地變其ノ他不可抗力ニ依リ作得減少ノ場合ハ乙ノ申出ニ依リ甲ハ土地ノ狀況其ノ他作柄等ヲ調
査シ相當賃借料ノ減額ヲナスモノトス

但シ乙ハ之カ減額數願ニ付テハ甲ニ對シ代人ヲ使用シ又ハ團體的行動ヲ以テ要求或ハ交渉ヲナスコトヲ得
ス

第六條 乙ハ甲ノ承諾ヲ得スシテ賃借權ヲ讓渡シ又ハ賃借地ヲ第三者ニ轉貸スル事ヲ得サルモノトス

第七條 懈怠其ノ他乙ノ責ニ歸スヘキ事由ニ依リ作柄附近ノ土地ヨリ特ニ劣リタルトキハ甲ハ乙ニ對シ約定
ノ賃借料ヲ請求スルコトヲ得

第八條 各當事者ニ於テ自己ノ都合ニ依リ賃借地ノ返還ヲ必要トシ本契約ヲ解除セントスル場合ハ二ヶ月前
ニ書面ヲ以テ其ノ旨豫告スルモノトス

第九條 左ノ場合ニ於テハ甲ハ乙ニ對シテ何等ノ催告ヲ要セスシテ本契約ヲ解除シ土地ノ明渡ヲ請求スルコ
トヲ得此場合ニ於テ乙ハ直ニ其ノ求メニ應シ別ニ土地引渡ノ爲メ立會等ヲ要セス當然明渡シタルモノトシ
該土地ニ立入ルコトヲ得サルハ勿論何等異議ヲ申述フルコトヲ得サルモノトス

土地貸借契約證書

土地ノ地		所有地	地番	地目	反別坪數	元賃借米	改正賃借米	摘	要
示	表								
合	計								

右貴會社所有土地今般拙者賃借仕候ニ付テハ左記事項契約仕候也

一、借地料一ヶ年ニ付米何石何斗何升何合 前表合計額)

二、納入米ノ種類

香川縣米穀検査規則ニ依ル合格玄米トス

三、納入場所

貴會社倉庫又ハ貴會社御指定ノ場所

四、納入

毎年十二月三十日限り 但シ止ムヲ得サル事故アル時一ヶ月間延納ヲ御承認下サルヘキコト

五、契約期間

自昭和 年 月 日至昭和 年 月 日 但前項期間經過後ト雖モ本契約ノ義務ヲ完全ニ

履行セル場合ハ貴會社ニ止ムヲ得サル理由無キ限り引繼キ賃借シ得ル様契約締結下サルヘキコト

六、賃借地ノ制限

イ 賃借地ハ貴會社ノ承諾ヲ得シテ其原形ヲ變シ又ハ轉貸ヲナシ或ハ擔保トナササルコト

ロ 貴會社ニ於テ特ニ右土地ヲ必要トスル場合ハ期間中ト雖モ返地可致事

七、借地料増減

土地ノ負擔或ハ變形其ノ他一般ノ情勢ニ異動アリタル爲借地料ノ増減ヲ要スル時ハ誠意ヲ以テ御協議ニ

應スヘキコト

八、責任事項

イ 右各項目中一項タリトモ違背候時ハ何時タリトモ御請求ニ依リ返地可致且是レカ爲生シタル損害ヲ賠

償致スヘキコト

ロ 納入期限經過後ハ延滞利子一ヶ月一分(元米ノ百分ノ一)ヲ加算納入スヘキコト

ハ 保證人ハ賃借人ト連帶責任タルコト

九、特約事項

一〇、契約外ノ事項

本契約ニ規定ナキ事項ニ付テハ民法賃借ノ規定ニ從フコト

爲後日右賃借契約證書差入候也

昭和 年 月 日

郡	町村	番
賃借人	何	
某	印	

郡	町村	番
證人	何	
某	印	

香川縣琴平町

讃岐土地株式會社代表

取締役 何 某 殿

四 各種調査會又ハ地主、小作人
 組合其ノ他ニ於テ調査研究ノ
 結果作成シタル小作證書

四 各種調査會又ハ地主、小作人組合其ノ他ニ於
テ調査研究ノ結果作製シタル小作證書

秋 田 縣

一七六

（契約更新、小作料納入ノ場所、契
約解除、小作地賣却ノ際ノ處置）

小作契約書

何 某ノ信託土地所有者秋田信託株式會社（以下單ニ甲ト稱ス）ト小作者何 某（以下單ニ乙
ト稱ス）ト左記各項ニ依リ小作契約ヲナス

- 一、甲ハ末尾記載ノ土地ヲ各筆調小作料ヲ以テ向後 個年間小作地トシテ乙ニ貸付ス但相互ノ合意ニ依リ
其ノ期間ヲ更新スル事ヲ得
- 二、小作米ハ秋田縣生産米検査ニ據ル 等米ヲ標準トシ毎年十二月二十日甲指定ノ個所ニ納入スルコト若シ

等級ニ差異アルトキハ規定ノ格上格下金ヲ以テ精算スルモノトス

三、不可抗力ノ障害ニ因リ小作地ノ收穫カ平年作以下トナリタルトキハ甲ハ立毛ヲ檢分シ相當毛引ヲ爲スモノトス其ノ毛引額ニ對シテ乙ハ異議ノ申立ヲナササルコト

四、甲ハ乙ノ同意ヲ得スシテ契約期間内ニ其ノ小作地ヲ他ニ轉貸セサルコト但シ左記各項ノ一ニ該當スルトキハ此ノ限りニアラス

(一) 當該年度ノ小作料金額ヲ納入セサルトキ

(二) 二ケ年間引續キ小作料ヲ完納セス其ノ額一個年分ニ達シタルトキ

(三) 三ケ年間引續キ小作料ヲ完納セサルトキ

(四) 耕作法粗雜ナルカ農事獎勵ヲ遵守セサルカ又ハ荒廢ニ歸セシメタルカ或ハ耕作以外ニ使用シタルトキ

(五) 甲ノ承諾ヲ得スシテ他ニ轉貸シタルトキ

五 甲カ信託契約ノ趣旨ニ基キ其ノ小作地ヲ賣却スル必要ヲ生シタル場合ニ於テ乙ニ購買ノ希望アルトキハ優先權ヲ與フルコト

六 乙カ其ノ小作地ニ土地改良ノ目的ヲ以テ特種ノ施設ヲナサントスルトキハ其ノ設計ニ付キ甲ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

七 前項ノ施設カ效果ヲ舉ケツツアル場合ニ於テ第四項第五項ニ依リ其ノ小作地ヲ轉貸又ハ賣却スルトキ或

ハ期間満了後之レヲ更新セサルトキハ乙ハ其ノ施設ニ對シ當初ノ費用ヲ超過セサル範圍ニ於テ相當ノ代償ヲ要求スルコトヲ得

右契約ヲ確守スル爲本書ニ通ヲ作成シ各自一通ヲ所持スルモノトス

昭和 年 月 日

秋田縣秋田市本町四丁目十五番地

何 某信託土地所有者秋田信託株式會社

取締役社長 何 某 ㊦

秋田縣 郡

小作者 何 某 ㊦

秋田縣 郡

保證人 何 某 ㊦

小作田地ノ表示

備考 本證書ハ不動産信託會社ト小作人トノ間ニ締結セルモノ

一七七

〔小作契約期間、契約更新、小作料ノ種
類、契約解除、小作地賣却ノ際ノ處置〕

小作契約書

土地所有者

(以下單ニ甲ト稱ス)ト小作者

(以下單ニ乙ト稱ス)ト左記各項ニ

依リ小作契約ヲナス

- 一、甲ハ末尾記載ノ土地ヲ各筆調小作料ヲ以テ向後十個年間小作地トシテ乙ニ貸付ス但相互ノ合意ニ依リ其ノ期間ヲ更新スルコトヲ得
- 二、小作米ハ秋田縣生産米検査ニ據ル三等米ヲ標準トシ其翌年二月末日限リ平澤農業倉庫ノ入庫票ヲ以テ納入スルコト若シ等級ニ差異アルトキハ規定ノ格上格下金ヲ以テ精算スルモノトス
- 三、不可抗力ノ障害ニ因リ小作地ノ收穫力平年作以下トナリタルトキハ甲ハ立毛ヲ檢分シ相當毛引ヲ爲スモノトス其ノ毛引額ニ對シテ乙ハ異議ノ申立ヲナササルコト
- 四、甲ハ乙ノ同意ヲ得シテ契約期間内ニ其ノ小作地ヲ他ニ轉貸セサルコト但シ左記各項ノ一ニ該當スルトキハ此ノ限リニアラス
- 一、當該年度ノ小作料全額ヲ納入セサルトキ
- 二、二個年間引續キ小作料ヲ完納セス其ノ額一個年分ニ達シタルトキ

右契約ヲ確守スル爲メ本書ニ通ヲ作成シ各自一通ヲ所持スルモノトス

大正十四年 月 日

秋田縣由利郡平澤町

土地所有者 何

某 ①

秋田縣由利郡

小作者 何

某 ②

三、三個年間引續キ小作料ヲ完納セサルトキ

四、耕作法粗雜ナルカ農事獎勵ヲ遵守セサルカ又ハ荒廢ニ歸セシメタルカ或ハ耕作以外ニ使用シタルトキ

キ

五、甲ノ承諾ヲ得シテ他ニ轉貸シタルトキ

五、甲カ其ノ小作地ヲ賣却セントスル場合ニ於テ乙ニ購買ノ希望アルトキハ先取權ヲ與フルコト

六、乙カ其ノ小作地ニ土地改良ノ目的ヲ以テ特種ノ施設ヲナサントスルトキハ其ノ設計ニ付キ甲ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

七、前項ノ施設カ效果ヲ擧ケツツアル場合ニ於テ第四項第五項ニ依リ其ノ小作地ヲ轉貸又ハ賣却スルトキ或ハ期間滿了後之レヲ更新セサルトキハ乙ハ其ノ施設ニ對シ當初ノ費用ヲ超過セサル範圍ニ於テ相當ノ代償ヲ要求スルコトヲ得

群馬縣

一七八

(契約更新、小作料滞納ノ處置)

土地小作證書

末尾表示ノ土地合計反別

一、田 何反何畝何歩

但此小作料一ヶ年合格米何俵何斗何升

右之土地借受小作仕候就テハ左ノ各項ヲ契約仕候

第一項 小作年限ハ本年稻作植付ヨリ大正十七年麥作收穫期迄三ヶ年間トス但滿期ニ至リ小作繼續ノ場合ハ

其ノ年三月二十日限り證書更新致スヘク證書更新ヲ爲ササル時ハ返地致セシモノト御承知相成度候

第二項 小作料ハ毎年十二月二十日限り支拂申スヘク若シ納期ヲ怠リタルトキハ支拂期ノ翌月一日ヨリ支拂

濟ノ當日マテ小作料ニ對シ年百分ノ十五ノ割合ヲ以テ利子相加ヘ可申此場合ニ於テハ正米若クハ代金何レ

ナリトモ貴殿ノ御要求ニヨリ支拂可申候

第三項 第一項ノ小作期間中タリトモ貴殿ニ於テ土地御入用ノ節ハ法規ノ如何ニ拘ハラズ現作收穫後直ニ返地可致候

第四項 小作地ハ貴殿ノ御承諾ヲ得サレハ他ヘ轉貸又ハ土地變更等ハ決シテ致間敷候

第五項 小作料支拂時期ヲ經過スルモ小作人ニ於テ支拂ヲ爲サ、ルトキハ保證人ニ於テ引受無異議辨償可致候

右之各項契約ノ通保證人共ニ確守可致仍而證書如件

大正 年 月 日

郡 村大字 番地

小作人 何 某 ㊦

郡 村大字 番地

保證人 何 某 ㊦

郡 村大字 番地

何 某 殿

土地表示

何郡何村大字何何番

一、田 何段何畝何步 入辻米何斗何升

何郡何村大字何何番

一、田 何段何畝何步 入辻米何斗何升

何郡何村大字何何番

一、田 何段何畝何步 入辻米何俵何斗

備考 本證書ハ小作爭議調停後地主小作人夫々多數協議ノ上作成シ契約セルモノナリ

一七九

〔小作料納入ノ場所、小作料俵裝、不作時ノ小作料減額〕

小作證書

小作人 何 某

字	名	番地	地目	反	別	入付種目	入付反額	入付高	摘	要
---	---	----	----	---	---	------	------	-----	---	---

右ハ貴殿御有之土地前記地目反別定入付料ノ適當大正 年度名々控小作仕候處實正也然ル上ハ
 耕地大切ニ耕作可仕候殊ニ小作地境界堅ク相守リ可申候且入付米ノ儀ハ品質、調製俵裝等入念精
 選四斗入ニ俵拵ノ上來ル十二月限リ貴殿御指示ノ場所へ運搬屹度皆濟可仕候尤モ十二月十日迄ニ
 納入ノ分ニ限リ一重皮俵裝トシ其後ノ分ハ二重皮俵裝ニテ納入可仕候又田方ノ全收量力定免小作
 料ノ十八割以上ナルトキハ減免相願申間敷候萬一凶作ノ場合實地御見分ノ上全收量力定免小作料
 ノ十五割以上十八割未滿ナルトキハ全收量ノ四割全收量力定免小作料ノ十割以上十五割未滿ナル
 トキハ全收量ノ三割五分ヲ以テ小作料ト御定メ被下度尙全收量力定免小作料ノ十割未滿ナルトキ
 ハ双方協議ノ上減額小作料御定メ被下度候但作物刈取後ニテ證據無之向ニ就テハ減免等相願申間
 敷候爲後日土地控小作證書依而如件

年 月 日

郡 村大字

小作人 何

某 ㊦

地王 何 某 殿
備考 本證書ハ小作爭議調停成立後地主小作人相互協議ノ上作成セルモノナリ

岐 阜 縣

一八〇

一(小作契約期間、契約更新)一

(甲) 土地受作證券

可兒郡春里村鹽河字何何番地

田 何反何步 外何筆

此掬米 何石何斗何升

右御貴殿御所有ノ土地大正 年 月ヨリ大正 年 月迄十ヶ年間鹽河信用農業組合ト左記連名者連帶責任ヲ以テ借地請作候處實正也然ル上ハ大切ニ耕作可致ハ勿論左ノ條約通り聊力違

背致間敷ク候

一、請作年限中タリトモ御貴殿御入用カ或ハ拙者ニ於テ不都合ノ廉有之候節ハ一ヶ年以前ノ御通知ヲ以テ返地可致候事

一、掬米ハ請作年限中毎年十二月二十日限り皆納可致年ノ豊凶ニ不拘掬米ハ相定可致候事

但最モ凶作甚タシキ個所ハ相互協議ノ上減額ノ御勘辨ヲ乞ヒ納米スルコト

一、掬米ハ前記期日ニ皆納可致約定ナルモ萬一其期日ニ遲滯スル場合ハ時價ニ換算シテ代金又ハ玄米ニテ請求セラル共御貴殿ノ撰擇ニ任スル事

一、米拵ハ正米ニテ俵拵ハ上俵ニテ納米可致候事

一、請作年間相過タリトモ尙請作繼續致居リ候節ハ此契約定リ違背致間敷候事

前記契約ノ土地ハ組合員中左記 名ニテ耕作可致候間當組合ト受作者 名ト連帶責任ヲ負ヒ

掬米支拂可仕候

右土地受作證券差上置候事

大正 年 月 日

備考 本證書ハ鹽河信用農業組合ヨリ地主へ差入レタルモノナリ

(乙) 土地受作證券 (小作契約期間、契約更新)

左ノ表示ノ土地大正 年 月ヨリ大正 年 月迄十一ケ年間連帶責任ヲ以テ借地請作仕
リ候處實正也然ル上ハ大切ニ耕作可致ハ勿論左ノ條約通り聊違背致間敷ク候

一、受作年限中組合入力或ハ拙者ニ於テ不都合ノ廉有之候節ハ一ケ年以前ノ御通知ヲ以テ返地可致候事

一、掬米ハ請作年限中毎年十二月二十日限り皆納可致候事

一、掬米ハ前記期日ニ皆納可致約定ナルモ萬々一其期日ニ遲滯スル場合ハ時價ニ換算シテ代金又ハ玄米ニテ
請求セラルモ組合撰擇ニ任スル事

一、米拵ヘハ正米ニテ俵拵ハ上俵ニテ納米可致候事

一、請作年間相過キタルモ尙請作繼續致居リ候節ハ此契約通り聊カ違背致間敷候事

右之通り堅ク相守リ可申若右ノ契約ニ背キ候廉有之ニ於テハ本人ノ在不在ニ不拘一切ノ義務保證
人連帶ヲ負ヒ實行可仕候依テ借地請作證書差上置候也

大正 年 月 日

可兒郡春里村 鹽河 番

受作人 何 某 ㊦

可兒郡春里町鹽河 番

連帶保證人 何 某 ㊦

可兒郡春里村

鹽河信用農業組合御中

(小作田畑ノ表示省略)

備考 本證書ハ小作人ヨリ鹽河信用農業組合ニ差入レタルモノ

靜岡縣

一八一

小作證

(田畑
小作料等ノ表示)

右貴殿御所有ノ地所今般證人相立當大正 年ヨリ小作仕左之通約定ス

一、納米ハ最モ精撰シ拵目改メテ受ケ繩俵等入念製調シ事故ナキ限り御指定ノ日限ニ皆納致ス事

一、自己ノ名義ヲ以テ他人へ小作ヲ託スル如キ事ハ決シテ致間敷事
一、事故ナクシテ納米滯滞スルカ如キ事有之候節ハ速ニ證人ノ拙者共ヨリ悉皆辨償シ毫モ御損毛相掛ケ申間
敷事

右ノ件々違背致間敷候依之小作證差入候如件

備考 本證書ハ富士農民組合(富士郡加島村水戸島)ニテ希望セル小作證書ノ様式ナリ

一八二

借地證書

一散田米 何俵何斗何升也

此地所 何郡何村何字何番地

此坪數 何反何畝何步也

右者今般拙者儀都合ニ因リ前書ノ地所ヲ前記ノ散田米 俵 斗 升定メニテ御貴殿ニ御願
ヒ御承諾ヲ得テ借用申候處實正也然ル上ハ毎年々末限リ御勘定致シ申ス可ク聊カタリトモ御貴殿

ニハ御損毛相掛ケ申ス間敷候萬一天災地變ノ場合ニ農作物特ニ福作ニ被害ヲ生シタル時ハ相互立
會見分ノ上違作引米ヲ協定シ該米ヲ差引テ殘額ハ直ニ御支拂申ス可ク候爲後日證人加判ノ證書差
入レ置キ候段依テ如件

年 月 日

郡 村 字 番地

借地人 何 某 印

郡 村 字 番地

保證人 何 某 印

郡 村 字 番地

何 某 殿

備考 本證書ハ小笠郡垂木村富部區小作人組合ニテ希望セル小作契約書ノ様式ナリ

大 阪 府

一(小作料納入ノ場所、不作時ノ小作料減額、小作料改定、小作地使用ニ關スル制限、契約解除)

田地賃貸小作契約證書

何 某(以下甲ト稱ス)ハ本書末尾記載ノ土地ヲ何 某(以下乙ト稱ス)ニ賃貸シ乙ハ之ヲ賃借シ左記各條ノ契約ヲ締結ス

第一條 乙ノ賃借セル土地及賃借料ノ明細ハ末尾ニ記載ノ通りトス

第二條 乙ハ賃借料合計米 月 日限リ甲ノ指定シタル場所ニ持參辨濟スヘキモノトス

第三條 乙ハ不可抗力ニヨリ前條ノ賃料ヨリ少キ收益ヲ得タル場合ト雖モ甲ニ對シ賃借料ノ減額ヲ要求スルコトヲ得サルモノトス

第四條 賃借料米ハ地方ニ於ケル最良ノ米穀ヲ撰擇シ且ツ乾燥調製ニ注意シ新調ノ俵ヲ用ヒ諸法令並ニ慣習ニ從ヒ完全ナル俵裝ヲ施スヘキモノトス

第五條 賃借期間ハ大正 年 月 日ヨリ大正 年 月 日迄トス

第六條 前項ノ期間内ト雖モ地價ノ騰貴、租稅公課ノ増加其他經濟事情ノ變遷ニ伴ヒ甲ヨリ賃料増額ヲ指定スル場合ハ乙ハ之レニ應スル義務アルモノトス

第七條 乙ハ賃借地ノ用法ニ從ヒ耕作ノ範圍内ニ於テ賃借地ヲ使用シ收益スルコトヲ得

第八條 乙ハ賃借權ヲ他人ニ讓渡シ又ハ賃借地ヲ轉貸シ若クハ耕作ヲ他人ニ委託スルコトヲ得ス

第九條 賃借地ニ對シ原狀ニ變更ヲ來スヘキ工作ヲ加ヘントスルトキハ甲ノ承認ヲ得ルコトヲ要ス但承認ヲ經テ加工ヲ爲シタルトキト雖モ賃借地返還ノ場合ニ於テ之ヲ原狀ニ回復セス又ハ之ヲ爲スコト不能ナル場合ニ於テハ之ニヨリテ附屬セシメタル物ハ當然甲ノ所有ニ歸シ乙ハ補償ノ請求ヲ爲スコトヲ得サルモノトス

第十條 甲乙ノ一方ヨリ本契約ヲ解除セントスルトキハ一ヶ年前ニ相手方ニ對シ解約ノ申入ヲ爲スコトヲ要ス

第十一條 乙ニ於テ本契約ニ違背シタルトキハ催告其他ノ手續ヲ要セス直ニ解約セラル、モ異議ナキコトヲ承諾ス

第十二條 乙ハ賃借料ノ支拂ヲ遲滞シタルトキハ何等ノ手續ヲ要セス直ニ強制執行ヲ受クルモ異議ナキコトヲ承諾ス

第十三條 甲ニ於テ目的物件ヲ他ニ讓渡シタルトキハ本契約ハ何等ノ手續ヲ要セスシテ當然解除セラル、モノトス

第十四條 乙カ土地ヲ返還スヘキ場合ニ於テ遲滞ナク地上物ヲ收去シテ其ノ明渡シヲ爲サ、ルトキハ甲ハ裁判上ノ手續ヲ履踐スルコトナク乙ノ費用ヲ以テ自ラ之ヲ爲シ又ハ第三者ヲシテ之ヲ爲サシムルコトヲ得此ノ場合甲ニ於テ其ノ收去シタル物ヲ任意取捨處分スルモ乙ハ異議ヲ申出ルコトヲ得サルモノトス

第十五條 賃借地返還ノ場合ニ於テ乙ハ名義ノ如何ヲ問ハス金錢又ハ物品ノ交付ヲ請求スルコトヲ得サルモ

右賃貸小作契約ヲ證スル爲メ本書ヲ作成スルモノ也

大正 年 月 日

(甲) 土地賃貸人 何 某
(乙) 土地賃借人 何 某

備考 本證書ハ大日本地主協會ニ於テ作成シ一般ニ實費頒布セシモノナリ

一八四

—(小作料滞納ノ處置、契約解除、檢見)—

土地賃貸借約款

- 一、賃貸料ハ第二別表宛米高欄記載ノ通りトス
- 二、賃貸料ハ毎年十二月二十五日限り玄米ヲ以テ賃貸人宅ニ持參支拂フモノトス
- 三、賃借人ニ於テ若シ前項所定ノ期限ヲ過キテ小作料ヲ支拂フ場合ニ於テハ賃貸人ハ支拂ヲ受クル日ノ米價ニ依リ換算シタル金納ヲ求ムルコトヲ得此ノ場合ニ於ケル米價ノ標準ハ甲可村ノ

公定相場ニ依ルモノトス

- 四、賃借人ハ賃貸人ノ承諾ヲ經スシテ恣ニ左記行爲ヲ爲スコトヲ得ス
 - (イ) 賃借權ヲ他人ニ讓渡シ又ハ賃借地ヲ他ニ轉貸シ又ハ他人ニ其ノ耕作ヲ委託スルコト
 - (ロ) 賃借地ノ現状ヲ變スルコト
- 五、賃借人ニ於テ故ナク第三項所定ノ期限ヲ怠リ、小作料ヲ延納スルコト、引續キ二ケ年ニ及ヒ若クハ二ケ年分ニ相當スル小作料額ノ延納アルトキハ賃貸人ハ一ケ月ヲ下ラサル期間ヲ餘シテ其ノ支拂ノ催告ヲ爲シ尙ホ其ノ支拂ヲ得サルトキハ直ニ賃貸借契約ヲ解除シ得ルモノトス
- 六、前項ノ場合ニ於テハ賃借人ハ契約解除後一週間以内ニ其賃借地ヲ賃貸人ニ引渡シ且當該地上ニ作物其他ノ存置物件アルトキハ右期間内ニ之カ收去ヲ爲スヘク若シ然ラサル場合ハ賃貸人ニ於テ任意之ヲ處分シ得ルモノトス
- 七、前項ニ依ル土地ノ明渡ニ付テハ賃借人ハ法律上要求シ得ルモノノ外何等ノ名義ヲ以テスルモ一切金品ノ交付ヲ賃貸人ニ請求スルコトヲ得サルモノトス
- 八、當事者ニ於テ土地ノ要若クハ不要ヲ生シ解約ヲ爲サントスルトキハ其ノ申出ハ必ス表作若クハ裏作ノ作付前ニ之ヲ爲スモノトス

九、賃貸人カ自己ノ都合上賃貸借ヲ解除シテ土地ヲ返還セシムルニ至リタルトキハ其ノ補償トシテ當該地所ノ約定宛米ノ一ヶ年分ニ相當スルモノヲ地所返還ノ日ニ於ケル甲可村ノ公定米價ニ依リ換算シタル金員ヲ以テ賃借人ニ支拂スルモノトス

十、賃借人カ凶作ニ依リ賃借料ノ減免ヲ求メントスルトキハ毎年立毛刈取前二週間ヲ下ラサル期間ヲ餘シテ賃貸人ニ毛見ノ申出ヲ爲シ雙方立會ノ上誠實ニ毛見ヲ爲シ若シ雙方ノ意見一致セサルトキハ北河内郡農會技師ノ立會ヲ求メ其ノ指定スル方法ニ依リ坪刈ヲ爲シテ作柄ヲ定メ其ノ作柄カ普通平年作以下ナルトキニ限り其ノ實收穫量ト平年作量トノ差額ノ二分ノ一ヲ減免スルモノトス

右ノ場合平年作柄ニ付爭アルトキハ大阪府小作官若クハ其ノ指定セル者ノ認定ニ對シテハ雙方絕對ニ服從シ何等異議ヲ唱フルコトヲ得サルモノトス

十一、賃借人カ前項ノ手續ヲ踏マス恣ニ立毛ノ刈取ヲ爲シタルトキ又ハ檢見ノ妨害ヲ爲シタルトキハ如何ナル理由アルモ一切賃借料減免ヲ爲ササルモノトス
但シ賃借人ハ賃貸人カ賃借人ヨリ其申出アルニ拘ラス檢見ニ立會ハサルカ又ハ其ノ妨害ヲ爲シタルトキハ大阪府小作官ニ其旨申出テテ檢見ヲ受ケ其ノ認定ニ依リ小作料額ノ決定ヲ仰クコトヲ得、此場合賃貸人ハ右決定ニ異議ヲ述フルコトヲ得サルモノトス

十二、賃借人ハ本賃貸借地所中畑地ニ付テハ如何ナル理由アルヲ問ハス一切賃借料ノ減免ヲ求ムルコトヲ得サルモノトス

備考 本約款ハ大阪府北河内郡甲可村ノ爭議調停ノ際調停委員會ニ於テ立案シ調停條項ノ末尾ニ土地賃貸借約款トシテ記載セルモノナリ

兵庫縣

一八五

一(小作米ノ運賃、小作料滞納ノ處置、小作地ニ係ル負擔)一

土地賃貸借契約書

土地所有者何某ヲ甲トシ耕作者何某ヲ乙トシ雙方當事者間ニ別紙土地ノ賃貸借契約ヲナスニ付左記條項ヲ締結ス

一、甲ハ別紙記載ノ土地ヲ大正何年何月何日ヨリ大正何年何月何日迄滿何ヶ年間乙ニ賃貸シ乙ハ之ヲ賃借スルモノトス

- 二、乙ハ別紙土地ノ賃借料トシテ本縣米穀検査規則ニ依ル同年産生産検査合格米(青又赤)何石何年何升ヲ毎年月日限リ甲ノ何地倉庫ニ運搬シ支拂フモノトス
但甲ノ便宜ノ爲支拂場所ヲ變更シ従前ノ場所ヨリ遠隔トナリ又ハ運搬困難トナリタル場合ハ甲ハ乙ニ對シ之ニ相當スル運搬費ヲ支拂フモノトス
 - 三、賃借料ノ支拂ニ遲滞アリタル場合ニ於テハ支拂期限後一ヶ月一石ニ付何升ノ延滞料ヲ附シテ支拂フモノトス
 - 四、天災凶作等ノ爲收穫著シク減少シ契約賃借料ノ金額ヲ支拂フ能ハサル虞アルトキハ作物收穫着手前ニ雙方立會ノ實地檢見ヲ行ヒ支拂額並ニ其支拂方法ニ付協定ヲナスモノトス但シ賃借人ニ於テ前項ノ要求ヲ爲ササルトキハ賃借料ノ減額又ハ支拂期限ノ延期ヲ要求スルコトヲ得ス
 - 六、賃借期間満了シタルトキハ更新セサル限リ甲ニ於テ直ニ土地ヲ引上クルモ乙ハ異議ヲ述ヘサルモノトス
甲乙双方ノ一方ヨリ期間中契約ノ全部又ハ一部解除ヲ要スヘキ場合ニハ跡作ノ作付時期六ヶ月前ニ豫告スルコト、シ相手方ハ異議ヲ述ヘサルモノトス
 - 七、別紙土地ニ付耕作上必要ナル工事ハ双方合意ノ上之ヲ行ヒ之ニ要スル經費ノ負擔ハ其都度双方ノ協定ニ依ルモノトス
 - 八、乙ハ保證人一名以上ヲ定メ連帶責任ヲ以テ右債務ノ履行及契約事項ノ嚴守ヲ保證スルモノトス
- 右契約ヲ證スル爲本證書ニ通ヲ作り記名調印ノ上雙方當事者各一通ヲ領有スルモノ也

大正 年 月 日

縣 郡 村大字 番地

土地所有者 何

某 ㊟

同

土地耕作者 何

某 ㊟

同

耕作者保證人 何

某 ㊟

土地及賃借料ノ表示

町村及大字名	字	地番	地目	反	別	反當賃借料	契約賃借料額

備考 本契約書ハ兵庫縣農村問題調査會ニ於テ調査研究ノ結果作成シタルモノナリ

一八六

一(小作契約期間、契約更新、獎勵米、契約解除、小作) | 料ノ額及品質、不作時ノ小作料減額、小作料改定 |

(甲) 賃貸契約證書

土地提供者ヲ甲トシ 當土地利用組合ヲ乙トシ雙方ノ間ニ土地ノ賃貸借契約ヲ爲スニ付キ左記條
項ヲ契約ス

一、甲ハ甲ノ所有ニ係ル別紙表示ノ土地ヲ大正十三年ヨリ同二十二年迄乙ニ賃貸シ乙ハ之ヲ賃借シテ乙ノ組
合員ニ利用小作セシムルモノトス

一、賃貸借期間滿了ノトキハ其ノ年二月二十五日迄ニ双方ノ合意ニ依リ更新スルモノトス甲乙共ニ期間中已
ムヲ得サル事由ニヨリ契約ノ全部又ハ一部解除ノ必要ヲ生シタルトキハ其年八月三十日迄ニ互ニ申告ス
ルモノトス

一、賃貸料ハ乙ノ業務細則ニ依リ乙ノ當該機關ニ於テ査定シ之ヲ定ムルモノトス
前項ノ賃貸借料ハ毎年十一月三十日迄ニ乙ヨリ甲ニ支拂フモノトス

一、賃貸料ハ兵庫縣穀物検査合格米ヲ支拂フモノトス賃貸借料ヲ米券ヲ以テ支拂フ場合入庫ニ關スル費
用竝ニ獎勵米ノ控除不合格米ニ對スル割増等ハ地方ノ慣習ニ從ヒ乙カ組合員ヨリ受クル損益ノ範圍内ニ
於テ甲ニ決済スルモノトス

但浸水其他ノ事情ニ依リ組合機關ノ認定ヲ得タル場合ハ不合格米ト雖モ割増米ヲ要セサルモノトス

一、凶作其他ノ不可抗力ニ因リ乙カ土地利用者ナル組合員ヨリ受タル利用料ニ減損ヲ生シタルトキハ甲ハ乙カ
受クル利用料ノ減損ノ範圍ニ於テ賃貸料ヲ減免スルモノトス

一、天災其他ノ不可抗力ニ因リ地力ニ變動ヲ生シタルトキハ賃貸料ヲ乙ノ當該機關ニ依リテ査定シ改定スル

モノトス

右契約ヲ證スル爲本證書ニ通ヲ作り記名調印ノ上各一通ヲ領有スルモノ也

大正十三年 月 日

兵庫縣城崎郡日高村

土地提供者

備考 本證書ハ城崎郡日高村土地利用組合(協調組合)ト地主トノ間ニ取交セルモノナリ

(乙) 證

一(小作契約期間、小作料滞納ノ處置、小作料納入ノ場
所、獎勵米、小作地ニ係ル負擔、契約解除、小作料改定)一

當土地利用組合定款ニ依リ別紙表示ノ土地ヲ賃借シ利用(小作)致候ニ付左ノ條項契約仕堅ク履行
ヲ誓候

一、利用期間ハ大正十三年ヨリ大正二十二年迄十ケ年トス

本項ノ一ケ年トハ前年夏作付ヨリ翌年冬作ノ終リマテトス

一、利用地ハ貴組合ノ承諾ヲ得スシテ他人ニ利用セシメサルコト

- 一、利用料(小作料)ハ別紙表示ノ額トシ兵庫縣穀物検査合格米ヲ以テ毎年十一月三十日迄ニ貴組合指定ノ場所ニ持參支拂フコト
- 但シ合格米ニ對スル獎勵米交付額ハ地方ノ習慣ニ從ヒ貴組合ノ定ムル所ニ依ルコト
- 利用料ノ納付ヲ怠リタルトキハ期日後一日付千分ノ五ノ過怠料ヲ納付ス
- 一、利用料ヲ米券ヲ以テ支拂フ場合ノ入庫ニ關スル失費並ニ等級ニ應シテ交付ヲ受クヘキ獎勵米ノ額ハ地方ノ習慣ニ從ヒ貴組合ノ定ムル所ニ依ルコト
- 一、畦畔其ノ他ノ小修繕ヲナス場合ノ材料ハ貴組合ヲ經テ土地提供者ヨリ支出ヲ受ケ勞力ハ利用者之ヲ提供スルコト
- 一、利用地ハ契約期間内ト雖モ貴組合カ地主ニ返還ヲ要スルニ至ルカ又ハ拙者カ不適當ト認メラル、其年二月十五日迄ニ其旨通知アラハ無償ヲ以テ異議ナク返還スルコト
- 一、契約期間内ニ於テ已ムヲ得サル理由ニヨリ土地ヲ利用スル能ハス返還セントスルトキハ其年二月十五日迄ニ貴組合ニ申出ツルコト
- 但シ貴組合ニ於テ已ムヲ得サル事由ナシト認メラル、場合ハ此限ニ非サルコト
- 一、利用中非常ノ凶作又ハ天災不可抗力ニ因リ著シク夏作ノ收穫ヲ減損シ利用料ノ減免ヲ受ケントスル時ハ其收穫以前ニ貴組合ノ検査ヲ受クルコト
- 前項ノ場合ニ於テハ其利用料ノ額ハ貴組合ノ當該機關ノ検査査定ニ據リ支拂フコト

- 一、契約期間中萬一天災地變等ニ依リ著シク地力ノ變動シタルトキハ利用料ノ改定ヲ請フコトヲ得ルモ其額ハ貴組合當該機關ノ査定ニヨルコト
 - 一、前各項ノ外貴組合ノ定款其他規定ヲ遵奉履行スルコト
 - 一、保證人ハ連帶シテ本契約履行ノ責ニ任スルコト
- 右之通りニ候也
- 大正十二年 月 日
- 兵庫縣城崎郡日高村
- 利用人 何 某 ㊟
- 同 縣同 郡同 村
- 保證人 何 某 ㊟

備考 本證書ハ前記城崎郡日高村土地利用組合(協調組合)ト其ノ組合員トノ間ニ取交シタルモノナリ

一八七

一(契約更新、契約解除、不作時ノ小作料減額)

土地賃貸借契約證書

別紙表示ノ土地ヲ賃貸スルニ當リ土地提供者
左ノ條項ヲ契約ス

ヲ甲トシ城下村金谷土地管理組合ヲ乙トシ

記

- 一、甲ハ其ノ所有ニ係ル別紙表示ノ土地ヲ昭和三年ヨリ同八年マテ乙ニ賃貸シ乙ハ乙ノ組合員ニ賃貸シ小作セシムルモノトス
 - 一、賃貸借満了ノ時ハ其ノ年ノ三月三十一日マテニ双方ノ合意ニ依リ更新スルモノトス甲乙共ニ期間中止ムヲ得サル事由ニ依リ契約ノ一部又ハ全部解除ノ必要ヲ生シタル時ハ其ノ年三月三十一日迄ニ互ニ通告スルモノトス
 - 一、別紙表示ノ賃貸借料ハ毎年十二月十五日マテニ兵庫縣穀物検査合格米ヲ以テ乙ヨリ甲ニ支拂フモノトス
 - 一、賃貸借料ヲ支拂フニ當リ止ムヲ得サル理由ニ依リ乙カ乙ノ組合員ノ小作者ヨリ不合格米ヲ受ケタルトキハ乙ハ甲ニ不合格米ヲ支拂フモノトス
 - 一、甲ハ乙ニ對シ事故ナクシテ土地返還ノ請求ヲナスコトヲ得ス
 - 一、凶作其ノ他不可抗力ニ因リ乙カ土地小作者ナル組合員ヨリ受クル賃貸料ニ減損ヲ生シタルトキハ甲ハ乙カ受クル賃貸料減損ノ範圍ニ於テ賃貸借料ヲ減免スルモノトス
- 右契約ヲ證スル爲メ本證書ニ通ヲ作り記名調印ノ上各一通ヲ領有スルモノナリ

昭和 年 月 日

兵庫縣 郡 村 町 番

何 某 ①

兵庫縣宍粟郡城下村金谷土地管理組合長

何 某 ②

備考 本證書ハ農民組合解散後設立サレタル土地管理組合ニテ作成セルモノナリ

奈 良 縣

一八八

—(小作滞納ノ處置、小作地ニ係ル負擔)—

土地賃借契約證

左記土地何筆 今般拙者ニ於テ耕作ノ爲メ正ニ賃借致候事確實也依之契約スル事左ノ通

第一條 定價賃借料ハ毛頭異議無ク末尾記載ノ通毎年十二月二十日限り奈良縣合格玄米ヲ以テ貴殿方へ持參

支拂可致萬一右期日ヲ遅延スル時八月一分五厘ノ利息ヲ附加可致候

但シ本條定額賃借料ハ貴殿ノ御都合ニテ相當代金ニ御換算御請求相成候トモ異議無之候

第二條 貴殿ノ明許ヲ得スシテ土地ノ賃借權ヲ讓渡シ若クハ轉貸致サス候萬一之ニ反シ第三者ヲシテ土地使
用收益ヲ爲サシメタ貴殿ニ損失ヲ生セシメタル節ハ當然拙者ノ責任ヲ以テ辨償可致候

第三條 土地御入用ノ節ハ勿論貴殿ノ思召ニ不相叶候時ハ何時ニテモ解約ノ御通知有之次第早速作物ヲ收去
シ無苦情土地明ケ渡シ可致候萬一返地方遷延致シ貴殿御差支ヲ來ス時ハ地上ノ作物貴殿御勝手ニ御取除御
處分被成候トモ異議無之候

第四條 土地賃借期間ハ其ノ使用收益ヲ爲スニ必要ナル費用及勞務ハ一切拙者負擔可致尙又土地返還ノ際ハ
如何ナル場合ナリト雖地上ノ物品ヲ收去シ且ツ原形ニ復シ一切無償ニテ差戻可致候假令有益費ヲ支出致シ
候事アルモ貴殿ニ對シ何等ノ要求致サス候

第五條 本契約ニ就テハ保證人ハ總テ本人ト連帶責任ニテ債務履行可致候

右之條々確守履行可致爲後日土地賃借契約證依テ如件

年 月 日

土地賃借人 何 某
保證人 何 某

賃借物件及賃借料ノ表示

何郡何村大字何字何番地

一 田 何反何畝何步 此定額賃借料玄米 何石何斗何升何合

備考 本證書ハ地主ニ於テ最近要求セル形式ノモノナリ

和歌山縣

一八九 (小作契約期間)

小作契約證書

海草郡鳴神村字西堤百十番地

一 田二反二畝步

此小作米三石五斗二升也

但シ一反步ニ付小作米一石六斗ノ割

右ハ貴殿ノ所有地ニ有之候處今般拙者ニ於テ前書ノ小作米ヲ以テ大正十五年度ヨリ向フ十ヶ年間小作可致契約相整ヒ候然ル上ハ納入米ノ義ハ普通米ヲ以テ毎年十二月三十日限り貴殿宅迄運搬致シ納入可仕候若シモ風害水害蟲害等發生ナシタル場合耕作米減收ノ恐レアル時ハ地主ト雙方立チ合ヒノ上ニテ納入米ノ數量割引等ノ協定ヲ計リ互ニ意見合致シタル時ハ稻ヲ刈取り協定ノ量米ハ直チニ納入可仕候然ルニ何等理由ナキニモ不拘小作米ノ納入ヲ怠リタル時ハ保證人ヨリ本人ニ代ツテ納入可仕候依テ爲後日小作證書差入置キ候也

大正十五年 月 日

小作人 何 某 ㊟
保證人 何 某 ㊟

地主 何 某 殿

備考 本證書ハ小作人組合ニ於テ作成セルモノナリ

鳥 取 縣

一九〇

（契約更新、不作時ノ小作料減額、小作地使、用ニ關スル制限、契約解除、土地先買權）

土地賃貸契約書

土地賃貸人（以下單ニ甲ト稱ス）ト賃借人（以下單ニ乙ト稱ス）ト左記各項ニヨリ契約ヲナス

- 一、甲ハ末尾記載ノ土地ヲ各筆調賃貸料ヲ以テ向後 ヶ年間賃貸地トシテ乙ニ貸付ス但シ双方ノ合意ニヨリ其ノ期間ヲ更新スルコトヲ得本項ノ一ヶ年トハ其年三月一日ヨリ翌年二月末日迄トス
- 二、賃貸料ハ鳥取縣穀物検査規則ニ依ル何等相當ノ玄米ヲ以テシ其ノ翌年何月末日限り何場所ニ納入スルコト若シ協定等級ニヨリ納付シ能ハサル時ハ一等級ヲ上下スル毎ニ四斗ニ付何升宛ヲ増減スルモノトス
- 三、賃貸料ハ四斗毎ニ協定ノ俵裝ニヨリ支拂フモノトス但シ全支拂額中四斗未滿ノ端數ハ之ヲ要セス
- 四、賃借地ニ永年作物ヲ栽植シ又ハ永年ニ互ル設備ヲナサムトスルトキハ豫メ甲ノ承諾ヲ得ルコトヲ要ス契約期間滿了ノ際作物又ハ永年ニ互ル設備ノ現存スルトキハ乙カ栽植又ハ設備ヲナシタルモノニ限リ乙ハ無償ニテ之ヲ收去スルモノトス賃借地返還期限後何日以内ニ乙カ收去セサル作物又ハ設備アルトキハ無償ニテ甲ニ提供シタルモノトス
- 五、天災其ノ他避クヘカラサル原因ニ依リ生産額ヲ減シタルトキハ立毛ノ時季ニ於テ甲乙協定ノ上其ノ年ノ賃貸料ヲ決定スルモノトス

- 但シ前項協定ナラサルトキハ第三者ノ裁定ニヨリ之ヲ決スルモノトス
- 六、前五ノ場合ノ外契約期間内ニ於テ賃貸料ノ増額又ハ減額ヲ要求スルコトヲ得ス
- 七、乙カ期日迄ニ賃貸料ヲ支拂ハサルトキハ期日後三十日以内ニ保證人ヨリ之ヲ支拂フモノトス
期日後三十日ヲ經過シ尙支拂ヲナサ、ルトキハ一ケ年一割ノ利子ヲ付シ徵收スルモノトス
- 八、甲ハ乙ノ同意ヲ得シテ契約期間内ニ其ノ賃貸地ヲ轉貸セサルハ勿論返還ヲ要求スルコトヲ得ス
但シ乙又ハ其家族カ兵役ニ服シ又ハ疾病ニ罹リ賃借地ヲ經營スルコト能ハサル場合其ノ繼續スル期間甲ノ承諾ヲ得タル時ハ之ヲ轉貸スルコトヲ得
- 九、契約期間内ト雖左ノ各號ニ該當スルトキハ其ノ賃貸借地ノ一部又ハ全部ニ付契約ノ解除ヲナスコトヲ得

- (イ) 甲カ土地ヲ賣却又ハ讓渡シタルトキ
- (ロ) 乙カ當該年度ノ賃借料ノ全部又ハ二ケ年以上ノ賃借料ヲ完納セサルトキ
- (ハ) 甲カ賃貸地ニ對シ必要ノ設備ヲ行ハス爲ニ賃借ノ目的ヲ達スルコト能ハサルトキ
- (ニ) 乙又ハ其家族カ兵役ニ服シ又ハ疾病ニ罹リ賃借地ヲ經營スルコト能ハサルニ至リタルトキ
- (ホ) 乙カ甲ノ承諾ヲ得シテ他ニ轉貸シタルトキ
- 前項(イ)(ロ)ノ場合ニ於テハ豫告期間ヲ設ケスシテ契約ヲ解除スルコトヲ得(ハ)(ニ)ノ場合ニ於テハ耕作年度ノ終リ又ハ次ノ耕作ニ着手スヘキ時季ノ以前ニ限り解除スルコトヲ得

- 一〇、前九ニ依リ契約ヲ解除シタル賃貸借地ニシテ乙カ栽植又ハ永年ニ互ル設備現存スルモノハ甲乙協議ノ上之ヲ處理スルモノトス
 - 一一、契約期間内ニ於テ契約ヲ解除シタル場合ト雖相互ニ契約解除ニ基ク損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
 - 一二、甲カ其ノ賃貸地ヲ賣却セムトスル場合乙ニ購買ノ希望アルトキハ先取權ヲ與フルモノトス
 - 一三、乙カ其ノ賃借地ニ土地改良ノ目的ヲ以テ特種ノ施設ヲナサムトスルトキハ其ノ設計ニ付甲ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス但シ契約解除ニ際シ現ニ改良ノ效果ヲ舉ケツ、アルトキハ乙ハ其ノ施設ニ對シ當初ノ費用ヲ超過セサル範圍ニ於テ相當ノ代償ヲ要求スルコトヲ得
 - 一四、當事者カ契約上ノ義務ヲ果サ、ル時ハ保證人ニ於テ各當事者ニ代ツテ其ノ義務ヲ履行スルモノトス
- 右契約ヲ遵守スル爲本書ニ通ヲ作製シ各自一通ヲ所持スルモノトス

大正 年 月 日

縣	郡	町村	番地
縣	郡	町村	番地
縣	郡	町村	番地
縣	郡	町村	番地

賃借人 何 某 ④

縣 郡 町村 番地
保證人 何 某 ①

字	郡	町村	大字				
地番地目							
反貸借別							
借賃種類							
借賃年額							
借賃反別ニ對スル借賃年額							
備考							

備考 本證書ハ鳥取縣廳職員ノ研究作成セル案ナリ

岡山縣

一九一

〔不作時ニ於ケル小作料減額、檢見、獎勵米、小作料改定、契約更新〕

耕地賃借證

岡山縣赤磐郡高陽村大字何字何々番地

一 田 何段何畝何歩

一ヶ年賃借料

何石何斗何升何合

同賃借料段當

何石何斗何升何合

同標準作段當

何石何斗何升何合

右貴殿御所有ノ土地ヲ大正十六年夏至迄三ヶ年耕作ノ目的ヲ以テ賃借致シ候ニ付大正十二年十二月協定シタル事項相守リ可申契約ニ違反シ其ノ他貴殿ノ御損失ヲ來ス場合アルトキハ保證人ハ本人連帶ノ責ヲ擔ヒ辨償可致候也

大正十二年十二月協定耕地賃借條項

第一條 賃借人ハ毎年十二月末日迄ニ賃借料ヲ地主ニ納付スルモノトス

第二條 標準作ヲ定ムルコト左ノ如シ

一、普通ノ土地ニ於テハ段當賃借料ニ一石ヲ加ヘタルモノヲ段當標準作トナス

二、耕作上便利ナル土地ニ於テハ段當賃借料ニ八斗ヲ加ヘタルモノヲ段當標準作トス

第三條 標準作以上ノ收穫アル場合ハ如何ナル事情アルモ賃借料ヲ減額セス

第四條 其ノ年收穫量カ標準作ニ達セサルトキハ左ノ割合ヲ以テ其ノ年ノ賃借料ヲ減額ス

段當賃借料ノ段當標準作ニ對スル歩合ヲ標準作ヨリ減收セル量ニ乗シタル量ヲ減少ス

第五條 賃借人ハ標準作ニ達セスト認メタルトキハ芻取ヲナス以前ニ地主ニ申出テ地主ノ選出シタル委員ニ

名ト賃借人ノ選出シタル委員二名ト立合立毛ノマ、收穫量ヲ評定スルモノトス委員ノ意見一致セサルカ地主若シクハ賃借人ニ於テ異議アル場合ハ委員ハ坪苧ヲナシ收穫量ヲ決定ス此ノ決定ニ對シテハ雙方共異議ヲ申立ツルコトヲ得サルモノトス

第六條 第五條ノ順序ヲ踏マスシテ苧取ヲ爲シタルトキ標準作ニ達セサルコトアルモ賃借料ハ減額セサルモノトス

第七條 標準作ハ肥料不足或ハ賃借人ノ怠慢等ノ場合ニハ第五條ノ委員ニ於テ二斗以上適宜引下ケヲナスモノトス

右ノ場合地主委員ト賃借人委員ト意見ヲ異ニスルトキハ地主ノ意見ヲ徵シテ決定ス

第八條 藪其ノ他米作以外ノ作物ヲナシタル場合ハ不作ノトキニ於テモ賃借料ハ減額セラレサルモノトス

第九條 賃借人ハ果樹其ノ他永年ニ亘ルモノヲ植付ケントスル時ハ豫メ地主ノ承諾ヲ得テ之ニ關スル特別ノ契約ヲナスモノトス

第十條 地主ハ合格米ヲ納付シタル賃借人ニ對シ左ノ割合ヲ以テ獎勵米ヲ交付ス

甲 合格米 一俵ニ付三升

乙 合格米 同 二升五合

丙 合格米 同 一升五合

但シ一升未滿ノ賃借料ニ對シテハ俵裝料トシテ前記獎勵米ヨリ一升ヲ控除シ殘額ヲ其ノ米ノ等級ニ應シ納

付ノ量ニ相當スル獎勵米ヲ交付ス若シ一俵ヲ納付シ釣米ヲ渡ス場合ハ釣米カ納付ノ米ト同質ナル合格米ナルトキハ前記ノ外一升ヲ加ヘテ交付ス又釣米カ不合格米ナルトキハ一俵ニ對スル獎勵米ノ全額ヲ交付ス

第十一條 賃借人ハ年柄ノ悪シキ故ニモアラス經營ノ悪シキ故ニモアラスシテ二年以上引續キ收穫量カ標準作量ニ達セサルトキハ收穫量ヲ標準作トスル程度迄賃借料ノ減額ヲ請求スルコトヲ得ルモノトス

第十二條 契約期間内ニ地主ハ賃借人ノ止ムナキ正當ノ都合ヲ以テ契約解除ヲナス必要ヲ生シタルトキハ一ヶ年前ニ相手方ニ申出ツルモノトス但シ萬止ムヲ得サル場合ハ三月末日迄ニ申出ツルモノトス

第十三條 契約ニ違背スル行爲アルトキハ相手方ニ於テ其時限り契約ヲ解除スルコトヲ得ルモノトス

第十四條 本契約滿期後契約ヲ繼續セントスル場合ハ契約滿期一ヶ年前更ニ契約ヲナスモノトス

第十五條 本契約ハ民法賃借契約ニヨルモノニシテ此ニ規定セルモノハ該法規ノ規定ニヨル 以上

地主 何 某 殿

岡山縣赤磐郡高陽村大字 番地 賃借人 何 某 ①
岡山縣赤磐郡高陽村大字 番地 保證人 何 某 ②

備考 本證書ハ曩ニ締結セル地主小作間ノ協約ニ基キ當事者間ニ於テ作成セル證書ナリ

〔小作地使用ニ關スル制限、不作時ノ小作料減額〕

(甲) 土地賃貸借契約書

岡山縣何郡何町何番地

(田畑
小作料ノ表示)

右地所賃貸借契約左ノ如シ

- 第一條 上道農事株式會社ヲ甲者ト稱シ土地所有者(何 某)ヲ乙者ト稱ス
 - 第二條 乙者ハ向フ五ヶ年間甲者ニ前記土地ヲ賃貸スル事
 - 第三條 小作料ハ翌年一月三十一日迄ニ甲者ヨリ乙者ニ納付スルモノトス
 - 第四條 乙者ヨリ得ル甲者ノ手數料ハ小作米四斗ニ付一升五合トス
 - 第五條 甲者ハ乙者ノ承諾ヲ經スシテ轉貸スルコトヲ得ルモノトス
 - 第六條 天災地變其ノ他凶作等ノ爲メ小作米ニ斟酌ヲ加フル必要アリト認ムルトキハ甲者之ヲ決定ス
 - 第七條 本契約ハ甲乙兩者ノ同意ニテ何時ニテモ解約スルコトヲ得
- 右條項ハ雙方之ヲ確守可仕仍テ本契約書ニ通フ作製シ各一通ヲ保管ス

大正 年 月 日

岡山縣上道郡西大寺町

甲者 上道農事株式會社

縣 郡

乙者 何

某 (印)

備考 本證書ハ地主ト土地會社トノ間ニ取交セルモノナリ

(乙) 小作地所賃借證書

〔小作地ニ係ル負擔、契約更新、契約解除〕

岡山縣上道郡何村大字何字何々番地

一田 何程

右ノ地所貴會社ヨリ今般拙者ニ於テ賃借小作仕候ニ付契約スルコト左ノ如シ

- 第一條 賃借地所ハ善良ノ注意ヲ以テ之ヲ使用シ普通ノ施肥ハ勿論治水費害蟲驅除及ヒ豫防費畔岸修繕費其
他一切ノ小修繕費ハ凡テ借地人ノ負擔トス
- 第二條 賃借料タル小作米ハ毎年十二月二十日限り其年ノ産米ニシテ岡山縣米穀検査規則ニ從ヒ四斗入合格

米ヲ以テ指定場所ニ運搬シ無相違支拂フヘキモノトス若シ米質不良ニシテ合格米ヲ穫ル事能ハサルトキハ納期ニ於ケル一般ノ價格ニ從ヒ金錢ヲ以テ其差額ヲ支拂フヘシ

第三條 天災地變其他ノ原因ニテ小作米ニ不足ヲ生スル如キ非常ナル凶作ト認ムル場合ニ於テハ豫メ立毛ノ御検査ヲ求メ相當ノ減額ヲ要求スル事アルモ其程度ハ貴會社ノ任意ナル御處分ニ應シ決シテ異議ヲ唱ヘサルモノトス若シ無届ニ苜取リタルトキハ毫モ減額ヲ要求シ得サルモノトス

第四條 賃借期間ハ三ケ年トシ最終年ノ米苜取ヲ以テ終了ス但シ期限ニ至リ更新スル事ヲ得

第五條 賃借期間中ト雖モ貴會社ニ於テ必要アル場合ハ何時ニテモ御申込ニ從ヒ直チニ返還スヘキモノトス但シ米又ハ麥ノ植付アルトキハ之ヲ苜取リタル節直チニ返還スヘシ

又借地人ノ都合ニ依リ賃借期間中ニ地所ヲ返還セント欲スルトキハ豫メ之ヲ貴會社ニ通知シ其承諾ヲ得タル時ニ限り返還シ得ヘキモノトス

第六條 賃借期間中ト雖モ貴會社ノ承諾ヲ得スシテ之ヲ他ニ轉貸讓渡等ハ決シテ爲シ得サルモノトス

第七條 賃借人ニ於テ本契約ノ條項及民法所定ノ條項ニ違反スルトキハ貴會社ハ催告其他ノ手續ヲ要セス直

ニ本契約ヲ解除セラル、モ何等異議ヲ主張シ得サルハ勿論此ノ場合ニハ直チニ地所ヲ返還スヘキモノトス

第八條 保證人ハ借地人ノ義務ニ對シ連帶保證ノ責任ヲ負擔ス

右爲後日土地賃借證書仍而如件

大正 年 月 日

岡山縣 郡 村大字 番地

何 某 印

同縣 郡 村大字 番地

保證人 何 某 印

同縣 郡 村大字 番地

保證人 何 某 印

岡山縣上道郡西大寺町

上道農事株式會社御中

備考 本證書ハ前掲證書ノ土地會社ニ對シ小作人ノ差入レタルモノナリ

山口縣

一九三

(獎勵米、檢見、不作時ノ小作料減額、契約解除、小作地ニ係ル負擔)

小作契約證書

本契約證書ニ於テハ熊毛郡島田村大字下島田第何番地地主何某ヲ甲トシ同人所有ニ係ハル田地ヲ小作スル者ヲ乙トシ左ノ通り契約條項ヲ規定セルモノナリ

協約事項

- 一、甲ハ別紙明細書ニ記載シ耕地ヲ乙ニ小作セシムルモノトス
- 二、小作契約期間ハ大正十五年表作ヨリ始メ大正十九年裏作ニ終ル五箇年間トス
- 三、小作米ハ防長米同業組合生産檢査ニ合格シタル小粒三等米トス
但シ契約以上ノ良質米ヲ納付セル者ニ對シテハ甲ハ小作獎勵ノ意味ヲ以テ左記獎勵米ヲ交付ス
 - 三等米ヲ納付シタル場合 俵別玄米五合宛
 - 二等米ヲ納付シタル場合 俵別玄米一升宛
 - 一等米ヲ納付シタル場合 俵別玄米一升五合宛
- 四、小作米ハ毎年十二月三十日限り甲ノ宅ヘ持參納入スルモノトス

- 五、不可抗力ニヨリ定額小作料ヲ完納シ難キ見込ミノ年ハ乙ハ鎌入前甲ノ檢見ヲ請ヒ減額量ノ通告ヲ受ケ所定ノ期限内ニ納入スルモノトス
- 六、甲ハ立毛檢見ニ方リ必要アルトキハ坪刈ヲ爲スコトヲ得
- 七、甲ハ立毛檢見ノ請求アリタルトキハ相手方立會ノ上耕地ノ最長對角線上ノ三等分點ニ付キ二坪ヲ刈取リ其平均量ヲ以テ總收量ヲ算出シ見下歩合ヲ決定スルモノトス
- 八、檢見ノ結果反當收穫量二石以下ナルトキハ左記ニヨリ見下ケヲ爲スモノトス
 - 反當收穫量一石八斗以上二石以下ノトキハ 一割ヲ減額
 - 同一石六斗以上一石八斗以下ノトキハ 二割ヲ減額
 - 同一石四斗以上一石六斗以下ノトキハ 參割ヲ減額
 - 同一石二斗以上一石四斗以下ノトキハ 四割ヲ減額
 - 同一石以上一石二斗以下ノトキハ 五割ヲ減額
 - 同八斗以上一石以下ノトキハ 七割ヲ減額
 - 同六斗以上八斗以下ノトキハ 九割ヲ減額
 - 同六斗以下ノトキハ全部ヲ小作人ノ所得トス
- 九、懈怠其ノ他乙ノ責ニ歸スヘキ事由ニヨリ作柄附近ノ耕地ニ比シ著シク見劣リタルトキハ甲ハ所定ノ小作料ヲ請求シ得ルモノトス

德島縣

一九四
（契約更新、小作地賣却ノ際ノ處置、
契約解除、小作料ノ額、獎勵米）

(甲) 土地賃借契約書

住所（土地所有者住所）

土地所有者 何 某[㊦]

事務所所在地（協調會ノ事務所）

賃借者 何々會代表者 何 某[㊦]

本契約ニ於テ地主何某ヲ甲トシ賃借者何々會ヲ乙トシ雙方ノ間ニ於テ左記土地賃借契約ヲ締結ス
一、甲ハ左記物件表示ノ土地ヲ大正何年何月何日何作終了迄何年間乙ニ貸與シ乙ハ之ヲ賃借シテ乙ノ會員ニ
利用セシムルモノトス
二、甲ハ賃借期間滿了六ヶ月前（一作前）ニ乙ニ對シ何等ノ意思表示ナキトキハ更ニ前期間ヲ更新シタルモ
ノト見做ス

三、甲ハ乙ニ協議セシテ貸與地ヲ賣却スルコトヲ得ス
四、甲ハ特別ノ事情無キ限り貸與地ノ返還ヲ請求スルコトヲ得ス
前項ノ土地返還請求ニ對シテハ乙ハ理事會ノ審議ニヨリ處置スルモノトス
五、賃借料ハ乙ノ査定ニヨリ協調スルモノトス
前項ノ賃借料ハ米ハ其年何月何日麥ハ翌年何月何日迄（指定ノ場所記入）ニ甲ニ支拂フモノトス

六、賃借料ハ其ノ土地ヨリ生産シタルモノヲ以テシ米ハ本縣産米検査等級ニ於ケル四等格以上俵裝ハ同検査
規則ノ俵裝規程ニ合格シタルモノトス麥ハ品質俵裝共地方標準品ヲ以テ納付ス止ムヲ得サル事情ニヨリ
代金納ノ場合ハ納期ニ於ケル地方時價ニヨル但シ獎勵米ニ就キテハ地方慣行ニ從フ
七、不可抗力（風、水、旱、病蟲害其他）ニヨル檢見減免又ハ品位等級ノ變更ニ就キテハ乙ノ檢見委員會ノ
意見ヲ參酌シ理事會ノ議決ニヨリ會長之ヲ決ス

大正 年 月 日

賃借人 何々會代表者 何 某[㊦]
土地所有者 何 某[㊦]

物件表示

字	地目	地番	反別	契約賃料	同上反當	賃借者
				米 麥	米 麥	

物件表示

土地利用者 何 某
 保 證 人 何 某
 土地管理者 何々會代表者氏名

字	地目	地番	反別	契約利用料		同上反當		利用者氏名
				米	麥	米	麥	

備考 本證書ハ前掲證書ト關連スルモノニシテ前掲證書記載ノ協調會ト小作人トノ間ノ契約ヲ示スモノナリ

香川縣

一九五

(契約更新、契約解除、小作地使用ニ關スル制限、小作料改定)

小作契約證

香川縣香川郡安原村大字東谷九百三十三番地

地主 何 某

香川縣何郡何村大字何番地 小作人 何 某

香川縣何郡何村大字何番地 保證人 何 某

茲ニ地主何某ト小作人何某ト保證人何某大正十年 月 日小作契約ヲ締結ス

記載ノ便宜上地主ヲ甲トシ小作人ヲ乙トス

第一條 乙ハ甲ノ所有ニ係ル左記ノ畑 反 畝 步ヲ耕作ノ目的ヲ以テ賃借ス

第二條 本契約ニ於テ小作期間ハ大正十年 月 日ヨリ大正十年 年 月 日ヨリ取後迄トス

但シ小作期間ヲ改メサル時ハ前條期間ノ終了後ト雖モ地主ノ默許ト明許トヲ問ハス本契約ヲ確守スヘキ事ヲ認諾ス

第三條 小作料ハ其ノ土地ヨリ生産シタル米ヲ以テシ小作地 反 畝 步ニ對シ年額米 石 斗

升 合トナス

但シ米ハ本縣產米検査規則ニヨル合格米トシ俵裝ハ同検査規則ノ俵裝規定ニ合格セシモノトス

第四條 小作米ノ納期ハ 月 日限リトス

第五條 小作米納入ノ場所ハ トス

第六條 事由ナクシテ乙ハ甲ニ對シ小作料支拂ヲ怠ル時ハ甲ハ乙ニ對シ立毛ノ假差押假處分又ハ小作料ノ強

制執行ヲ行フハ勿論小作契約ヲ解除スルモ異議ナキコトヲ承諾ス

第七條 乙ハ小作權ヲ他人ニ讓渡シ又ハ小作地ノ立毛賣買ヲナシ又ハ債務ノ擔保ニ供スルコトヲ得ス

第八條 乙ハ甲ヨリ地力ノ衰耗ヲ來スヘキ作業ニ付キ之カ防止方法施行ノ勸誘ニ遭フトキハ其ノ指揮ニ從フ

ヘキモノトス

第九條 乙ハ甲ノ承諾ヲ得スシテ左ノ各號ヲ行フコトヲ得ス

一、小作地ノ形狀ヲ變シ又ハ小作地内ニ肥料又ハ收穫物置場等ヲ設置セサルコト

一、小作地内ニ果樹、材木、茶、桑其他ノ永年植物ヲ植ヘ付ケサルコト

第十條 乙ハ小作地ノ道路溝渠ノ掃除及修繕ヲナスコト

但シ修理ニ要スル材料ハ地主ニ請求スルコトヲ得

第十一條 甲又ハ乙ノ一方ニ於テ止ムヲ得サル事情ニヨリ本契約ノ解除ヲ欲スルトキハ甲ハ一ヶ年乙ハ六ヶ

月前ニ之ヲ他ノ一方ニ通知スルコト



第十二條 不可抗力(風、雨、旱、水、蟲害)ノ爲被害ヲ受ケタル場合ニハ甲又ハ甲ノ代理人及乙ノ立會ヲ

以テ實地檢見ヲ遂ケ相當ノ減免乃至小作米ノ品質等級ヲ變更スルコト此ノ場合ニ於テ減免ノ歩合ニ對スル

意見相整ハサル時ハ雙方合意ノ第三者ノ査定ヲ受ケ決定スルコト

第十三條 甲又ハ乙ノ一方ニ於テ其ノ義務ニ違反シタルトキハ他ノ一方ヨリ本契約ヲ解除スルコトヲ得此ノ

場合ニ於テ其ノ一方ハ該契約解除ノ通知アリタル日ヨリ起算シ壹週間以内ニ異議ヲ申立サル場合ハ本契約

ハ當然解除スルモノトス

第十四條 保證人 ハ乙ノ甲ニ對スル契約不履行ノ際ハ之カ履行並ニ損害賠償ノ責任ニ任ス

附右田ハ大正十 年度迄ハ反當小作米 石 斗 升ノ所大正十 年小作米ヨリ反當 石 斗

何升ニ改訂シタルモ將來米價一石 圓以下ニ下落シ地主ノ土地利廻リ著シク減少シタル場合ハ反當リ小

作米 升ヲ増額スルコトヲ雙方合意ノ上承認ス

香川縣香川郡安原村大字東谷九百三十三番地

地 主 何 某 ①

香川縣香川郡

右代理人 何 某 ①

香川縣

小作人 何 某 ①

香川縣

保證人 何

某 ④

左記

何郡何村大字何字何番

一田 何反何畝何步 此ノ小作米何石何斗何升何合

備考 本證書ハ地主ニ於テ調査研究ノ結果作成セシモノナリ

愛媛縣

一九六

（契約更新、獎勵米）

(甲) 土地賃貸借契約書

地主何某ヲ甲トシ有限責任余土村信用購買生産組合ヲ乙トシ雙方ノ間ニ土地ノ賃貸借契約ヲ爲ス

付左記條項ヲ契約ス

- 一、甲ハ甲ノ所有ニ係ル別紙表示ノ土地ヲ大正十一年ヨリ同十六年迄乙ニ賃貸シ乙ハ之ヲ賃借シテ乙ノ組合員ニ利用小作セシムルモノトス
- 二、賃貸借期間滿了ノトキハ其ノ年二月十五日迄ニ雙方ノ合意ニヨリ更新スルモノトス
甲乙共ニ期間中已ムヲ得サル事由ニ依リ契約ノ全部又ハ一部解除ノ必要ヲ生シタルトキハ其ノ年二月十五日迄ニ互ニ通告スルモノトス
- 三、賃貸借料ハ乙ノ業務細則ニ依リ乙ノ當該機關ニ於テ査定シ甲ノ承認ヲ經テ之ヲ定ムルモノトス
前項ノ賃貸借料ハ毎年十二月三十日迄ニ乙ヨリ甲ニ支拂フモノトス
- 四、賃貸借料ハ愛媛縣穀物検査合格米ヲ以テ支拂フモノトス、賃貸借料ヲ米券ヲ以テ支拂フ場合入庫ニ關スル費用並ニ獎勵米ノ控除不合格米ニ對スル割増等ハ地方ノ慣習ニ從ヒ乙カ組合員ヨリ受クル損益ノ範圍内ニ於テ甲ニ決済スルモノトス
- 五、凶作其他不可抗力ニ因リ乙カ土地利用者ナル組合員ヨリ受クル利用料ニ減額ヲ生シタルトキハ甲ハ乙カ受クル利用料ノ減損ノ範圍ニ於テ賃貸料ヲ減免スルモノトス
- 六、天災其他不可抗力ニ因リ地力變動ヲ生シタルトキハ賃貸借料ヲ乙ノ當該機關ニ依リテ査定シ甲ノ承諾ヲ得テ之ヲ改定スルモノトス

右契約ヲ證スル爲本證書一通ヲ作り記名調印ノ上各一通ヲ領有スルモノ也

大正 年 月 日

溫泉郡余土村大字

賃貸者 何 某

溫泉郡余土村大字余戸五五三番地

賃借者 余土村信用購買販賣生産組合

組合長 何 某

別紙

土地表示

溫泉郡余土村大字何字何番地

一田(畑) 何反何畝歩

備考 本證書ハ愛媛縣溫泉郡余土村産業組合ニ於テ小作地ヲ管理スル委員會ニテ作成セルモノニシテ地主ト産業組合トノ間ニ取交シタルモノナリ

(乙) 小作契約書

(小作料納入ノ場所、獎勵米、契約解除、小作料改定)

別紙表示ノ土地ヲ賃借シ利用候ニ付左ノ條項契約仕リ堅ク履行ヲ誓ヒ候

- 一、利用期間ハ大正十一年ヨリ大正十六年迄五ヶ年トス
本項ノ一ヶ年トハ前年夏作任付ヨリ翌年冬作ノ收穫終了迄トス
- 二、利用地ハ貴組合ノ承諾ヲ經スシテ他人ニ利用セシメサルコト
- 三、利用料ハ別紙表示ノ額トシ愛媛縣穀物検査合格米ヲ以テ毎年十二月三十日迄ニ貴組合指定ノ場所ニ持參支拂フコト但シ合格米ニ對スル獎勵米交付額ハ地方ノ慣習ニ從ヒ貴組合ノ定ムル所ニ依ルコト
- 四、利用料ヲ米券ヲ以テ支拂フ場合其ノ入庫ニ關スル失費並ニ等級ニ應シテ交付ヲ受クヘキ獎勵米ノ額ハ地方ノ慣習ニ從ヒ貴組合ノ定ムル處ニヨルコト
- 五、利用料ヲ支拂フニ當リ止ムヲ得ス不合格米ヲ以テスルトキハ地方ノ慣習ニ從ヒ貴組合ノ定ムル割増ヲ利用料ト同時ニ支拂フコト
- 六、利用地ニ米作以外ノ夏作ヲ栽培シタルトキハ其ノ收益ノ如何ニ不拘利用料ノ全額ヲ支拂フコト但シ利用地ノ地下ケ又ハ地質ニ格段ナル惡變ヲ來スカ如キ作付ヲナス場合ハ豫メ組合長竝ニ地主ノ承諾ヲ經ルモノトス
- 七、利用地ハ契約期間内ト雖貴組合カ地主ニ返還ヲ要スルニ至レルカ又ハ拙者ノ利用カ不適當ト認メラル、時ハ其年二月十五日迄ニ其旨通告アラハ無償ヲ以テ異議ナク返還スルコト
- 八、契約期間内ニ於テ止ムヲ得サル事由ニヨリ土地ヲ利用スル能ハスシテ之ヲ返還セシムルトキハ其年二月

十五日迄ニ貴組合へ申出ルコト
 九、非常ノ凶作又ハ天災不可抗力ニ因リ著シク夏作ノ收穫ヲ減殺シ利用料ノ減免ヲ受ケントスルトキハ其ノ收穫以前ニ貴組合ノ検査ヲ受クルコト
 前項ノ場合ニ於テハ其ノ利用料ノ額ハ貴組合ノ當該機關ノ検査々定ニ據リ支拂フコト
 一〇、契約期間中萬一天災地變等ニ依リ著シク地方ノ變動シタルトキハ利用料ノ改正ヲ請フコトヲ得ルモ其ノ額ハ貴組合ノ當該機關ノ査定ニ據ルコト
 一一、前各條ノ外貴組合ノ定款其他ノ諸規定ヲ遵奉履行スルコト
 一二、保證人ハ連帶シテ本契約履行ノ責ニ任スルコト
 右之通ニ候也

大正 年 月 日

溫泉郡余土村大字余戸 番地
 利用人 何 某 ㊦
 郡 村大字 番地
 保證人 何 某 ㊦
 有限責任
 余土村信用購買販賣組合御中

別紙

土地表示 (略)

備考 本證書ハ前掲證書記載ノ産業組合ト土地利用者タル組合員トノ間ノ契約證書ナリ

福岡縣

一九七

〔小作料納入ノ場所、小作料ノ運賃、小作料滞納ノ處置、契約解除〕

小作證書

貴殿御所有ノ左表田(畑)ヲ大正 年ヨリ大正 年度迄 年間同表記載ノ小作料ニテ小作致シ候ニ付テハ左記ノ條項堅ク相守リ可申候
 一、小作米ハ當該年度生産ノ中等品以上ノ精選米トシ一俵ニ付 斗 升入(貫)トスルコト